

ローマ日本文化会館

合計額 90,407,872 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Giappone900 ローマ日本文化会館所蔵作品展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.03.14 ~ 2011.05.02	ローマ日本文化会館の所蔵する美術品を第1部（版画）、第2部（陶器・絵画・その他）に分けて展示。主な作者は、棟方志功、草間弥生、李禹煥、前田青邨、山口蓬春、加藤土師萌等
2	新着映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.03 ~ 2011.05.26	新たにイタリア語フィルムライブラリー入りしたイタリア語字幕付き作品（『雲のむこう、約束の場所』新海誠監督、『映画ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』芝山努監督ほか）の特集上映を実施
3	ラクイラにおける災害地復興支援事業	ラクイラ	ラクイラ音楽院	イタリア防災省 ラクイラ音楽院 在イタリア大使館	2011.05.07	坂茂設計の紙のコンサートホールのオープニング記念事業として、指揮者・西本智実、ラクイラ音楽院学生オーケストラの演奏によるコンサートを実施
4	映像と音楽によるコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.19	ギター、ヴィオラ、ライブ・エレクトロニクス、ビデオアートを組み合わせたコンサートを実施
5	「日本の世界遺産」展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.23 ~ 2011.06.30	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの、三好和義撮影の写真63点を「日本の世界遺産」展として展示
6	俳句賞授賞式及び講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	イタリア俳句友の会	2011.05.27	イタリア俳句友の会主催、Edizioni Empiria協力により、第25回俳句賞授賞式を開催。併せて、過去の俳句賞受賞者でEdizioni Empiria出版社が開催する俳句教室の講師を務める、Fabrizio Virgiriによる俳句に関する講演等を実施
7	吉田友昭 ピアノコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.05.31	前年マリア・カラス国際グランプリ最高位等の数々の賞を受賞したピアニスト吉田友昭によるピアノ室内楽コンサートを実施
8	映画の中の日本文学	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ市 在イタリア大使館	2011.06.07 ~ 2011.06.10	映画の中の日本文学をテーマに、第一部は三島由紀夫特集、第二部はイタリアで翻訳されている作品を中心に、映画の中で描かれた日本の文学に焦点を当てる
9	三島由紀夫に関する講演	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.06.10	没後40周年を2010年に迎えた三島由紀夫をテーマに、ヴィルジニア・シーカ（ミラノ大学教授）による講演を実施。「映画の中の日本文学」第一部との関連企画
10	イゾラ・デル・チネマ	ローマ	イゾラ・デル・チネマ	イゾラ・デル・チネマ 在イタリア大使館	2011.07.06 ~ 2011.07.07	ローマの映画祭イゾラ・デル・チネマにおいて日本特集イベントを実施。北野武監督『座頭市』、三池崇史監督『13人の刺客』を上演

海外拠点

11	「日本庭園」展	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.09.01 ~ 2011.10.01	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの、写真約30点からなる「日本庭園」展の実施
12	綿矢りさ講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.09.20	翻訳家のアントニエッタ・パストーレを進行役に迎え、綿矢りさによる現代日本文学に関する講演会を実施（本部日本文化紹介主催事業）
13	日本アートシアターギルド（ATG）特集	ローマ	ローマ日本文化会館	ヴェネチア大学	2011.10.04 ~ 2011.11.17	非商業主義的なアート系映画の製作・配給により、1960年から80年代にかけて日本映画界に大きな影響を与えた日本アートシアターギルドの作品を、映画研究者の平沢剛のキュレーションにより特集上映。また上映に併せ、同氏による講演会をローマ及びヴェネチアで実施
14	長澤英俊プレゼンテーション	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.10.10	イタリアを拠点に世界で活躍する彫刻家・長澤英俊の活動を収めたDVDの上映、及び昨年カストロレーレにて実施したワークショップの様子を紹介。同氏及びニーノ・ソッティエーレ・ズンボ（キュレーター）による講演等も実施
15	隈研吾講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.10.18	日本を代表する建築家隈研吾による講演会を実施
16	「戦後日本の変容」展（本部巡回展）	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ国際写真フェスティバル	2011.10.20 ~ 2012.01.14	木村伊兵衛、土門拳、細江英公ら、戦後日本の写真界を代表する11名の写真家によるモノクロ写真123点を展示。戦後日本の変容を物語る内容
17	琉球舞踊	ローマ	テアトロ・オリンピコ	沖縄県芸能関連協議会 文化庁	2011.11.02	沖縄県芸能関連協議会による琉球舞踊公演。ケルン、パリ、ローマ巡回
18	活動弁士・澤登翠のサイレント映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.11.22	活動弁士の第一人者である澤登翠が、ナント三大陸映画祭（フランス）に出演する機会をとらえ、ローマ日本文化会館で同氏の活弁による無声映画『子宝騒動』『折鶴お千』を上映
19	写真家の見た戦後日本 多田亜生講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.11.29	「戦後日本の変容」展（本部巡回展）関連事業として、監修者の多田亜生（キュレーター、編集者）による講演会を実施
20	音楽会「ボーダーライン」	ローマ	ローマ日本文化会館	ハンガリーアカデミー	2011.12.07	日本の能の謡とクラリネット・フルートの競演
21	山本薩夫監督特集（巡回パッケージ）	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.01.10 ~ 2012.01.31	日本映画上映（主催）巡回パッケージより、山本薩夫監督特集を実施
22	日欧文化交流50年野尻命子講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.01.27	チェントロ裏千家（裏千家淡交会ローマ出張所）代表の野尻命子による、在伊40年を超える自身の活動をふまえた日伊交流に関する講演会を実施

海外拠点

23	凧・独楽展	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.01.30 ～ 2012.02.18	ローマ日本文化会館所蔵・貸し出し用セットの中から「凧・独楽」展を展示。日本でもあまり見ることができない様々な凧と独楽を通して日本の職人の創造性を紹介
24	山根和仁ヴァイオリンコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.02.24	前年度の日本音楽コンクールバイオリン部門第一位の若手ヴァイオリニスト・山根和仁によるコンサートを実施
25	震災復興写真展	ローマ	ローマ日本文化会館	在イタリア大使館	2012.03.01 ～ 2012.03.14	震災復興関連事業として、外務省の企画による復興写真展「WILL — one year ago, one year after—」をローマ日本文化会館展示ホールにて実施 【東日本大震災復興支援事業】
26	震災に関するDVD上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.03.01 ～ 2012.03.14	外務省による震災復興写真展「WILL — one year ago, one year after—」の開催に併せ、震災に関連したドキュメンタリー作品ならびに劇映画計4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】
27	日本映画特集第2弾開幕上映	ローマ	ローマ日本文化会館	文化協会「国境なき映画」	2012.03.05	イタリアの映画愛好者団体の実施する日本映画特集の実施に当たり、開幕上映（『日本の悲劇』木下恵介監督）をローマ日本文化会館で実施
28	震災に関する講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.03.14	旅行作家の宮田麻未、建築家の針生承一による、東日本大震災に関する講演を実施。本部主催派遣事業
29	東北一風土・人・暮らし展	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.03.30 ～ 2012.05.12	東北にゆかりのある9名の写真家と1グループによる作品展。被災状況や復興の様子をレポートするものではなく、写真作品を通して、東北の風土、人、暮らしを伝える。飯沢耕太郎（写真評論家）監修 【東日本大震災復興支援事業】

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	マルコ・デル・ベーネ 日本の戦争映画 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.02.06	元国際交流基金フェローのマルコ・デル・ベーネ（ローマ大学）による、日本の戦争映画に関する講演会を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業
31	ファビオ・マンゴリーニ 能 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.02.27	元国際交流基金フェローのファビオ・マンゴリーニ（フェッラーラ市立歌劇場ジェネラルコーディネーター）による、能についての講演会を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業
32	フランチェスコ・パオロ・チェラーゼ 日本の経済と社会 講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2012.03.23	元国際交流基金フェローのフランチェスコ・パオロ・チェラーゼ（ナポリ・フェデリーコ二世大学元教授）による、東日本大震災から一年を経た日本の経済と社会に関する講演を実施。国際交流基金フェローフォローアップ事業

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
33	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 4,067名 (2) レファレンス数 669件 (3) 貸出点数 2,390点</p> <p>2. 情報発信への取組み ローマ日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ニュースレター発行部数 12,000部 (イタリア語) (2) メールマガジン配信数 44,960件 (3) ホームページアクセス件数 113,963件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
34	現地文化事業協力	<p>在イタリア語圏スイス日本人団体 カ メリア会</p> <p>国立トリノ映画博物館</p>	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>国立トリノ映画博物館の日活100周年記念特集映画上映、ならびにルガーノ (スイス) での日本映画上映会に対し協力。トリノでは『洲崎パラダイス赤信号』『幕末太陽傳』(共に、川島雄三監督)の字幕作成費を協力。スイスでは『映画ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』(芝山努監督)、『ヴィヨンの妻一夜桃とタンポポー』(根岸吉太郎監督)を共催上映</p>

海外拠点

ケルン日本文化会館

合計額 112,147,012 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本の建築文化講演会（桂離宮―石元泰博写真展オープニング事業）	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.04.08	海外巡回展「桂離宮」の実施に当たり、ベルリン在住の建築評論家のウルフ・マイヤー（ネブラスカ大学リンカーン校教授）による日本の建築文化に関する講演会を実施
2	桂離宮―石元泰博写真展	ケルン アイヒェンツェル ランゲン ミュンヘン ベルリン	ケルン日本文化会館 ファゼナリー城 ヴォルフスガルテン城 建築ギャラリー ベルリン・バウハウス資料館	ファゼナリー城 ヘッセン家財団 ヴォルフスガルテン城 建築ギャラリー ベルリン・バウハウス資料館	2011.04.08 ～ 2011.06.03 2011.08.20 ～ 2011.09.11 2011.09.16 ～ 2011.09.18 2011.10.18 ～ 2011.11.12 2012.01.18 ～ 2012.03.12	日本を代表する写真作家のひとりである石元泰博が撮影した「桂離宮」の写真作品（海外巡回展）を展示
3	新着アニメ映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.06 ～ 2012.07.30	ケルン日本文化会館フィルムライブラリー所蔵作品の中から、大人から子供まで楽しめる近作アニメ映画を特集上映
4	日独歌曲とピアノの夕べ	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.08	日本からピアニスト、松山元・優香とバリトン歌手、河野克典を迎え、日独音楽交流の歩みを振り返るコンサートを開催する。ベルリン日独センターとの連携事業
5	講演会「ヴィジュアル・ポップカルチャー：子供の心と社会に及ぼすマンガの影響」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.15	海外巡回展「キャラクター大国・ニッポン」の開催に際し、徳雅美（カリフォルニア大学チコ校助教授）による講演会を実施
6	講演会「ヴィジュアル・ポップカルチャー：子供の心と社会に及ぼすマンガの影響」	ビーティヒハイム・ビッシンゲン	ビッシンゲン市庁舎	ビーティヒハイム・ビッシンゲン市 在ミュンヘン総領事館	2011.06.16	海外巡回展「キャラクター大国・ニッポン」の開催に際し、徳雅美（カリフォルニア大学チコ校助教授）による講演会を実施
7	日本の世界遺産展	シュトゥットガルト	シュトゥットガルト市庁舎	シュトゥットガルト市 在ミュンヘン総領事館	2011.06.16 ～ 2011.06.30	ケルン日本文化会館所蔵写真展「日本の世界遺産」をシュトゥットガルト市庁舎で展示し、幅広い一般市民に日本の魅力を紹介

海外拠点

8	日独対話展「実現不可能性の悲劇—渡辺環とヴァルター・ツルボルク」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.17 ~ 2011.07.30	日独両国の若手アーティストが共通のテーマを設定して対話しながら作り上げる日独対話展。渡辺環とヴァルター・ツルボルクの両アーティスト（サウンドアート）が、テーマ「実現不可能性の悲劇」を表現
9	SHANTIケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.22	日本で若い世代に人気のボーカリスト、SHANTIの公演を行うバリ日本文化会館、マドリッド日本文化センターとの連携事業
10	尾高尚忠・安部幸明生誕100周年記念コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.29	日独音楽交流の歩みを振り返るコンサートの第二弾として、今年生誕100周年を迎える作曲家、尾高尚忠と安部幸明の作品を中心に紹介するコンサートを開催。在ドイツ大使館との連携事業
11	夏が来た！ケルン夏の文学祭	ケルン	ケルン文学館	ケルン文学館	2011.07.10	ケルン文学館のイニシアチヴにより、一般市民を対象に、野外で開かれる国際文学祭に各国文化交流機関とともに参加
12	黒澤明回顧特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.01 ~ 2012.01.28	本部主催日本映画上映会として、ケルン日本文化会館及びドイツ6都市のシネマテークとの共催により、黒澤明回顧特集を開催
		ベルリン	アルゼナール映画・ビデオアート研究所	アルゼナール映画・ビデオアート研究所	2011.09.05 ~ 2011.10.31	
		ミュンヘン	ミュンヘン映画博物館	ミュンヘン映画博物館	2011.09.09 ~ 2011.12.18	
		デュッセルドルフ	デュッセルドルフ映画博物館	デュッセルドルフ映画博物館	2011.09.13 ~ 2011.12.18	
		フランクフルト・アム・マイン	ドイツ映画博物館	ドイツ映画博物館	2011.11.02 ~ 2011.11.30	
		ニュルンベルク	ニュルンベルク・フィルムハウス	ニュルンベルク・フィルムハウス	2011.11.18 ~ 2012.01.04	
ハンブルク	キネマテーク・ハンブルク	キネマテーク・ハンブルク	2011.12.04 ~ 2012.01.29			
13	現代日本ブックデザイン展	ケルン	ケルン日本文化会館	ライプツィヒ印刷美術博物館	2011.09.09 ~ 2011.11.19	ライプツィヒ印刷美術博物館で展示した「現代日本のブックデザイン」展の一部を、エディトリアル財団の協力を得て展示。監修は東京の印刷博物館学芸員の寺本美奈子
		オッフェンバッハ	クリングスポール美術館	クリングスポール美術館		

海外拠点

14	ベルリン国際文学祭	ベルリン	ベルリン国際文学祭	ベルリン国際文学祭	2011.09.16	日独交流150周年及びアジア太平洋週間に際し、ベルリン国際文学祭で日本特集が組まれるにあたり、芥川賞作家の綿矢りさの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
15	ハンブルク・ハーバーフロント文学祭	ハンブルク	ハーバーフロント文学祭	ハーバーフロント文学祭	2011.09.18	日独交流150周年に際し、ハンブルク・ハーバーフロント文学祭で日本特集が組まれるにあたり、芥川賞作家の綿矢りさの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
16	飯沢耕太郎講演会「日本現代写真の一断面—日本写真協会賞新人賞受賞者を中心に」	ケルン	ケルン・メディア芸術大学	ドイツ写真協会 日本写真協会	2011.09.22	日本を代表する写真評論家、飯沢耕太郎が日本写真協会の派遣でベルリンおよびケルンで講演会を実施
17	梅津和時KIKI Bandケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.27	梅津和時KIKI Bandによるジャズ・ロックのコンサートを実施
18	藤井郷子カルテットケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.11.18	藤井郷子カルテットによるジャズ・コンサートを実施
19	フランクフルト国際図書見本市関連事業	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト・メッセ会場	フランクフルト国際図書見本市	2011.10.12 ~ 2011.10.16	世界最大級の国際図書見本市がフランクフルトで開催されるにあたり、国際交流基金、PACE（出版文化国際交流会）共同ブースで日本文化理解促進ワークショップを実施
20	「ミュージック&リズムス」ケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.10.13	デュッセルドルフ日本デーのメインアクトを務める鬼太鼓座を中心とするグループ「ミュージック&リズムス」がケルンに立ち寄り、大人から子どもまで楽しめるコンサートを実施
21	沖縄芸能関連協議会「琉球伝統芸能」ケルン公演	ケルン	ケルン日本文化会館	沖縄芸能関連協議会	2011.10.31	人間国宝を含む沖縄芸能関連協議会のグループによる琉球舞踊公演。パリ日本文化会館との連携事業
22	ケルン美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン市 StadtRevue誌	2011.11.05 ~ 2011.11.06	ケルン市の美術館・博物館を中心とする文化施設が深夜3時まで開館し、一般市民に特別プログラムを提供するフェスティバルに参加
23	村上春樹大朗読会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館	2011.11.08	日独交流150周年を記念し、ケルン文学館との共催により、現代日本文学の夕べを開催。ドイツ人俳優が村上春樹著『1Q84』（ドイツ語訳）を朗読し、同作品のドイツ語翻訳者等により村上春樹作品の魅力とドイツの文学界に与えた影響等に関するトークを実施 【日独交流150周年記念事業】
24	ケルン・ジュニア大学	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2011.11.12	ケルン大学との共催で、青少年向け現代日本文化一日体験講座を実施

海外拠点

25	日独対話展「サインとサインー菅野麻衣子とガブリエレ・ホーンダッシュ」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.12.09 ～ 2012.02.29	日独両国の若手アーティストが共通のテーマを設定して対話しながら作り上げる日独対話展。菅野麻衣子とガブリエレ・ホーンダッシュの両アーティストが、「サインとサイン」をテーマに、言葉と記号を現代的に表現
26	日活100周年特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.02.02 ～ 2012.03.31	国際交流基金本部主催日本映画上映会として、戦前の時代劇、戦後のアクション、ロマンポルノ等、創立100周年を迎える「日活」映画特集を開催
27	「戦後日本の変容」展	ベルリン	ベルリン写真美術館	ベルリン写真美術館	2012.03.08 ～ 2012.06.17	ベルリン写真美術館との共催により、海外巡回展「戦後日本の変容」展を開催
28	東日本大震災から一年後～復興記念の集い	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.03.12	ケルン日本文化会館において、東日本大震災に際してのドイツからの支援に感謝の念を示すとともに、日本の復興の様子を紹介する特別イベントを開催 【東日本大震災復興支援事業】
29	ライプツィヒ図書見本市関連事業	ライプツィヒ	ライプツィヒ・メッセ会場 ライプツィヒ大学 図書館	ライプツィヒ図書見本市 ライプツィヒ大学 ライプツィヒ独日協会 在ドイツ大使館	2012.03.15 ～ 2012.03.18	旧東独地域における本のメッカ、ライプツィヒの図書見本市で現代日本文化紹介事業を実施
30	「美しい東北の手仕事」展開幕記念イベント	ケルン	ケルン日本文化会館		2012.03.23	新規巡回展「美しい東北の手仕事」展を開催するにあたり、開幕記念イベントとして、ハイケ・パチケ（ケルン大学日本研究学科講師）による講演会「東北の文学世界への誘いー宮沢賢治と石川啄木」とアニメ映画『注文の多い料理店』の上映を実施
31	ケルン子供大学	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2012.03.30	ケルン大学が主催する「ケルン子供大学」の一環として、同大学日本研究学科と協力し、8歳から12歳の児童・生徒を対象に「日本まるごと体験講座」を提供 【日独交流150周年記念事業】

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
32	日本メディア芸術の現在（小規模助成）	オスナブリュック・ヨーロッパ・メディア芸術祭	2011.04.27 ～ 2011.05.01	「オスナブリュック・ヨーロッパ・メディア芸術祭」において、文化庁日本メディア芸術祭参加アーティストを中心に、アニメ、漫画からテクノ音楽に至る日本の最新のメディア芸術を紹介。同芸術祭の開催に際し、旅費の一部を支援

海外拠点

33	藤本壮介『ガーデン・ギャラリー』 (小規模助成)	ケルン彫刻公園財団	2011.05.15 ~ 2012.03.31	ケルン彫刻公園で建築家の藤本壮介の作品「ガーデン・ギャラリー」を展示。展示に際し、アーティスト旅費の一部を支援
34	「空豆」展 (小規模助成)	ハンス・ペーター・ツィンマー財団	2011.05.20 ~ 2011.06.18	日独交流150周年及びデュッセルドルフ日本週を記念し、ドイツで活躍する若手日本人美術作家のグループ展を開催。展示に際し、カタログ印刷経費の一部を支援
35	キミ色マトイ書ト歌う (小規模助成)	日本美術工芸「おと」	2011.06.07	日独交流150周年を記念し、欧州在住の若手アーティストが在ドイツ大使館で書・映像・音による総合芸術パフォーマンスを実施。パフォーマンスに際し、旅費及び広報経費の一部を支援
36	多和田葉子と高瀬アキ『水の中の声／水の中のピアノ』 (小規模助成)	ハンブルク大学	2011.06.29	芥川賞作家の多和田葉子がベルリン在住ジャズピアニストの高瀬アキと共に音と言葉のパフォーマンスを実施。パフォーマンスに際し、アーティストの旅費及び謝金の一部を支援
37	日独映画交流史シンポジウム	ボン大学	2011.08.17 ~ 2011.08.18	日独交流150周年を記念し、ボン国際無声映画週間及びボン大学夏期アカデミーの一環として、日独映画関係に関するシンポジウムを開催。日本からの参加者の渡航費を支援
38	ベルリン・アジア映画祭「想像の親族」 (小規模助成)	ベルリン・アジア映画祭	2011.10.26 ~ 2011.10.30	ベルリン・アジア映画祭で瀧川あや監督『祝の島』、奥秀太郎監督『USB』を上映。映画上映に際し、上映権料及び旅費の一部を支援
39	第8回オスナブリュック新作日本映画祭 (小規模助成)	社団法人・社会文化的ダイアログ	2011.11.01 ~ 2011.11.08	オスナブリュックで新作日本映画 (細田守監督『サマーウォーズ』、是枝裕和監督『奇跡』等) を上映。映画上映に際し、上映権料の一部を支援
40	デュッセルドルフ童話週間「日本の童話と昔話」 (小規模助成)	社団法人エアツェールツァイト	2011.11.18 ~ 2011.12.01	日独交流150周年を記念し、デュッセルドルフ童話週間の一環として日本の童話と昔話をドイツ語で紹介。広報経費の一部を支援
41	倉知久美子「アウフ・ディ・フラーゲ」展 (小規模助成)	ミース・ファン・デル・ローエ・ハウス	2011.12.04 ~ 2012.03.04	日独交流150周年及びミース・ファン・デル・ローエ生誕125周年を記念し、日本の間とモダニズムの関係を考察する倉知久美子の展覧会を開催。展示に際し、印刷・広報経費の一部を支援
42	展覧会「Sharing as Caring: Presence for the Future」	ハイデルベルク美術協会	2012.03.09 ~ 2012.05.20	東日本大震災で失われた「表現と対話の場」を人々の日常に取り戻すために、宮城県女川町で始まった、様々な分野のクリエイターと地元の人々との対話工房の活動を紹介する展覧会を開催。展示に際し、コンセプト設計謝金及び旅費の一部を支援
43	日本デー (「春の日本」展)	レーヴァークーゼン美術協会	2012.03.11	レーヴァークーゼン美術協会「春の日本」展の関連企画として「日本デー」を開催。日本デーに際し、旅費及び広報経費の一部を支援

海外拠点

44	「竹岡雄二 彫刻のゼロ地点」展	ゲルハルト・マルクス彫刻美術館	2012.03.11 ～ 2012.06.10	長年にわたり日独美術交流に尽力してきた竹岡雄二（ブレーメン芸術大学教授）の回顧展を開催。展示に際し、冊子作成経費の一部を支援
45	マンガ・フェスティバル2012	ライプツィヒ日本の家	2012.03.15 ～ 2012.03.31	ライプツィヒ図書見本市に合わせ、マンガ・フェスティバルを開催。マンガ・フェスティバルに際し、展示設営及び広報経費の一部を支援
46	プラットフォーム・プロジェクト—東日本大震災一周忌に際しての芸術的イベント	シュヴァルツェンベルク協会	2012.03.26 ～ 2012.03.31	東日本大震災一周忌に当たり、仙台市出身の美術作家タノイガとベルリン在住アーティストのディスカッションを行う等、日独両国の芸術家の視点から何ができるかを考える複合的なイベントを開催。イベントに際し、旅費の一部を支援

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	カロリーネ・ライマース講演会「日独通商関係のあけぼの」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.06.21	ケルン大学、ケルン独日協会、ケルン東洋美術館等と連携し、日独交流150年の歴史を振り返り、今後の日独関係を考える連続講演会を開催する。第一回は、ブレーメンの商人ヒンリッヒ・ライマースの活動に焦点を当て、初期日独通商関係についてカロリーネ・ライマースの講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
48	日独交流150周年記念国際シンポジウム「変転する世界における伝統的な研究社会」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学	2011.09.08 ～ 2011.09.10	ケルン大学との共催により、日独学術交流150周年記念事業シンポジウム「変転する世界における伝統的な研究社会のダイナミクス」と題する国際シンポジウムを開催。日本の16大学の学長・副学長をはじめとする研究者が参加し、経済・社会科学、法学、日本語学、文化研究、数学・自然科学の5つのワークショップを通して、ドイツの研究者と日独学術協力のあり方、両国の学術交流の将来について議論 【日独交流150周年記念事業】
49	青木保講演会「グローバル化する現代日本文化と東アジア文化圏の挑戦」	ケルン	ケルン日本文化会館		2011.09.23	ケルン大学、ケルン独日協会、ケルン東洋美術館等との連携による連続講演会の第二回として、青木保（青山学院大学教授／前文化庁長官）の講演会を開催 【日独交流150周年記念事業】
50	日独交流150周年記念論文集刊行			ケルン大学	2011.11.01 ～ 2012.03.31	日独交流150周年に行われた記念シンポジウム、各種講演会の記録を出版 【日独交流150周年記念事業】

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
51	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 5,084名 (2) レファレンス数 461件 (3) 貸出点数 6,496点</p> <p>2. 情報発信への取組み ケルン日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) メールマガジン 配信数 66,669件 (2) ホームページアクセス件数 308,438件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
52	「ドイツの大学における日本週間」開幕記念行事	ドイツ大学長会議 ハンブルク大学	2011.04.12 ~ 2011.04.14	「ドイツの大学における日本週間」開幕記念行事において、ケルン日本文化会館の職員が就職前の学生を対象に、職業としての日独文化交流について自らの経験を発表する。また、会場にブースを設置し、日本研究フェローシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
53	オスナブリュック専門大学学生の訪問受入	オスナブリュック専門大学	2011.05.05	「ドイツの大学における日本週間」の一環として来館したオスナブリュック専門大学学生20名に対し、ケルン日本文化会館の活動を紹介
54	フライブルク大学日本デー	フライブルク大学 名古屋大学	2011.06.09	「ドイツの大学における日本週間」の一環としてフライブルク大学と名古屋大学との共催により開かれる日本デーにおいて、ケルン日本文化会館の職員が国際交流基金事業について紹介を行う。また、会場にブースを設置し、日本研究フェローシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
55	ハレ大学日本デー	ハレ・ヴィッテンベルク大学	2011.06.30	「ドイツの大学における日本週間」の一環としてハレ・ヴィッテンベルク大学で開かれる日本デーにおいて、ケルン日本文化会館の職員がパネルディスカッション「日本で博士号を取得し研究する」に参加し、国際交流基金事業について紹介を行う。また、会場にブースを設置し、日本研究フェローシップ等、国際交流基金プログラムの広報を実施
56	「小金沢健人：パーティクル・ティクトル」展及び「ヴィジュアル・ストーリーズー日本の絵を語る」展	ランゲン・ファウンデーション	2011.07.17 ~ 2011.11.06	デュッセルドルフ近郊、ノイス市の安藤忠雄が設計した美術館、ランゲン・ファウンデーションにおいて、日独交流150周年を記念し、日本関係の2つの企画展が開催されるに当たり、主に広報、翻訳作業の面で協力

海外拠点

57	「アニメ！ ハイアーターポップカルチャー」展	ドイツ連邦共和国芸術展示館	2011.07.29 ～ 2012.01.08	ボンのドイツ連邦共和国芸術展示館において、日独交流150周年を記念し、日本のアニメに関する特別展が開催されるに当たり、広報面や日本語お試し講座等の関連プログラムの提供により協力
58	文化庁メディア芸術祭ドルトムント展	NHKインターナショナル ハートウェア・メディア美術協会 文化庁	2011.09.09 ～ 2011.10.02	「日独交流150周年」にあたる平成23年度に文化庁メディア芸術祭ドルトムント展が開催されるに当たり、協力名義を付与し、主に広報面で連携を図る
59	ケルン大学学生の訪問受入	ケルン大学	2011.09.30	ケルン大学日本学科新入生に対し、ケルン日本文化会館の活動を紹介
60	日本学術振興会主催「日本における研究留学」説明会	日本学術振興会ボン研究連絡センター	2011.10.21	ドイツの学生・研究者に対し、国際交流基金日本研究フェローシップ等、当基金プログラムを紹介
61	平井康三朗、丈一郎父子の日本歌曲の夕べ	戸張 通子	2011.11.19	日独交流150周年を記念し、ミュンヘン在住の音楽家、戸張通子による日本歌曲の夕べが開かれるに当たり、後援名義を付与
62	ルール大学フォーラム日本週間	ルール大学フォーラム	2011.11.23	ルール大学フォーラムで開催される日本週間においてブースを設置し、ドイツの学生・研究者に対して、日本研究フェローシップ等、国際交流基金プログラムの広報活動を実施
63	「サンシャイン・フォー・ジャパン」展（デュッセルドルフ）	社団法人c:tive	2011.12.02 ～ 2011.12.16	東日本大震災からの復興に取り組む日本を応援するポスター展を開催する
64	ボン大学早稲田デー	ボン大学	2011.12.07	ボン大学で開催される早稲田デーにおいて、ブースを設置し、ドイツの学生・研究者に対し、基金プログラム、ケルン日本文化会館の文化プログラム・日本語講座の広報を行う
65	「サンシャイン・フォー・ジャパン」展（ケルン）	社団法人c:tive	2012.03.08 ～ 2012.03.12	東日本大震災からの復興を支援するために開かれた国際ポスター・コンクール「サンシャイン・フォー・ジャパン」の優秀作品を展示
66	ロジャー・ゲッパ ー ケルン東アジア美術館前館長追悼式典	ケルン東アジア美術館 ケルン大学美術史学科 ケルン独日協会 東アジア美術振興のためのオリエント財団	2012.03.10	ケルン東アジア美術館前館長、ロジャー・ゲッパ ーの追悼記念式典に共催者として参加し、協力
67	展覧会「Back from Japan」	ハンス・ペーター・ツィンマー財団	2012.03.10 ～ 2012.03.30	東日本大震災一周年忌に当たり、日独両国の若手美術作家がグループ展を開催

海外拠点

68	日本特集の日	ラウテンシュトラウフ＝ヨースト民族学博物館	2012. 03. 18	ラウテンシュトラウフ＝ヨースト民族学博物館において、ひな祭りにちなみ、子供から大人まで楽しめる「日本の日」（日本語体験講座及び日本語名刺作成ワークショップ）を開催
69	新作アニメ映画上映会	ディーツ市立図書館	2012. 03. 28	ラインラント・プファルツ州の小都ディーツにおける日本週間の一環として、新海誠監督『秒速5センチメートル』を上映

海外拠点

パリ日本文化会館

合計額 453,287,424 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「出汁の使い方」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館 厨房/レセプションホール	味の素ヨーロッパ社	2011.04.01 ~ 2012.03.31	味の素社主催の家庭料理デモンストレーションシリーズ。「出汁の使い方」をテーマに、出汁の様々な種類と旬の素材のよさを引き出す出汁の使い方を紹介
2	「誰でも絶対作れる！調理体験ワークショップ」	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度からスタートし好評を得ている体験ワークショップ。巻き寿司やお好み焼き作り等を参加者が実際に体験
3	「和のおやつ」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本の食材を使ったお菓子や和風おやつを紹介する食文化デモンストレーション。毎期1,2回実施
4	「茶道」デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ駐在所 裏千家本部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の一部を茶室にて見学した後、抹茶とお茶菓子を実際に味わう
5	茶道入門教室	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ駐在所 裏千家本部	2011.04.01 ~ 2012.03.31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を茶室にて学ぶ。毎期2カ月、2コース（17時15分、18時）実施
6	書道教室	パリ	パリ日本文化会館	HIMAWARI アソシエーション	2011.04.01 ~ 2012.03.31	漢字を基本とした指導を行い、書を通じた日本文化に触れてもらう機会とする
7	初級・上級囲碁教室	パリ	パリ日本文化会館	イル・ド・フランス 囲碁リーグ フランス囲碁連盟 公益財団法人 日本棋院	2011.04.01 ~ 2012.03.31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力の下継続している囲碁教室。平成17年度秋期より単発受講ではなく10回コース制にしてから、受講者数が大幅に増加。特に、子供・青少年の登録が多い
8	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	イケバナ・インターナショナル・パリ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験。毎期初めに館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする
9	水曜日のミニコンサート	パリ	パリ日本文化会館	東芝国際交流財団	2011.04.01 ~ 2012.03.31	欧州及びパリ在住の日本人ミュージシャン（岩佐鶴丈、斉藤鶴竜、邦楽聖会、泊、中村天平、中野真帆子、ロンドン沖縄三線会、Ensemble Trace du Géant、中井正子）を中心に招へいし、小ホールでコンサートを実施

海外拠点

10	「日本人とキャラクター」展 関連講演会	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07	04.07～05.21の期間に開催される「日本人とキャラクター」展の周辺事業。展覧会の監修者である相原博之が講演
11	『銀河鉄道の夜』公演	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07 ～ 2011.04.09	宮沢賢治原作の『銀河鉄道の夜』を原案とした、平田オリザ脚本・演出による現代演劇の公演
12	キャラクター大国ニッポン展	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.07 ～ 2011.05.21	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした巡回展。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター（ウルトラマン、ハローキティ、機動戦士ガンダム等）を分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介。前年に引き続き、Nuits des Museesに参加（5月14日）
13	平田オリザ講演会	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.09	04.07～09の期間にパリ日本文化会館大ホールで『銀河鉄道の夜』を公演する平田オリザによる講演会。同公演の内容も踏まえながら、同氏の昨今の演劇作品についてふれる
14	「キャラクター弁当」親子ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール		2011.04.16 ～ 2011.05.14	04.07～05.21の期間に開催される「キャラクター大国ニッポン」展の周辺事業。親子でキャラクター弁当を作るワークショップ
15	日本のマンガ教室派遣事業	パリ	パリ日本文化会館 小ホール／教室	京都国際マンガミュージアム	2011.04.19 ～ 2011.04.21	京都国際マンガミュージアム及びマドリッド日本文化センターの協力により、「マンガ文化講演会」「マンガの描き方教室」「マンガの日本語教室」の3事業の専門家派遣を受け入れ、3日間の集中事業を実施
16	知られざる監督シリーズ第11弾：渋谷実監督特集	パリ	パリ日本文化会館		2011.04.27 ～ 2011.05.05	昭和30年代の松竹黄金期を支えた巨匠の一人である渋谷実の作品7点を紹介
17	「Jホラーの世界」	パリ	パリ日本文化会館		2011.05.06 ～ 2011.06.01	戦前の化け猫映画からスタジオシステム黄金期、ここ数年の世界的ヒット作まで、日本ならではの創造性と多様性に溢れたジャンルであるホラー映画について、大規模な特集を実施。計39作品を上映。関連企画として、モダンホラー舞踏家として活動する東陽子によるパフォーマンス・コンサートを2回実施（05.10～05.11）
18	前田司郎『understandable?』	パリ	パリ日本文化会館		2011.05.14	五反田団を主宰する前田司郎（演出家・脚本家）と、メッスの劇団Artrovの演出家Jean de Pangeによる共同制作
19	無外流居合道パリ演武会	パリ	パリ日本文化会館 大ホール	財団法人無外流	2011.05.21	無外流による居合いのレクチャーデモンストレーション。居合形、居合組太刀、剣術組太刀、試斬、居合形体験を実施。真剣による試技も披露
20	京都写真展	パリ	パリ日本文化会館 地上階スペース		2011.05.31 ～ 2011.06.24	京都写真展を四季に分けて展示

海外拠点

21	地唄舞公演周辺事業 渡辺保講演会「歌舞伎とは」	パリ	パリ日本文化会館 小ホール		2011.06.03	地唄舞の公演のために来仏する渡辺保による関連講演会。タイトルは「歌舞伎とは」
22	神崎流 地唄舞公演	パリ	パリ日本文化会館		2011.06.03 ~ 2011.06.04	神崎流家元神崎えんによる地唄舞公演
23	地唄舞公演周辺事業 渡辺保講演会「三味線音楽と日本の舞踊」	パリ	パリ日本文化会館 小ホール		2011.06.04	地唄舞の公演のために来仏する渡辺保による関連講演会。タイトルは「三味線音楽と日本の舞踊」
24	日本アート・シアター・ギルド特集	パリ	パリ日本文化会館	La Femis (フランス国立視覚音響技術高等学院)	2011.06.07 ~ 2011.07.23	国際交流基金所蔵及び他社・他機関所蔵の日本アート・シアター・ギルド(ATG)映画と併せて、フランスで初めて大規模なATG特集を実施
25	近藤良平・坂東扇菊 舞踊公演 GENJI	パリ	パリ日本文化会館		2011.06.10 ~ 2011.06.11	コンテンポラリーダンスの振付家である近藤良平と日本舞踊家である坂東扇菊による異色のコラボレーション企画。源氏物語の「葵の上」をテーマとした作品
26	日本酒セミナー・試飲会	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール及び地下3階フォワイエ	栞田酒造店	2011.06.16	毎年恒例事業である日本酒セミナー・試飲会。有志の蔵元が数十軒集い、自慢の日本酒を披露
27	音楽の日 コンサート SHANTI	パリ	パリ日本文化会館	SACEM	2011.06.21	フランスで毎年、夏の到来を祝って街中の様々な場所で無料コンサートが開催される音楽の日のイベント。今年はゴダイゴのドラマーとして著名なトミー・スナイダーの娘で、歌手のSHANTIによるコンサートを開催
28	日本の美容に関するセミナーシリーズ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	Shiseido Europe	2011.06.23 ~ 2012.02.16	Shiseido Europe SASによる日本の美容シリーズ。第1回「体も心もリラックス お風呂とその効用」(6/23)、第2回「肌老化 そのメカニズム」(9/29)、第3回「アイメーキャップと日本女性」(2/16)の3回を実施
29	JAPAN EXPOへの参加	パリ	パリ・ノール・ヴィルパント展示会会場		2011.06.30 ~ 2011.07.03	日本のエンターテインメントの祭典である第12回「JAPAN EXPO」に、国際交流基金/パリ日本文化会館として参加。ブースにおける日本語学習サイト体験など、日本語事業の紹介を中心に、若手ミュージシャンSHANTIの公演、ブースにおける伝統玩具小展示、JAPAN EXPOメインステージにおける短編映像作品上映など、多彩な日本文化の総合的紹介を実施
30	漫画夏季集中講座	パリ	パリ日本文化会館		2011.07.05 ~ 2011.07.09	漫画家 JM・ケン・ニイムラによる漫画集中講座。今回のテーマは「イラスト」。1日5時間×5回実施

海外拠点

31	「東日本からの声」	パリ	パリ日本文化会館 地上階スペース	株式会社東京デザインセンター	2011.09.08 ～ 2011.11.05	東日本大震災の被災地となった東北地方の伝統工芸品の実物及びパネルによる展示。展示品は以下の通り。 津軽塗（青森）、ブナコ（青森）、まげわっぱ（秋田）、樺細工（秋田）、こけし（宮城、山形）、鉄瓶（岩手、山形）、会津塗（福島）、結城紬（茨城） 【東日本大震災復興支援事業】
32	現代日本映画番外編 「関西からの声」	パリ	パリ日本文化会館		2011.09.24 ～ 2011.10.27	近年注目されている、関西の映画発信地（横浜聡子を輩出したC02、河瀬直美が立ち上げた奈良映画祭、石井裕也他多数の若手作家を輩出する大阪芸術大学等）と、強烈な個性と独特な歴史を持つ関西文化が生み出した映画・作家を紹介する企画。日本から、熊切和嘉、横浜聡子、和田淳、杉田真一を招へい
33	マノスコレクション浮世絵版画展	パリ	パリ日本文化会館	セイNZベリー日本藝術研究所 ギリシャ国立コルフ・アジア美術館	2011.09.27 ～ 2011.12.17	ギリシャ国立コルフ・アジア美術館に「マノスコレクション」として所蔵されている日本美術品のうち浮世絵版画約150点を選定の上展示。本コレクションはフランスでは初めての公開。企画監修者は浅野秀剛（大和文華館館長）
34	浮世絵展関連シンポジウム	パリ	パリ日本文化会館 大ホール		2011.09.28	2011.09.28から開催される浮世絵展のオープニングシンポジウム
35	日本茶テイスティングセミナー	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	寿月堂	2011.10.08	丸山海苔寿月堂が日本茶に関するセミナーを開催。タイトルは「日本茶の味くらべ」。レクチャー後にはさまざまな日本茶をテイスティング
36	剣術・能ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール	アソシエーション・ドゥ・スピラル	2011.10.11 ～ 2011.12.03	H22年度秋期に実施し大変好評だった剣術・能ワークショップのH23年度版。居合いと立居振る舞いを指導。10/11、11/22、12/13（剣術）、12/3（能の動きを知る）
37	コンテンポラリーダンス（BATIK）	パリ	パリ日本文化会館		2011.10.13 ～ 2011.10.15	黒田育世率いるコンテンポラリーダンスカンパニー「BATIK」による公演
38	郷土料理セミナー 羽黒山伏「精進料理の世界」	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホール		2011.10.13 ～ 2011.10.20	日本の食文化への関心が高まっているフランスにおいて、食を通して一般市民・調理専門家及び有識者に対して日本文化に対する認識と共感を一層深めることを目的とし、山形・出羽地方の専門家が来仏。同地方の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施するとともに精進料理をはぐくんだ出羽三山地方の修験道文化を紹介
39	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2011.10.25 ～ 2011.10.27	月1回ペースで年10回、水曜日に実施。客層の若年化の必要が課題とされている中、折り紙アトリエ事業は同課題解決策の1つであり、多くの子供たちの参加があり、好評価を得ている
40	琉球舞踊公演	パリ	パリ日本文化会館	沖縄県芸能関連協議会	2011.10.27 ～ 2011.10.29	沖縄県芸能関連協議会との共催により、三線等、沖縄音楽の生演奏に合わせて沖縄の舞踊を披露

海外拠点

41	郷土料理セミナー ー琉球料理デモン ストレーション	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホー ル		2011. 11. 05	琉球料理研究家の山本彩香他4名が沖縄の文化・芸能、そし て郷土料理を紹介
42	第6回KINOTAYO映画 祭	パリ	パリ日本文化会館	KINOTAYO映画祭	2011. 11. 09 ~ 2011. 11. 26	過去1~2年以内に発表された最新の日本映画をデジタル素材 で紹介するKINOTAYO映画祭を共催実施
43	舞踏公演（大駱駝 艦）	パリ	パリ日本文化会館		2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 26	歴史ある舞踏カンパニー大駱駝艦による2週間に渡る公演。1 週目はジョセフナジなどフランスの振付家とも親交のある若 手振付家の田村一行、2週目は大駱駝艦の主宰である鷹赤兒 による公演
44	子供茶の湯ワーク ショップ	パリ	パリ日本文化会館 茶室/レセプション ホール/厨房	裏千家パリ事務所 裏千家本部	2011. 12. 07	裏千家パリ事務所との共催イベント。8歳~16歳頃の子供、 青少年を対象にした茶の湯ワークショップ
45	和菓子デモンスト レーションとワー クショップ	パリ	パリ日本文化会館 レセプションホー ル/厨房	末富 裏千家パリ事務所 裏千家本部	2011. 12. 08	子供茶の湯イベントのために来仏する末富（京菓子司）が、 和菓子の説明と和菓子作りのデモンストレーションを実施。 参加者は、和菓子作りも体験
46	コンサート 日本の 若き才能	パリ	パリ日本文化会館	YAMAHA	2012. 02. 16 ~ 2012. 02. 17	ヨーロッパ在住の若手クラシック演奏家によるコンサート。 2日間で4組（阪本琢磨、倉澤杏菜、大谷加奈、茂木健人）の コンサートを実施
47	JAZZ IN JAPAN	パリ	パリ日本文化会館		2012. 03. 01 ~ 2012. 03. 03	2000年から毎年継続しているシリーズ企画。三晩連続で、毎 晩異なる3組のジャズグループ（渡辺香津美×吉田美奈子、 田中信正×林正樹、寺井尚子×Richard Galliano）によるコ ンサートを実施
48	2012年開館15周年 記念企画 春季展 「パリに笑壺を運 ぶ」現代映像作品 展	パリ	パリ日本文化会館 展示ホール		2012. 03. 28 ~ 2012. 06. 23	開館15周年となる2012年の前半の展示企画。現代日本の 「ユーモア」「パロディ」をテーマに、日本人アーティスト 9名による映像作品展示と、6つのグループによるシアタープ ログラムの上映。更に、講演会等も実施し、日本人と笑いの 文化について考察を深める。作家・作品選定は原久子（大阪 電気通信大学）、シアタープログラム企画は、澤隆志（映像 クリエイター）が担当

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
49	講演会シリーズ 「日本の政治、外 交リーダーシップ の行方」	パリ	パリ日本文化会館	アルザス・欧州日 本学研究所(CEEJA) パリ政治学院	2011. 05. 31	客員教授派遣事業によってパリ政治学院（Japan Chair）へ 来仏している研究者による講演会

海外拠点

50	講演会シリーズ 「日本美術における 葦手：曖昧の詩学」	パリ	パリ日本文化会館	読売新聞 日仏会館 渋沢栄一記念財団	2011. 06. 18	フランス在住の研究者による講演会。フランス在住の研究者をディスカッサントとする等、フランスの機関と協力してフランスのカウンターパートを発掘。また会館における日仏知的交流を対外的にアピール
51	講演会シリーズ 「東日本大震災後の日本は どうなるのか？～関東大震災の 歴史的な比較の視点から～」	パリ	パリ日本文化会館		2011. 09. 09	フランス在住の研究者による講演会。フランス在住の研究者をディスカッサントとする等、フランスの機関と協力してフランスのカウンターパートを発掘。また会館における日仏知的交流を対外的にアピール
52	文化発信ラウンド テーブル	パリ	パリ日本文化会館	東芝国際交流財団	2011. 11. 15	パリ日本文化会館から、フランスに向けて、ひいては欧州全体に向けて、どのように日本文化・日本語を発信していくかを検討するサロン方式の会議

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
53	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方、日本研究者を対象に、日本に関する図書、映画／芸術・芸能／ドキュメンタリーDVDを多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 13,666名 (2) レファレンス数 2,727件 (3) 貸出点数 1,899点</p> <p>2. 情報発信への取組み パリ日本文化会館の紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 56,000部 (フランス語) (2) メールマガジン配信数 109,256件 (3) ホームページアクセス件数 232,575件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
54	JET参加者オリエンテーション、壮行会	在フランス大使館	2011. 07. 08	本年日本へ出発するJET (語学指導等を行う外国青年招致事業) 参加者へのオリエンテーション及び過去参加者とのレセプションの会場として施設提供

海外拠点

55	ロベール・ギラン賞受賞記念レセプション	在フランス大使館	2011.09.13	ジャーナリスト顕彰のため日仏記者協会が主催する「ロベール・ギラン賞」の受賞記念レセプションの会場として施設を提供。9月13日（火）17時半～19時半にて実施
----	---------------------	----------	------------	--

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
56	海外拠点現地助成 (アングレーム国際漫画フェスティバルへの協力)	アングレーム	アングレーム国際漫画フェスティバル内 Espace MangAsie	アングレーム国際漫画フェスティバル	2012.01.26 ～ 2012.01.29	第39回を迎えるアングレーム国際漫画フェスティバルが会場で実施する日本関連小展示企画「漫画 笑いの感覚」に対し展覧会関連費用を助成

海外拠点

ソウル日本文化センター

合計額 134,952,121 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本映画地方上映会	ソウル 仁川 大邱 富川 坡洲 江原道	韓国漫画博物館 仁川大学校 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 ソウル女子大学校 ソウルアートシネマ 韓国映像資料院 弘益大学校 江原情報文化振興院 江原情報文化振興院 仁川大学校日本語教育学科 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 日文日語学科	社団法人 富川国際学生アニメーションフェスティバル組織委員会 EPS(Essential People's Space) シーナスAT9 ソウル女子大学校 韓国シネマテーク協議会 韓国映像資料院 弘益大学校 江原情報文化振興院 仁川大学校日本語教育学科 大邱嶺南工業高校 大邱嶺南大学校 日文日語学科	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ソウル日本文化センター所蔵の韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用し、ソウルをはじめ地方都市での日本映画上映会を開催。溝口健二の名作から、アニメーション、2000年以降に製作された作品まで幅広く上映
2	ソウル日本文化センター事業紹介ビデオ制作	ソウル	ソウル日本文化センター		2011.04.01 ~ 2011.10.31	平成21年度に実施した移転及び平成22年度に実施した「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業を踏まえて、ソウル日本文化センターの新しい広報用ビデオ（DVD）を制作し、事業紹介を行うとともに広報活動を展開

海外拠点

3	『折り梅』無料上映会	始興 ソウル	去毛老人デイケアセンター 崇義女子大学家族福祉学科 親孝行シニアケアセンター 陽川区痴呆支援センター 龍山区痴呆支援センター 龍山老人療養院 中浪老人専門療養院 西大門区痴呆支援センター 九老区痴呆支援センター 蘆原区痴呆支援センター 区立松坡老人療養センター 祥明大学校	韓国痴呆家族協会 祥明大学校教養学部	2011.04.29 ～ 2011.05.27	韓国痴呆家族協会の全国ネットワークと連携し、認知症をテーマとしたソウル日本文化センター所蔵の映画『折り梅』を上映。高齢化社会に対する認知度や映像による日本文化理解を深化
4	いわさきちひろ展(金海)	金海市	金海文化会館	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2011.05.01 ～ 2011.06.12	韓国における日本文化紹介事業の一環として、地方都市・金海でいわさきちひろ作品の展示会を開催
5	三橋貴風 尺八ワークショップ	ソウル	ソウル日本文化センター	三橋 貴風	2011.05.18	尺八演奏家の三橋貴風(元文化庁文化交流使)が、日本語講座受講生を対象としたワークショップを開催
6	いわさきちひろ展(済州)	済州	済州現代美術館	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2011.06.18 ～ 2011.07.26	韓国における日本文化紹介事業の一環として、地方都市・済州でいわさきちひろ作品の展示会を開催
7	日本が生んだ巨匠3K特集映画祭	ソウル 光州	韓国映像資料院 光州シネマテーク	韓国映像資料院(Korean Film Archive) 光州シネマテーク	2011.07.01 ～ 2011.08.19	国際交流基金が上映権を取得した小林正樹、木下恵介、木村威夫監督作品の35mmフィルムを活用し、韓国側機関(ソウル及び光州)と連携して映画祭を実施

海外拠点

8	慶北大学校美術館 「Painting for Joy 1990s」展	大邱	慶北大学校美術館	慶北大学校美術館	2011.07.05 ～ 2011.07.30	2011年4月から7月にかけてソウル、釜山、済州で開催される巡回展（90年代日本の絵画展）を大邱でも開催
9	いわみせいじとその友だち展	ソウル	ソウル日本文化センター	いわみ せいじ	2011.07.08 ～ 2011.07.16	いわみせいじ（漫画家、文化庁文化交流使）の協力により、同氏の作品と韓国の漫画家の作品を併せて展示する日韓合同カートゥーン展とワークショップを開催
10	センター・コレクション地方展（光州ロッテギャラリー浮世絵展）	光州	光州ロッテギャラリー	光州ロッテギャラリー	2011.08.04 ～ 2011.08.28	地方における日本文化紹介のため、ソウル日本文化センター所蔵の「浮世絵」復刻版を活用した展示会を光州ロッテギャラリーと共催で実施
11	日韓アート交流フェスティバル	ソウル	KT&Gサンサンマダン、オープンスペース・ドア	So Creative	2011.08.16 ～ 2011.08.21	日韓それぞれの都市で毎年1回ずつ開催されているアートフェスティバル「イーピース」の開催に協力。ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から『あんにょんキムチ』『かたつもり』を上映するとともに、永井一正（グラフィックデザイナー）のポスターを展示
12	日韓交流おまつり関連展示「浮世絵展」	ソウル	韓国工芸デザイン文化振興院		2011.08.31 ～ 2011.09.19	「日韓交流おまつり」は日韓合同で行われる大規模な交流行事。同おまつりの開催時期に併せて日韓の文化交流を促進するため、浮世絵の展示会を開催。韓国の風景を浮世絵で描いた川瀬巴水の作品も韓国で初展示
13	日本映画地方上映会（小津安二郎回顧展）	光州 大邱	光州劇場 大邱東城アートホール	光州シネマテーク 大邱慶北シネマテーク	2011.09.15 ～ 2011.11.01	日本映画地方上映会の一環として、国際交流基金所蔵のフィルム・ライブラリーの中から小津安二郎監督作品を活用し、光州市及び大邱市において日本映画上映会を実施
14	日韓交流おまつり「東日本大震災報道写真展」&「がんばれ日本！韓国児童画展」	ソウル	ソウル広場	日韓共同開催文化交流事業「日韓交流おまつり」実行委員会	2011.09.25	「日韓交流おまつり」は日韓合同で行われる大規模な交流行事。日韓の文化交流を促進するため、同おまつりの一環として東日本大震災報道写真展と日本を応援する主旨の韓国児童画展を開催
15	日韓若手音楽家交流演奏会	ソウル	セラミックパレスホール	日韓若手音楽家交流実行委員会	2011.09.29	スイスで学んだ日韓の若手音楽家が共同公演するクラシックコンサート（ピアノリサイタル）を実施
16	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／日韓世界遺産写真パネル展	清州	国立忠北大学校開新文化館	国立忠北大学校 在韓国大使館	2011.11.07 ～ 2011.11.13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の日韓世界遺産写真パネルを用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
17	日本映画地方上映会—清州Japan Week2011／日本映画傑作選上映会	清州	国立清州博物館情報資料室小講堂 清州大学校新千年館AV室	国立清州博物館 在韓国大使館 清州大学校	2011.11.07 ～ 2011.11.13	ソウル日本文化センター所蔵の韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用し、清州ジャパンウィークの一環として日本映画上映会を開催。溝口健二監督『雨月物語』『山椒大夫』、新海誠監督『秒速5センチメートル』『雲のむこう、約束の場所』等を上映

海外拠点

18	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／浮世絵展	清州	国立清州博物館	国立清州博物館 在韓国大使館	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
19	センター・コレクション地方展—清州Japan Week2011／永井一正グラフィックポスター展	清州	清州文化会館	在韓国大使館	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 13	在韓国大使館主催の清州ジャパンウィークの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の永井一正のグラフィックポスターを用いた展示会を開催し、日本文化を紹介
20	岡本喜八監督特集映画祭	ソウル	韓国映像資料院 KOFA第1館	韓国映像資料院	2011. 12. 01 ～ 2011. 12. 31	戦後日本映画界を代表する映画監督でありながら、韓国でも紹介されることがなかった岡本喜八の特集を、韓国映像資料院と連携して上映
21	ヨントン図書館多文化資料室開館記念浮世絵展	水原	水原市ヨントン区 ヨントン図書館多文化資料室	水原市ヨントン区 ヨントン図書館	2011. 12. 03 ～ 2011. 12. 16	水原市ヨントン図書館の多文化資料室開館記念事業として浮世絵展を実施。図書館を訪れる地域住民と外国人、多文化家庭に日本文化を紹介
22	日本映画地方上映会-ひな祭り展／日本映画傑作選上映会	ソウル	在韓国大使館公報文化院	在韓国大使館公報文化院	2012. 02. 01 ～ 2012. 02. 28	在韓国大使館公報文化院の定期事業である「ひな祭り展」の一環として、ソウル日本文化センターが所蔵している韓国語フィルム・ライブラリー作品を活用した上映会を共催し、映像を通じた日本文化紹介事業を実施
23	山本薩夫&新藤兼人監督特集映画祭	ソウル 釜山	韓国映像資料院 シネマテーク釜山	韓国映像資料院 (Korean Film Archive) シネマテーク釜山	2012. 02. 07 ～ 2012. 03. 18	国際交流基金が上映権を持つ山本薩夫及び新藤兼人の監督作品の35mmフィルムを活用し、韓国内諸機関（釜山及びソウル）と連携して映画祭を実施
24	「浮世絵で見る日韓風景」展	大田	大田ロッテギャラリー（大田広域市）	大田ロッテギャラリー	2012. 02. 09 ～ 2012. 03. 07	ソウル日本文化センターが所蔵している浮世絵復刻版を活用し、大田ロッテギャラリーと共催で展示会を開催。映像資料も活用し、日韓両国の風景を紹介
25	辰巳満次郎能楽ワークショップ	ソウル 大田	ソウル日本文化センター 順天郷大学校 韓南大学校	順天郷大学校 韓南大学校	2012. 03. 03 ～ 2012. 03. 29	辰巳満次郎（能楽師／文化庁文化交流使）の協力により、日本語学習者と演劇関係者を対象とした能及び伝統楽器のワークショップを実施
26	全北道立美術館永井一正展	全州	全北道庁企画展示室	全北道立美術館	2012. 03. 12 ～ 2012. 03. 23	ソウル日本文化センターが所蔵する永井一正のポスターを用いた展示会を開催
27	平澤ジャパンデイ浮世絵展	平澤	平澤文化芸術会館	在韓国大使館	2012. 03. 14 ～ 2012. 03. 21	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いて展示会を開催。安藤広重、葛飾北斎が描いた日本の風景画を展示

海外拠点

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	ソウルバロックチェンバーホール古楽フェスティバル	ソウルバロックチェンバーホール	2011. 04. 25 ～ 2011. 04. 30	ソウルバロックチェンバーホールのリニューアルオープンに併せて、日韓を代表する演奏家とヨーロッパの新鋭によるバロックチェンバーフェスティバルを開催。ソウル日本文化センターは桐山建志など4名の演奏者に対する渡航費を助成
29	第11回 南北子どもと日本子どもマダン	南北子どもと日本子どもマダン実行委員会	2011. 07. 11 ～ 2011. 07. 18	東アジア子ども交流プログラムの一環として日韓子供交流ワークショップを開催。韓国の子供たちが大阪の小学校への訪問、ホームステイなどを通じて日本を理解することで、将来の東アジア和平定着のための民間ネットワークの拡大を目指す。ソウル日本文化センターは韓国の子供たちの日本への渡航費を助成
30	韓日ボランティア・フォーラム	韓日社会文化フォーラム	2011. 07. 11 ～ 2011. 07. 18	韓日社会文化フォーラムが震災復興のために青少年とともに行ったボランティア活動を報告するフォーラムを開催。震災関係者及び専門家も参加して第三国の貧困や災難を支援する方策も議論。ソウル日本文化センターは韓国側参加者の渡航費を助成
31	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル2011	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル組織委員会	2011. 07. 20 ～ 2011. 07. 24	韓国最大の漫画・アニメーションフェスティバル。展示部門では『深夜食堂』で知られる安部夜朗と『桜蘭高校ホスト部』で知られる葉鳥ビスコ、そして折り紙作家の山口まことが参加。ソウル日本文化センターは作家3名の渡航費を助成
32	Nostalgia, East Asia Contemporary Art Exhibition	韓国国際交流財団	2011. 07. 29 ～ 2011. 08. 27	日中韓文化シャトルの一環として韓国国際交流財団が企画・主催した展示事業。「ノスタルジア」をテーマに日中韓3カ国のアーティストの作品を紹介。ソウル日本文化センターは日本人アーティストの渡航費を助成
33	韓日学生会議(ソウル会議)	朝日学生会議	2011. 08. 04 ～ 2011. 08. 18	日韓の大学生が「世界の中のアジア、飛躍する日韓関係」というテーマの下、両国の歴史、政治、経済、文化などの多様なテーマをもって討論や意見交換を行う学生交流プログラムを開催。ソウル日本文化センターは日本人学生の渡航費を助成
34	Museum beyond museum project 2—Takashi Kuribayashi in between展	Museum. People	2011. 08. 05 ～ 2011. 11. 16	「Sensibility is Possibility」というテーマの下、環境問題を文化・芸術的な側面で考察する展示会シリーズの一つ。現代美術作家の栗林隆を招へいし、環境をテーマとした展示会を開催。ソウル日本文化センターは栗林隆の渡航費を助成
35	第7回堤川国際音楽映画祭	堤川国際音楽映画祭組織委員会	2011. 08. 11 ～ 2011. 08. 16	国内外の映像と音楽をテーマとする映画の上映と音楽公演を行う韓国で唯一の音楽映画祭。ソウル日本文化センターは小津安二郎の監督作品上映経費及び塩屋俊（『ふたたび』監督）の渡航費を助成
36	第5回シネマデジタルソウル映画祭	社団法人シネマデジタルソウル組織委員会	2011. 08. 17 ～ 2011. 08. 23	アジア新人監督を対象としたデジタル映画中心のコンペ映画祭。ソウル日本文化センターは審査委員として招へいされた崔洋一とコンペに参加した新人監督の渡航費を助成

海外拠点

37	EPS2011 KOREAコンサート	EPS(Essential People's Space)	2011.08.19	EPSは日本と韓国で開催される展示、公演、映画上映、パフォーマンス、作家トークからなる総合芸術祭。公演部門では日韓アーティストがそれぞれ4組ずつ出演。ソウル日本文化センターは日本側アーティストの渡航費を助成
38	『ライブテープ』上映会	雨乃日珈琲店	2011.08.20	松江哲明の監督作品『ライブテープ』を上映するとともに、主演のミュージシャン・前野健太を招へいし、映画と音楽を通じた日韓交流事業を実施。ソウル日本文化センターは前野健太の渡航費を助成
39	タイポジャンチ2011：ソウル国際タイポグラフィビエンナーレ	韓国工芸デザイン文化振興院	2011.08.30 ～ 2011.09.14	ソウルタイポグラフィビエンナーレ開催10周年を記念して、日中韓3カ国のデザイナーが集まり、タイポグラフィの芸術的な価値と可能性を追求。ソウル日本文化センターは日本側参加者の渡航費を助成
40	劇団態変『ファン・ウンド潜伏記』韓国公演	劇団態変	2011.09.06 ～ 2011.09.07	体の不自由な役者で構成される劇団「態変」が一般障害者の役者募集を韓国で行い、日韓両国の障害者で構成された演劇『ファン・ウンド潜伏記』をソウルで上演。ソウル日本文化センターは劇団員の渡航費を助成
41	『折り梅』特別試写会	映画社チョア	2011.09.14 ～ 2011.09.16	『折り梅』の韓国正式公開に伴い、監督の松井久子と女優の吉行和子が来韓し、観客との対話を実現。ソウル日本文化センターは両名の渡航費を助成
42	インディ・アニメフェスタ2011	韓国独立アニメーション協会	2011.09.22 ～ 2011.09.27	韓国の独立アニメーターを中心としたアニメーションの祭典。海外特別展を開催し、文化庁メディア芸術祭にも選ばれたアニメーターの水江未来を招へい。和田淳、トーチカ、大山慶の作品も紹介。ソウル日本文化センターは日本のアニメーターの渡航費を助成
43	2011 D. FESTA	韓国小劇場協会	2011.09.24 ～ 2011.11.27	韓国小劇場協会が主催する2011D. FESTAのうち、「OUT DOOR」のプログラムの一環として日本のサブリミット、コモト喜劇マイム、ムシマル舞踏、コジヤマ&ハットリ、タイスケサーカス等のチームが参加。ソウル日本文化センターは同参加者の渡航費を助成
44	第8回日本歌謡大会	釜山韓日文化交流協会	2011.10.08	釜山韓日文化交流協会が対馬市と在釜山総領事館と共催で嶺南地域の市民を対象に日本歌謡のど自慢大会を開催。ソウル日本文化センターは、大会に招へいされた演歌歌手、前田有紀の渡航費を助成
45	韓日文化交流事業「WITH」	西大門文化会館	2011.10.10	日韓の伝統舞踊家である藤間信乃輔とパク・ジョンピルによる単独公演及びコラボレーション公演を実施。ほかに韓国民謡や「民族衣裳源流会」による「源氏物語」と題した日本の伝統衣装の紹介事業も実施。ソウル日本文化センターは日本側参加者の渡航費を助成

海外拠点

46	広島-狭川：二つの都市をめぐる展覧会	韓国公演芸術センター	2011. 10. 14 ~ 2011. 10. 15	ソウル国際公演芸術祭と日本のマレビトシアターカンパニーが演劇「広島-狭川：二つの都市をめぐる展覧会」を共催。原子爆弾の被爆地である広島と、当時広島で被爆し帰国した韓国人が集団で居住する狭川を背景とした物語を展覧会形式で表現し公演。ソウル日本文化センターはマレビトシアターカンパニーの渡航費を助成
47	第4回ソウル国際バッハフェスティバル	漢陽大学校音楽研究所	2011. 10. 23 ~ 2011. 10. 31	漢陽大学校音楽研究所主催の「第4回ソウル国際バッハフェスティバル」に日本から桐山建志（ヴァイオリニスト）と櫻井茂（コントラバス奏者）が参加し、韓国の鄭ロッキ（漢陽大学校教授）とともに「コレギウム・ムジクム・漢陽」を結成。ソウル日本文化センターは日本からの参加者の渡航費を助成
48	バリアフリー映画祭	バリアフリー映画設立推進委員会	2011. 10. 28 ~ 2011. 10. 31	韓国初のバリアフリー映画祭。身障者も楽しめるような環境づくりを目指して専門家を招へいし、シンポジウムを開催。また、バリアフリー映画の先進国である日本の作品『酔いがさめたら、うちにかえろう』を韓国語版で上映。ソウル日本文化センターは同映画の東陽一（映画監督）及びバリアフリー専門家の大河内直之（東京大学 先端科学技術研究センター研究員）の渡航費を助成
49	日韓競技かるた交流	日韓競技かるた交流プログラム実行委員会	2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 06	全日本かるた協会主催の「小倉百人一首かるた競技全国大会」に全南大学日本文化研究センターの学生が参加。日韓の学生が世界中の人達とかるたを通じて交流。ソウル日本文化センターは韓国人学生の日本への渡航費を助成
50	韓日地域芸術交流プロジェクト	ソンミサンマウル	2011. 11. 11 ~ 2011. 11. 17	韓国の代表的な芸術共同体地域であるソンミサンマウルが日本の類似団体である天人（あまんど）関係者を招へいし、市民社会を基盤とした芸術共同体交流を実施。ソウル日本文化センターは天人関係者の渡航費用を助成
51	『奇跡』特別試写会	ミロ・ビジョン	2011. 12. 12 ~ 2011. 12. 14	映画『奇跡』の韓国正式公開に伴い、是枝裕和（映画監督）が来韓し、観客及び韓国の映画人と交流。ソウル日本文化センターは同氏の渡航費を助成
52	2012シネマテーク友達映画祭	韓国シネマテーク協議会	2012. 01. 12 ~ 2012. 02. 26	シネマテークを支持する監督及び俳優たちが見たい映画を選定してプログラムを作っていく映画祭。日本作品として船橋淳の監督作品『Big River』、『谷中暮色』も上映。ソウル日本文化センターは同監督の招へい費用を助成
53	Yukari Jazz Flute Concert	コスモス楽器	2012. 02. 11 ~ 2012. 02. 12	コスモス楽器がニューヨークで活動しているジャズフルーティストのYUKARI（渡辺ゆかり）を招へい。ソウル日本文化センターは同氏の渡航費を助成
54	韓日予備クリエイター交流展	etteda	2012. 02. 21 ~ 2012. 02. 28	卒業を目前に控えた日韓のデザイン関連学生による作品交流展を「間」というタイトルで開催。共同展示を通じて、両国のデザインの流れを共有。ソウル日本文化センターは韓国側クリエイターの日本渡航費用を助成

海外拠点

55	『マイ・バック・ページ』特別試写会	映画社ジャミ	2012.03.05 ~ 2012.03.07	映画『マイ・バック・ページ』の韓国正式公開に伴い、山下敦弘（映画監督）が来韓し、観客及び韓国の映画人と交流。ソウル日本文化センターは同監督の渡航費を助成
56	2012統営国際音楽祭	統営国際音楽祭	2012.03.23 ~ 2012.03.29	財団法人統営国際音楽祭が主催する「2012統営国際音楽祭」に世界的に活躍するアーティストが参加（日本からは細川俊夫、倉本裕基を招へい）。ソウル日本文化センターは細川俊夫の渡航費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
57	国際交流基金日本研究フェロー・フォローアップ事業「JFとともに」連載	ソウル	ソウル日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	国際交流基金の日本研究フェローに対するフォローアップを兼ねて、ソウル日本文化センターのウェブサイト連載企画である「JFとともに」の執筆を韓国人元フェローに依頼し、年5回掲載
58	日本研究・知的交流分野動向調査活動	ソウル	ソウル日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	韓国内で発行される学術誌などに発表された日本関連論文・記事等を翻訳し、韓国における日本研究・知的交流分野の動向を調査

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	韓国児童学会2011春季学術大会	韓国児童学会	2011.05.07	「より幸せな児童期のための韓国社会の課題—Making Better Childhood—」という主題で、日本、フランス、韓国の学者が一堂に会し発表・討論する学術大会。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
60	2011年韓日民族問題学会学術大会—韓日合同学術セミナー	韓日民族問題学会 (The Association of Korean-Japanese Nation Studies)	2011.08.05 ~ 2011.08.06	日本から在日韓国人の権益保護運動などで活躍している知識人を招へい。日本社会での韓国関連運動の思想的現況を考察し、今後の友好増進のための方法を模索するセミナー。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
61	国際学術シンポジウム「言語類型論と個別言語研究—TAMシステムを中心に」	韓国外国語大学校日本研究所	2011.08.19	韓国外国語大学校日本研究所が毎年行う学術シンポジウムの一つで、2011年は言語類型論をテーマに専門家を招へいし、日韓両国における同学問について議論。ソウル日本文化センターは発表者の渡航費等を助成
62	韓国日本語学会 第24回学術発表会及びシンポジウム	韓国日本語学会	2011.09.17	日本語文法と社会言語学の融合領域というテーマで渋谷勝己（大阪大学教授）を招へいしてシンポジウムを開催するとともに、日本語学と日本語教育に関する分科会を実施。ソウル日本文化センターは被招へい者の渡航費等を助成
63	2011年韓国日語日文学会秋季国際学術大会 「現代日本の格差問題—歴史的展開と現在の構造」	韓日日語日文学会	2011.10.15	「日本の格差問題」を日本語、日本文学、政治（社会）学の側面から議論するシンポジウム及び、個別発表からなる学術大会。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成

海外拠点

64	第26回檀国大学校日本研究所学術シンポジウム「東アジアにおける漢文と近代」	檀国大学校	2011. 10. 21	日中韓の3カ国が近代に入り相互交流する中で、従来の漢文と国語が影響し合い、変化する様相を重点的に探るシンポジウム。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成
65	韓国日本近代文学会	韓国日本近代文学会	2011. 11. 05	「主題」を取り上げる春大会と「作家」を取り上げる秋大会の、年2回の定期学術大会を実施。秋大会は、生誕100周年を迎える太宰治をテーマに、日本近代文学会関西支部と共同で開催。ソウル日本文化センターは日本側発表者の渡航費等を助成
66	国際著作権技術カンファレンス2011	国際著作権技術カンファレンス (ICOTEC)組織委員会 韓国著作権団体連合会	2011. 11. 17 ~ 2011. 11. 18	著作権保護技術の発展に寄与し、関連国際専門学会と連携することで最新の研究動向を把握し、技術交流の拡大を目指す国際会議。ソウル日本文化センターは日本から参加した専門家の渡航費等を助成するとともに、所長が諮問委員として協力
67	2012年高麗大学校日本研究センター国際学術シンポジウム「3. 11東日本大震災の教訓：複合危機とリスク管理」	高麗大学校日本研究センター	2012. 03. 02	3. 11東日本大震災から学ぶべき教訓を日韓が共に考察しようとする国際シンポジウムの開催にあたり、参加者旅費及びシンポジウムに併せた書籍（翻訳版）の出版費用を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
68	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 18,162名 (2) レファレンス数 1,237件 (3) 貸出点数 20,690点 2. 情報発信への取組み ソウル日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報を発信 (1) メールマガジン配信数 277,208件 (2) ホームページアクセス件数 2,182,687件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
69	東日本大震災チャリティーコンサート	Rockin Korea	2011. 04. 22	東日本大震災からの復興途中にある日本を応援する、日韓の若手アーティストによるチャリティーコンサート。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力

海外拠点

70	劇団風の子九州『にっこりぼっかり座』公演	国立劇場	2011.05.10 ~ 2011.05.11	国立劇場が4月27日～5月29日にかけて実施する「青少年公演芸術祭」に劇団風の子九州が招へいされ、『にっこりぼっかり座』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
71	日本留学総合説明会	株式会社ライセンスアカデミー 大学新聞社	2011.05.20 ~ 2011.07.17	日本への留学に関心のある青少年を対象に、ソウル、大邱、釜山で留学説明会を開催。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
72	韓日クリエイター交流展	ETTEDA KOREA	2011.08.24 ~ 2011.08.29	2011年で5回目を迎える作品展。大学卒業を前にした日韓のデザイン専攻学生やクリエイターの作品を展示。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
73	第9回 日韓カラオケ大会	ソウルジャパンクラブ	2011.08.27 ~ 2011.10.23	2012年で9回目を迎える日韓合同のカラオケ大会。日本語を母語とする人は韓国の歌を、韓国語を母語とする人は日本の歌を歌い、賞を競うもの。ソウル日本文化センターは予選会場を提供
74	韓日日語日文学会2011年学術大会	韓日日語日文学会	2011.09.03	韓日日語日文学会が定期的で開催する学術大会。学術発表、森洋久（国際日本文化研究センター准教授）による招へい講演（「日本の大学院の現状と課題」）、「日本関連大学院の現状と課題」をテーマとするシンポジウムを実施。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
75	平成23年度（2011年）日本留学フェア（韓国）	日本学生支援協会	2011.09.17 ~ 2011.09.18	日本への留学に関心のある層を対象に、ソウルと釜山で留学説明会を開催。ソウル日本文化センターでは、「協力」名義の発出とともに、事前広報への協力及びブースを設置
76	日本酒で乾杯、元気な日本発信事業	韓国外国語大学校日本語学部 宮城県ソウル事務所 財団法人自治体国際化協会ソウル事務所 山形県ソウル事務所 新潟県ソウル事務所 静岡県ソウル事務所 北東北3県・北海道ソウル事務所	2011.10.25	韓国外国語大学校日本語学部創立50周年を記念し、日本研究者及び日本語教育関係者を対象に日本酒に関する講演を行い、日本酒試飲会を開催。ソウル日本文化センターは広報に協力
77	アジア未来フォーラム2011「アジアの危機を超えて：責任と共生」	ハンギョレ経済研究所	2011.11.15 ~ 2011.11.16	韓・中・日3カ国の企業間の交流を通じて企業の持続可能な成長動力と核心モデルを模索し、東アジアの企業がアジアの経済と社会に寄与できる方法について議論。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力

海外拠点

78	2011CLAIR—KRILA共同セミナー	財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) 韓国地方行政研究院 (KRILA) 国立防災研究所 国会行政安全委員会 ネイル新聞	2011. 11. 17	防災をテーマに日韓両国の行政関係者・実務者が一堂に会し、セミナーを開催。発表者を含め230名が参加。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し、広報に協力
79	『眠れない夜なんてない』公演	斗山アートセンター	2011. 11. 29 ~ 2011. 12. 31	斗山アートセンターが平田オリザ作の演劇『眠れない夜なんてない』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
80	『再／生 (Re/Play) 』公演	第12言語演劇スタジオ	2011. 12. 22 ~ 2011. 12. 31	韓国の劇団「第12言語演劇スタジオ」と日本の劇団「東京テスロック」が日韓両国の都市で生きていく若者が経験する現実的な不満と不安を題材にした多田淳之介演出の作品『再／生 (Re/Play) 』を公演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
81	『革命日記』公演	斗山アートセンター	2012. 01. 12 ~ 2012. 01. 15	日本の劇作家・平田オリザの作品『革命日記』を韓国の斗山アートセンターと日本の劇団「青年団」が共同で制作し、ソウルにて上演。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し広報に協力
82	第8回日本映画祭	CGV (映画館) 映画の殿堂 文化庁	2012. 01. 26 ~ 2012. 02. 06	文化庁がCGV、映画の殿堂と共催した「日本映画祭」に対し、ソウル日本文化センター独自のネットワークを活かして広報に協力
83	「春&猫をお願い」(映画上映会)	韓国映像資料院	2012. 03. 09 ~ 2012. 03. 25	猫をテーマとした長編・短編映画を集めた特集上映。ソウル日本文化センターは事業全体に後援名義を付与し広報に協力。また、所蔵フィルムライブラリーの中から『長靴をはいた猫』、『ながぐつ三銃士』、『長靴をはいた猫—80日間世界一周』を共催上映
84	韓国における東北大学入学試験	東北大学理学部化学専攻AMC (Advanced Molecular Chemistry) 入試実行委員会	2012. 03. 21	東北大学理学部化学専攻に新たに作られた英語コースの入試をソウルで実施するにあたり、ソウル日本文化センターが施設を貸与

海外拠点

北京日本文化センター

合計額 132,860,958 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	現代日本探索 シリーズ第1回 北川フラム講演会	北京	中央美術学院 美術館 北京日本文化 センター	中央美術学院美術 館	2011.04.17 ~ 2011.04.18	様々な分野で活躍する日本のトップランナーを中国に招へいし、特に大学生を中心とする若者を対象に講演会を実施する「現代日本探索シリーズ」の1回目。日本に対する理解を深めてもらうとともに、対話の機会を設けることを目指す。なお、今期の総合テーマは「アートで繋がる社会」とし、アートディレクターの北川フラムを招へい
2	細江英公講演会	北京	北京日本文化 センター	草場地春の写真祭 2011	2011.04.25	中国でも日本を代表する写真家として知られ、2010年には文化功労賞も受賞した細江英公を北京に招へい。写真芸術や日本文化に興味のある中国の人々を対象とした講演会を実施
3	春の映画上映会	北京	北京日本文化セン ター多目的ホール		2011.04.27 ~ 2011.05.07	「旅立ちの春」をテーマに、在外フィルムライブラリーから3作品を上映。『秒速5センチメートル』（4月27日）、『100万円と苦虫女』（5月4日）、『おくりびと』（5月7日）
4	第20回留華ネット ミーティングin延 辺ふれあいの場	吉林	延辺大学	延辺ふれあいの場	2011.05.27 ~ 2011.05.29	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーたちが、延辺ふれあいの場にて現地学生との交流会を企画・運営。また、メンバーによるミーティングも行い、それぞれが留学する地方での日中交流事業に関する情報、意見交換を実施
5	初夏の映画上映会	北京	北京日本文化セン ター多目的ホール		2011.05.31 ~ 2011.06.07	「さわやかな人気男優」をテーマに、在外フィルムライブラリーから3作品を上映。『春の雪』（5月31日）、『雪に願うこと』（6月2日）、『サッドヴァケイション』（6月7日）
6	山田洋次監督映画 特集	北京	中国電影資料館	在中国大使館 中国電影資料館 日中映画祭実行委 員会	2011.06.04 ~ 2011.06.07	在中国大使館、中国電影資料館、日中映画祭実行委員会と共催で、山田洋次の監督作品を上演。同氏は、中国でも日本を代表する監督として著名で、本年監督として50周年を迎える
7	野村万作 狂言レ クチャーデモン ストレーション	北京	日本大使公邸 ホール	在中国大使館	2011.06.14	中国芸術院での狂言講演会及びワークショップ開催（本部助成事業）のため来訪する野村万作が、同活動以外の時間に、学生や専門家以外を対象にレクチャーデモンストレーションを実施。この事業は、同氏の希望により行われたもので、在中国大使館広報文化センターの協力のもと実施

海外拠点

8	現代日本探索 シリーズ第2回 川崎和男講演会	北京	中央美術学院 美術館 北京日本文化 センター	中央美術学院美術 館	2011.06.27 ~ 2011.06.29	様々な分野で活躍する日本のトップランナーを中国に招へいし、中国の若者を対象に講演会を実施する「現代日本探索シリーズ」の2回目。「アートで繋がる社会」という総合テーマのもと、中国で関心の高い日本のデザイン分野で、車椅子や人工臓器のデザイン、地域の伝統工芸を生かすデザイン等、デザイナーという立場からより良い社会作りに取り組む川崎和男を講師として招へい
9	消夏文化祭（折り紙教室、山水画ワークショップ）	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2011.07.11 ~ 2011.08.27	夏休み期間中、主に学生や親子連れを対象として、折り紙のワークショップと、山水画のワークショップを実施
10	夏の映画上映会	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2011.08.01 ~ 2011.08.18	夏休み期間中、主に学生や親子連れを対象として、学園・青春モノやSFなどの8作品を上映。『ブタがいた教室』（8月1日）、『森の学校』（8月3日）、『キッズ・リターン』（8月3日、18日）、『スウィングガールズ』（8月8日）、『ウォーターボーイズ』（8月10日）、『ガメラ大怪獣空中決戦』（8月10日、16日）、『がんばっていきまっしょい』（8月12日）、『どこまでもいこう』（8月16日）
11	北京音楽祭への日本人アーティスト招へい（九門ジャズフェスティバル 本田雅人バンド公演）	北京	朝陽公園中心島劇場 愚公移山ライブハウス 北京現代音楽研修学院	九門ジャズフェスティバル	2011.09.11 ~ 2011.09.15	北京で開催される九門ジャズフェスティバルにサクソ奏者として著名な本田雅人率いる本田雅人バンドを招へい、公演・ワークショップを実施
12	第21回留華ネットミーティング	北京	日本文化センター会議室		2011.09.17 ~ 2011.09.18	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーによるミーティングを実施。それぞれが留学する地方での日中交流に関する情報共有と、意見交換を実施
13	J-popコンサート	成都 西寧 青島 北京	成都東区音楽主題公園 青海民族大学内ホール 青島人民会堂 北京外国語大学	ソウルボッサ・プロダクション 北京外国語大学 在青島総領事館 青島市人民政府外事弁公室 成都ふれあいの場 西寧ふれあいの場	2011.10.22 ~ 2011.10.31	日中交流センターと共同で、ふれあいの場のある都市（成都、西寧）、及び青島、北京での巡回コンサートを実施。招へいアーティストは日本で活躍する中国人歌手aminと、中国でも「桜」で有名な河口恭吾

海外拠点

14	日本ドキュメンタリー映画祭	北京	中央戯劇学院北劇場	中央戯劇学院北劇場	2011. 12. 02 ~ 2011. 12. 04	2011年3月11日の東日本大震災（原発事故問題を含む）を背景に、今の日本を中国の人々に知ってもらおうと同時に、「揺れる現実の中の揺らがない真実は何か」を中日両国の人々が共に考え、交流する場を創造する。『祝の島』『大きな家』『私たちの時代』『タイムグラバあちゃん』『大津波のあとに』を上映。併せて、監督の瀬瀬あや、森元修一、澄川嘉彦を招へいし、アフタートークを実施
15	在外日本文化専門家第三国派遣	ウランバートル	在モンゴル大使館	在モンゴル大使館	2011. 12. 09 ~ 2011. 12. 11	中国から百人一首専門家2名を派遣し、日本語学習者を対象に百人一首に関するデモンストレーションを実施
16	第22回留華ネットミーティング	武漢	華中科技大学	華中科技大学 湖北省人民政府外事弁公室	2012. 03. 24 ~ 2012. 03. 25	留華ネット（国際交流基金が主催する学生ネットワーク）の各都市代表メンバーによるミーティングを実施。それぞれが留学する地方での日中交流に関する情報共有と、意見交換を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
17	桂勘日本舞踏ワークショップ	蓬萊舞社	2011. 05. 04 ~ 2011. 05. 08	長年海外で活躍している舞踏家の桂勘が、北京にて舞踏のワークショップ、講演会、公演を実施し、中国での舞踏の普及と中国の若手アーティストとの交流を図る。会場費と旅費を助成
18	北京大学日中文化祭	北京大学日本人留学生会	2011. 05. 06 ~ 2011. 05. 20	北京大学構内において、華道パフォーマンスや講演会など、日本文化を紹介する事業を行うほか、オリエンテーリングやカラオケ大会など、日中の学生の交流を図る。会場費と横断幕制作費を助成
19	重慶大学学生第三回日本語文化祭文芸公演	重慶大学外国語学院	2011. 05. 22	重慶大学学生第三回日本語文化祭の一環として、重慶大学外国語学院の学生が日本語で演劇、舞踊、歌唱、朗読を含む総合公演を実施し、日本語学習の成果を披露。会場設備費と広報物制作費を助成
20	中日学生手話交流～南京交流事業～	中日学生手話交流会・北京チーム	2011. 06. 03 ~ 2011. 06. 04	北京大学に留学する早稲田大学の学生12名が、南京市内の老人ホーム及び聾啞学校にて、手話を使った歌の披露、並びに浴衣、剣玉、独楽、折り紙といった日本文化の紹介を通じ、中国の人々と交流。学生の旅費を助成
21	2011年夏MATSURI	北京日本人留学生社団（BJSA）	2011. 06. 11	広く中国の人々に対し、日本の「祭り」を体験する機会を提供すべく、北京の日本人留学生が中心となり、飲食店の協力を得て屋台や、留学生たちによる遊びのブース、ステージパフォーマンスなどを実施。会場施設費を助成
22	『2011日中合作～トラックとらすけ（中国児童戯劇節）』公演	中国児童芸術劇院	2011. 06. 25 ~ 2011. 08. 14	劇団道化（日本）と、中国児童芸術劇院（中国）の日中合作による児童演劇作品の制作（『トラックとらすけ』）とその上演。通訳謝金を助成

海外拠点

23	北京大学－京都大学 跨文化学生交流項目 (PUKU)	北京大学中日交流協会	2011.09.02 ～ 2011.09.12	北京大学と京都大学の学生44名が、京都と北京で約1週間寝食をともにし、議論を通じて相互理解を深めることを目的としたプログラム。2010年に始まり本年が2回目。「伝統」「環境」「社会福祉」の3グループに分かれて英語で議論を実施。宿泊費と設備費を助成
24	京論壇	京論壇北京大学実行委員会	2011.09.16 ～ 2011.09.22	北京大学と東京大学の学生約40名が、北京と東京で約1週間寝食をともにし、英語での議論を通じて相互理解を深めることを目的としたプログラム。2006年に始まり本年で6回目。今回のテーマは「ジェンダー」「インターネット」「国家イメージ」。宿泊費と設備費を助成
25	上海 ジャパンウィーク「玉置成実J-POPコンサート」「城南海J-POPコンサート」	上海漫步創媒广告有限公司	2011.09.23	中国の青少年の間でも人気の高いJ-POP歌手によるライブコンサート。歌手は玉置成実と城南海。公演謝金と旅費等を助成
26	2011南京国際ジャズ・世界音楽フェスティバル	江蘇省文化館	2011.10.14 ～ 2011.10.18	南京で行われる音楽フェスティバルに、日本の若手ジャズアーティスト徳田雄一郎と同氏のバンドメンバー計5名を招へいし、南京市内の大学やバーなどで公演を実施。謝金を助成
27	藤間万恵 北京 日本舞踊の会	北京日本舞踊の会	2011.10.20 ～ 2011.10.25	文化庁文化交流使として北京で活動してきた日本舞踊藤間流師範の藤間万恵と、同氏が指導してきた日中の学生たちによる、日本舞踊及び舞踊劇の公演。会場費を助成
28	ファースト・フィルム・フェスティバル	河北伝奇影視文化伝播有限公司	2011.10.26 ～ 2011.11.16	中国において新世代の監督に着目する唯一の映画祭の新人監督処女作品部門において、橋本直樹の長編第1作『臍帯』を上映するとともに、観客との交流会を実施。同氏の旅費を助成
29	DigiCon6大賞-日本動画大師交流座談会	香港デジタル娯楽協会	2012.02.10 ～ 2012.02.11	アニメーションの専門家である佐藤順一、井上幸一を招へいし、アニメーション制作に関する技術指導、討論会及びQ&Aセッションを実施。討論会の謝金を助成
30	Nostalgia-東亜当代芸術展 (東アジア現代芸術展)	上海当代美術館	2012.02.17 ～ 2012.03.25	韓国のキム・ソンヒをキュレーターに迎え、「ノスタルジア」をテーマに、各国の現代美術家及びその作品を紹介する国際芸術展。同氏の旅費を助成
31	ジブシークイーン交流会	湖北省人民対外友好協会	2012.03.22 ～ 2012.03.25	湖北・武漢ジャパンウィークにおける、日本のロックバンド・ジブシークイーンのコラボレーションコンサート開催経費の一部を助成
32	貴州大学日本文化祭GYPSY QUEEN LOVE ASIA CONCERT	貴州大学 在重慶総領事館	2012.03.26	貴州大学が日本からロックバンド・ジブシークイーンを招へいし、貴州大学日本文化祭 (重慶総領事館との共催イベント) においてコンサートを実施。招へい者の旅費を助成
33	西華大学第2回日本文化祭	在重慶総領事館 西華大学	2012.03.28 ～ 2012.03.30	四川省成都市に所在する西華大学が開催する日本文化祭。2回目となる本年は、大学生レベルの日中友好を目指して、一週間でコンサート、日本式の学園祭、日本語スピーチコンテスト、日本の伝統芸能のワークショップ、講演などを実施。会場施設費と旅費等を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	講演会「近代史における日中関係」	北京	北京日本学研究中心	北京日本学研究中心	2011.06.19	西原春夫（元早稲田大学総長）を講師に迎え、北京日本学研究中心と北京日本文化センターが共催して行う講演会。主に、北京日本学研究中心、北京外国語大学、北京大学の大学院生が対象
35	日本研究フェロー、日本学研究中心事業OB等との懇親会	北京	亮馬河飯店会議場		2012.03.10	日本研究フェローや北京日本学研究中心、北京大学現代日本研究所等の過去の参加者、卒業生を集め、業績発表会、意見交換などを通じネットワークの維持拡大を図る
36	政権交代後の日本、中国、アジア	北京	北京大学国際関係学院	北京大学国際関係学院	2012.03.22	「ガバナンスと市民社会」セミナーのために来訪する専門家が、主として行政管理学を研究する大学院生や若手研究者を対象に、政権交代後の日本政治外交に関する講演会を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
37	『従大相撲到小一休一拡大と縮小の日本』出版	湖北人民出版社有限公司	2011.05.01 ～ 2012.03.15	湖北人民出版社有限公司が『従大相撲到小一休一拡大と縮小の日本』（高等教育出版社国際漢語出版センター主任祝大鳴執筆）を2012年3月20日までに、出版する。初版は5000冊。印刷製本費の一部及び校正デザイン費を助成
38	日本切絵学術会議、デモンストレーション	陝西乾県剪紙協会	2011.05.11 ～ 2011.05.13	陝西乾県剪紙協会が日中の共同創造を促進させるために、日本東京切絵美術会元会長、会長、切り絵の専門家等を西安へ招へい。日中の専門家、学者による民間芸術に関する学術交流を実施。併せて、中国の大学生、美術者、剪紙専門家に切絵のデモンストレーションを行い、切絵の歴史、制作、材料などを全面的に紹介。開催費用の一部を助成
39	西原春夫講演会	中国社会科学院法学研究所	2011.05.17 ～ 2011.06.21	中国社会科学院法学研究所が、著名な法学者／社会活動家／早稲田大学元総長である西原春夫を招へいし、日中関係、日中学術交流等のテーマで六回にわたる講演会を開催。併せて、中国社会科学院近代史研究所、法学研究所、研究生院、日本研究所、アジア・太平洋研究所、マルクス主義研究院に属する研究者との議論を実施。通訳・翻訳謝金の一部を助成
40	『日本の文学概念』（鈴木貞美著、作品社、1988）翻訳出版事業	中央編訳出版社	2011.06.01	『日本の文学概念』は、日本文学研究の新たな一段階を築いたと海外で評価が高く、これまで英語や韓国語に翻訳されているが、中国語訳ははまだ出版されていない。訳者に、日本近現代文学研究の中堅研究者である清華大学日本語学部の新王成をむかえ、中国国内の文学・文化研究者、知識人に新しい学術研究の方法論を提示。印刷製本費の一部を助成

海外拠点

41	「日本文化の表象と深層」	アモイ大学日本語学部	2011.07.01 ~ 2011.09.30	大学設立90周年を祝うために、アモイ大学日本語学部が「日本文化の表象と深層」をテーマとするシリーズ学術イベント（2011年福建省日本語スピーチ・コンテスト、日本映画広報イベント、日本文化講座）を開催する。日本人学者5名がそれぞれ日中古典文学比較、日本思想史、日本哲学史、言語学、日本文学といった分野の講演を実施。開催経費の一部を助成
42	中日韓語言・文化研究国際学術会議	中国日本文学研究会	2011.08.01 ~ 2011.08.05	中国日本文学研究会が日本解釈学会、韓国日本学会と共同で、「語言・文化に見る中国、日本、韓国」をテーマにする国際学術シンポジウムを開催。日本から21名、韓国から10名、中国から20名の研究者（文学、言語学、歴史学、考古学、比較文化学）が参加。比較文化の視点・方法から、東アジア三カ国の学術研究の成果、共通性・連帯性を表し、新たな研究視点、研究方法と研究対象を発見することを目的とする。開催費用の一部を助成
43	第二回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム	延辺大学日本学研究所	2011.08.22 ~ 2011.08.25	東アジア地域を視野に入れた日本学研究を中心とする学術交流を活性化させるため、中日韓三カ国の日本研究を専門とする学者が一堂に集まり、政治、経済、社会、歴史、教育、文化、文学、言語広範囲にわたる日本研究・比較研究の学術交流を実施。講師謝金、旅費、印刷製本費のそれぞれ一部を助成
44	第6回国際芥川龍之介学会「芥川龍之介の文学の現代性と国際化」	国際芥川龍之介学会	2011.10.08 ~ 2011.10.09	国際芥川龍之介学会は、2006年に発足した芥川龍之介研究のための国際的学術団体。会長は宮坂覚（日本フェリス女学院大学・学長）。現在世界各国で正規会員が約300名にのぼり、会誌『芥川龍之介研究』を刊行している。発足後、韓国、イタリア、台湾等で国際シンポジウムを開催。第六回の本年は、北京外国語大学日本学研究センターにおいて開催。開催費用の一部を助成
45	鈴木貞美北京講演会	清華大学外国語学部	2011.10.27	清華大学外国語学部が学者の鈴木貞美を招へい。清華大学と北京日本学研究センターで二回にわたり、「日本の親中国派百年の動き」と「日本近代思想文化の再編」をテーマに講演会を実施。開催費用の一部を助成

海外拠点

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
46	広報・図書館運営	2011.04.01 ～ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 13,576名 (2) レファレンス数 27件 (3) 貸出点数 10,008点</p> <p>2. 情報発信への取組み 北京日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信のためのウェブサイト運営すると同時に、ニューズレター「てふてふ」を発行 (1) ホームページアクセス件数 188,418件</p>

【協力後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
47	ニッポン塾	ニッポン塾	2011.04.16 ～ 2012.03.31	日中ダブルの子供達に日本の言葉と文化に触れてもらう教室を開催するにあたり会場を提供
48	五縁会	五縁会	2011.04.16 ～ 2012.03.31	中国語を学ぶ日本人と、日本語を学ぶ中国人との相互学習及び交流会を実施するにあたり会場を提供
49	第4回小倉百人一首かるた北京大会	北京鵲橋かるた会	2011.05.14	北京在住のカルタ有段者が主催する、日中の参加者による小倉百人一首かるた大会。競技の他、有段者によるデモンストラレーションも実施するにあたり会場を提供
50	九州知事会・中国観光プロモーション	九州知事会 九州運輸局	2011.06.10	九州知事会及び九州運輸局が、東日本大震災後の中国からの観光客の回復に向け、九州観光の安全・安心メッセージを発信するため現地メディア向けの記者会見を共同で実施するにあたり会場を提供
51	3.11東日本大震災 中国人研修生20名を救った佐藤充の物語と報道写真展	河北新報社 三陸河北新報社	2011.08.29 ～ 2011.09.03	河北新報社と三陸河北新報社が主催し、地震発生時から被災地、特に石巻市・女川町を中心に被災の様子を追った写真約50点と新聞紙面、被災地マップ、取材ルボ等をパネル化したものを展示するにあたり会場を提供
52	第6回SGRAチャイナ・フォーラム 「Sound Economy ～私がミナマタから学んだこと～」	渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)	2011.09.23	渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA) の主催、北京大学日本語文化学部、内モンゴル大学モンゴル学研究会センター共催の講演会。元 (財) 水俣病センター相思社事務局長の柳田耕一が、グローバルな視点から、水俣で起きた人類史的な事件の事実と意味について、北京及びフフホトで講演。開催にあたり会場を提供

海外拠点

53	ポプラ社主催 宮西達也講演会	ポプラ社北京	2011.09.28	日本の絵本作家・宮西達也を招へいし、朗読を交えた講演会を実施するにあたり会場を提供
54	「日本東北地区復興観光視察団」写真展	交通公社新紀元国際旅行社	2011.10.24 ~ 2011.11.25	JTBグループの中国における旅行会社「交通公社新紀元国際旅行社」が主催し、東北6県の観光地で撮影された写真の展示会を開催するにあたり会場を提供
55	池坊華道講習会	池坊北京	2011.11.14 ~ 2011.11.17	中国在住の華道愛好者のための講習会を開催するにあたり会場を提供
56	村里サロン	村里サロン	2011.12.24 ~ 2012.12.24	日本留学経験を持つ中国人による同窓会的交流会を開催するにあたり会場を提供
57	阿刀田高 読者・メディアとの交流会	上海訳文出版社	2012.01.09	中国で新たに著書が翻訳出版される阿刀田高と北京の読者・メディアとの交流会を開催するにあたり会場を提供
58	池坊華道講習会	池坊北京	2012.03.12 ~ 2012.03.16	中国在住の華道愛好者のための講習会を開催するにあたり会場を提供

【その他】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
59	「ガバナンスと市民社会」に関するセミナー（「日本研究ネットワーク強化事業」）	北京	中国共産党中央編訳局	在中国大使館政治部 中国共産党中央編訳局	2012.03.22 ~ 2012.03.24	「ガバナンスと市民社会」と題し、日中両国の専門家がセミナーを開催。テーマは、非政府組織等の活動、市民社会の形成、市民社会と中央・地方政府とのあるべき協力、行政と民主等

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	囲碁教室（第1四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.04.01 ～ 2011.06.30	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
2	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第1四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.04.01 ～ 2011.06.30	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『怖がるひとびと』『回路』『それから』『つぐみ』等を上映
3	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第2四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.07.01 ～ 2011.09.30	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『みんなのいえ』『遠き落日』『アカシアの道』を上映
4	日本映画上映 地方での映画上映会	スカブミ	スカブミ第3高校		2011.04.05	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、日本映画上映会を実施
5	茶道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	裏千家淡交会ジャカルタ支部	2011.04.12 ～ 2011.07.26	裏千家淡交会ジャカルタ支部より教諭（日本人）を招へいし、インドネシア人を対象に茶道教室を実施。全15回、14名が参加
6	いけばなインターナショナル展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	いけばなインターナショナル	2011.04.13 ～ 2011.04.15	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部と共催でいけばな展を開催し、日本の伝統文化である華道を紹介。池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会の所属全7派の作品約70点を展示。今年は <i>Soul of Orchid</i> と題し、インドネシアの代表的な花であるランを用いたインドネシア人による作品を展示
7	華道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	池坊インドネシア支部	2011.05.01 ～ 2011.09.29	池坊インドネシア支部より教諭（インドネシア人）を招へいし、インドネシア人を対象に華道教室を実施。全16回、22名が参加
8	日本研究フェローによる講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	ヘリテージ・ソサエティ	2011.05.26	インドネシアの代表的な日本研究者であるバクティアル・アラム（インドネシア大学理事/元国際交流基金日本研究フェロー）による在留邦人向け講演会をインドネシア・ヘリテージ・ソサエティと共催で開催、インドネシアと日本について理解を深める機会を提供
9	ふろしき展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー		2011.05.26 ～ 2011.06.28	JF（国際交流基金）オリジナル風呂敷の新作（「第2回学生のための風呂敷デザインコンテスト」2010年入賞作品4点）を含む計9点を展示し、JFオリジナル風呂敷を紹介すると同時に、風呂敷ワークショップを開催し、エコプロダクツでもある風呂敷の簡単な活用方法も紹介

海外拠点

10	第8回インドネシア・フレンドシップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.06.26	ジャカルタ囲碁クラブと共催で、フレンドシップ囲碁大会を開催。フレンドシップ囲碁大会は、囲碁を通じて日本とインドネシアの友好親善を図る目的で2004年から始まり、今年で8回目。インドネシア人・韓国人・中国人・日本人囲碁愛好家による個人トーナメントを3つのクラスに分けて開催するほか、自由対局も開設
11	囲碁教室（第2四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室		2011.07.01 ~ 2011.09.30	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
12	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第3四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.10.01 ~ 2011.12.31	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『のんちゃんのみ』『典子は、今』『シコふんじやった。』等を上映
13	ごみの音（ごみリサイクル楽器演奏会、ワークショップ、展覧会）	ジャカルタ バンドン	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー スラサール・スナルヨ・アート・スペース	スラサール・スナルヨ・アート・スペース	2011.07.08 ~ 2011.08.05	バンドンのスラサール・スナルヨ・アート・スペースと共催で、ドドン・コディル（Dodong Kodir）による、環境問題を意識した、ごみを利用して作る楽器ワークショップを開催。また、ごみから作成した楽器の展示と、楽器を用いた演奏会も開催。演奏会にはドドン・コディル（Dodong Kodir）や、作曲家／演奏家の野村誠等が参加
14	てまり展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	インドネシアてまり協会	2011.07.21 ~ 2011.08.04	インドネシアてまり協会と共催でてまり展を開催し、ジャカルタ在住のてまり愛好家による作品を展示。併せて、てまり作成のワークショップを開催し、インドネシアの人々に、より身近に日本の伝統文化に触れる機会を提供
15	インドネシア人による俳句作品集出版記念会及び展示	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール・ミニギャラリー	Danau Angsa(白鳥の湖) 俳句会	2011.08.10 ~ 2011.09.09	インドネシア人による俳句作品集出版記念会を開催し、作品を展示。多くの人々がインドネシア人による俳句に触れ、日本の俳句とはひと味違う作品を味わう機会を提供
16	茶道修了生による月例稽古会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	裏千家淡交会ジャカルタ支部	2011.09.01 ~ 2012.03.31	既存の茶道教室の修了生を対象に、受講内容維持のための月1回の定例稽古会を実施
17	クローラ財団からの研修生受入及び成果発表事業	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	クローラ財団	2011.09.12 ~ 2011.12.12	クローラ財団（ジャカルタの主要文化財団）との共同事業「Magang Nusantara」（文化芸術に関心のある若手を「研修生」として関連団体が受け入れる事業）の2011年研修生に、国際交流基金事務所で2カ月程度インターンとして職務経験を積ませ、研修の成果として、同研修生が企画する文化事業を実施
18	押し花展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー	押し花愛好団体	2011.09.13 ~ 2011.09.27	日本の生活文化の一つである押し花を紹介する展覧会を開催。会期中に日本で押し花作りを学んだ講師を招き、押し花ワークショップを開催、実際に押し花作りをインドネシア人が体験できる機会を提供

海外拠点

19	林英一 出版記念講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.14	インドネシア残留元日本兵のライフ・ヒストリーのインドネシア語書籍の出版を記念して、著者の林英一による出版記念講演会を開催。インドネシア人のディスカッサントも招へいし、ある残留日本兵のライフ・ヒストリーを通して、その存在を日本とインドネシアの関係や歴史といった観点から見つめる
20	目黒雅堂門下生書道展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.21 ~ 2011.09.28	ジャカルタ日本祭りの事業の一環として、ジャカルタで11年来書道教室を開いている目黒雅堂の門下生（インドネシア人・日本人）による書道展を開催
21	劇画についてのディスカッション 一辰巳ヨシヒロ『劇画漂流』より	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2011.09.22	平成22年度の出版・翻訳助成プログラムによりインドネシア語に翻訳された辰巳ヨシヒロ作の『劇画漂流』を取り上げ、劇画の紹介と劇画についてのディスカッションを行う。スピーカーには日本のマンガやアニメに造形の深いジャーナリストのヒクマツト・ダルマワンを迎える
22	日本料理ワークショップ『日本とインドネシアの食文化交流』	ジャカルタ	日本料理レストランbasara	NPO日本料理文化交流協会 レストランbasara	2011.09.24	「ジャカルタ日本祭り2011」イベントの一環として、NPO法人日本料理文化交流協会及びレストランbasara（バサラ）と共催で、高井大樹（バサラ シェフ）による日本料理セミナーを開催
23	「池坊」華道教室修了展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	池坊インドネシア支部	2011.09.29 ~ 2011.10.01	5月～9月まで、ジャカルタ日本文化センターで実施する華道教室の受講生と教授によるいけばな展
24	囲碁教室（第3四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・多目的室	ジャカルタ囲碁クラブ	2011.10.01 ~ 2011.12.31	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
25	日本映画上映 ジャカルタ日本文化センター定期上映会（第4四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012.01.01 ~ 2012.03.31	ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用し、日本映画上映会を実施。『千利休 本覺坊遺文』『リンダ リンダ リンダ』『魂萌え！』等を上映
26	NEOPion事業 Cosplay The Series展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール	Q-Cosushinkai Project	2011.10.04 ~ 2011.10.21	バンドンとマランのコスプレ・グループQ-Cosushinkai Projectが作成したコスチュームやコスプレのショートフィルム、コスプレヤーの写真を展示する、Cosplay The Seriesを開催。インドネシアの若手芸術家支援を目的としたNEOPion事業の一環として実施
27	OK Video Flesh ー 第5回ジャカルタ国際ビデオフェスティバル	ジャカルタ	ギャラリー・ナショナル・インドネシア	ruapngrupa	2011.10.06 ~ 2011.10.24	国内外の新進気鋭のアーティストのビデオ作品を紹介する第5回ジャカルタ国際ビデオフェスティバルをインドネシアの現代美術を扱う団体ruapngrupaと共催で開催。インドネシアのアーティストのほか、日本人アーティスト小泉明朗（こいずみめいろう）の作品等を、ギャラリー・ナショナル・インドネシアにて上映
28	NEOPion事業 Wayang Beber展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニギャラリー		2011.10.11 ~ 2011.10.28	インドネシアの若手画家Wisnu IsmoyoによるWayang Beber（ワヤン・ベベル/インドネシアの伝統芸能・芸術）作品展覧会を開催。インドネシアの若手芸術家支援を目的としたNEOPion事業の一環として実施

海外拠点

29	日本映画上映 地方での映画上映 会	ブルウォクト	ジェンデラル・ス ディルマン大学	ジェンデラル・ス ディルマン大学	2011. 10. 17	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
30	日本映画上映 地方での映画上映 会	ジャカルタ	ナショナル大学	ナショナル大学	2011. 11. 01	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内、インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
31	『ボランティアが とらえた東日本大 震災』写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ミニ ギャラリー		2011. 11. 07 ~ 2011. 11. 18	東日本大震災で被災した東北にボランティアとして参加したKen Istiによる活動記録写真展を開催
32	第9回国際親善囲碁 大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル	インドネシア囲碁 協会 ジャカルタ囲碁将 棋クラブ 韓国囲碁協会	2011. 11. 13	インドネシア人・在留の邦人・韓国人・中国人の囲碁愛好家一堂に集まり、囲碁の国別対抗団体戦、個人トーナメント戦を実施
33	日本映画上映 地方での映画上映 会	東カリマンタン州 サマリダ	SMP Vidatra(中学 校) ムラワルマン大学	SMP Vidatra ムラワルマン大学	2011. 11. 25 ~ 2011. 11. 26	「シネマ・キャラバン」の事業名称にて、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム及びDVD）を利用して、ジャカルタ首都圏内、インドネシア各地で、日本映画上映会を実施
34	第16回日本インド ネシア児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル	ジャカルタ・ジャ パン・クラブ ジャカルタ日本人 学校	2011. 12. 01	「楽しかった思い出」というテーマで、インドネシア人とジャカルタ在住日本人児童の絵画展を開催。ジャカルタ近郊の幼稚園、小中学校から推薦された346作品を審査し、うち220点を展示。開会式では、審査の結果選出された1位～3位、佳作受賞者に対する表彰式を実施
35	囲碁教室（第4四半 期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター	インドネシア囲碁 協会	2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。ジャカルタ囲碁クラブのメンバーが、インドネシア人参加者と自由対局を行い技能向上を図る
36	KARA OK COMPE	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル		2012. 01. 15 ~ 2012. 03. 16	若い世代のインドネシア人・日本人を対象に、ジャカルタ日本文化センターのFacebookを利用した、日本語歌謡曲のカラオケ・コンペティションを開催
37	山形国際ドキュメン タリー映画祭受賞 作品『監獄と楽園』 上映会及び アーティスト・ トーク	ジャカルタ	ジャカルタ日本文 化センター・ホー ル		2012. 01. 20	山形国際ドキュメンタリー映画祭2011にて日本映画監督協会賞を受賞したダニエル・ルディ・ハリヤントの監督作品『監獄と楽園』を上映。来日経験や山形国際ドキュメンタリー映画祭における反響や評価をふまえたアーティスト・トークを同時開催

海外拠点

38	アジア次世代キュレーター会議 フォローアップ事業 (Aminuddin Siregar)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012. 01. 27	第7回アジア・次世代キュレーター会議に参加したAminuddin Siregarを招へいし、日本で得た知見をインドネシア社会に還元するディスカッションを開催
39	HelloFest8 ANIMA EXPO	ジャカルタ	バライカルティニン・アカデミー	ハローモーショ ン・アカデミー	2012. 02. 04	ハローモーション・アカデミーと共催でインドネシア最大級のポップカルチャーイベントHELLOFEST8 ANIMA EXPOを開催
40	JENESYSクリエイター招へいプログラム フォローアップ事業 (Endang Lestari)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール		2012. 02. 14 ~ 2012. 03. 16	JENESYSクリエイター招へいプログラムにて来日した陶芸家 Endang Lestariのフォローアップ事業として、陶芸作品の展覧会を開催
41	震災復興関連映画上映会	デポック	P4TK (EPA研修所)		2012. 03. 17	震災復興関連映画上映会の一環として、EPA予備教育事業で日本語を学習しているインドネシア人介護士・看護師研修生を対象に、震災復興関連映画上映会を開催 【東日本大震災復興支援事業】
42	Hara-Shibu-Bara: Tokyo Street Fashion Paradise	ジャカルタ		Grasindo	2012. 03. 19	インドネシア人研究者ヘスティ・ヌルハヤティ著の東京・ストリート・ファッションに関する書籍出版を機に、日本のファッションやコスプレをインドネシアの若い世代に紹介
43	着物・浴衣1日体験教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2012. 03. 19	日本の伝統衣装である着物や浴衣の着付けを体験することで、より身近に日本の伝統文化に親しんでもらい、理解深化を図る
44	茶道1日体験教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	裏千家インドネシア淡交会	2012. 03. 20	茶道教室に通うほどではないが、気軽に茶道体験をしたい人を対象に、お点前の体験教室を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
45	日本元気プロジェクト東日本大震災鎮魂行事「天灯」	インドネシア日本友好協会	2011. 08. 20	2011年3月11日の東日本大震災の犠牲者の鎮魂、被災者の心の癒し、被災地への応援を目的に、熱気球の原理を利用した灯籠を天高く上げる行事。山本寛齋が企画し、インドネシア、ウクライナ、日本（相馬市）で8～9月にかけて実施。インドネシアでは、バリ州にてインドネシア日本友好協会を主催者として実施
46	写真展「素晴らしきインドネシア・日本」	じゃかるた新聞	2011. 09. 18 ~ 2011. 09. 25	インドネシアの風景・人物を撮影したインドネシア在留邦人の写真、日本の風景・人物を撮影したインドネシア人の写真などを展示する写真展。ジャカルタの邦字紙「じゃかるた新聞」が、第3回ジャカルタ日本祭り事業として主催する同事業に、備品貸与及び広報面で協力

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	国際シンポジウム 「震災と継続する 復興」	デポック	インドネシア大学	インドネシア大学	2012. 03. 28	世界と日本における防災への取り組み事例を踏まえて、より良い復興の在り方について専門的な討議を実施。会場外では災害復興のために活動するインドネシアのNGOが展示を行い、政策レベルでの議論に加えて、現場における市民による復興への取り組みも紹介
48	日本のポップカルチャーに関する ディスカッション・ セミナー	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2011. 10. 24	コスプレを中心に日本のポップカルチャーに関するディスカッションセミナーを実施
49	震災復興に関する ラウンドテーブル・ ディスカッション	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ルジャック都市研究センター	2012. 02. 12	アーキエイド（建築家による復興支援のネットワーク）の設立発起人の一人、小野田泰明（東北大教授）と、都市計画、コミュニティ・デザインを専門とし、災害復興に関与経験を持つインドネシアの行政官、研究者、NGO職員、建築家、ジャーナリストを招へい。日本とインドネシアの知見・経験を共有し、災害復興期の都市計画とコミュニティ・デザインについて議論

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
50	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ人々に対して、日本語教育・日本研究関連の図書・資料を中心に提供する専門図書館を運営。また、ジャカルタ日本文化センターの事業広報のためウェブサイトとメールマガジンを運営。併せて、日本語教育関係者向けに、日本語教育関連催事の広報及び教材情報等を掲載したニューズレターを発行 1. 図書館利用実績 (1) 延べ来館者数 12,5491名 (2) レファレンス数 94件 (3) 貸出点数 10,185点 2. 情報発信への取組み (1) ニューズレター発行部数 39,600部 (インドネシア語) (2) メールマガジン配信数 449,856件 (3) ホームページアクセス件数 215,356件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
51	日本ポップカルチャーフェスティバル	日本ポップカルチャーフェスティバル実行委員会	2012. 02. 25 ~ 2012. 02. 26	ポップカルチャーを通じた日伊交流を促進する目的で開催される日本ポップカルチャーフェスティバルの実行委員として、広報協力や情報提供を積極的に実施

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
52	文化備品貸出 (第1四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
53	文化備品貸出 (第2四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 07. 01 ~ 2011. 09. 30	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
54	文化備品貸出 (第3四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 31	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し
55	文化備品貸出 (第4四半期)	総領事館及び日本語教育機関等	2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	インドネシア国内の総領事館及び日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ日本文化センターフィルムライブラリーの映画、写真パネル等を貸出し

バンコク日本文化センター

合計額 71,608,917 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	AUN和太鼓・三味線公演	バンコク	日本大使公邸 ルンピニー公園 Vic Hua Hin マヒドン大学等		2011.01.21 ~ 2012.02.27	日本文化庁が指名する平成23年度文化交流使として来泰する邦楽ユニットAUNによるバンコク公演。タイ国王陛下84歳の祝賀記念、及び、ともに大災害を受けた日タイの復興と絆をアピールするための公演を行うと共に、教育機関での学生向けワークショップも実施
2	JF（国際交流基金）シアター	バンコク	バンコク日本文化センター	J-bics Entertainment	2011.04.01 ~ 2012.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3土曜日の18:30から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
3	「現代日本文化発信スペース」展示事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成21年度のオフィスの改装に際し設置された「現代日本文化発信スペース」において、効果的に日本文化を発信していくことを目的とした展示を年に4回程度実施。若手アーティストやアートを学ぶ学生、日本語学習者などに作品発表の場を提供
4	チェンマイ生け花紹介（日本文化紹介キャラバン）	チェンマイ	セントラル・エア ポートプラザ・ チェンマイ		2011.05.19 ~ 2011.05.20	いけばな池坊550周年を記念して来泰した、佐々木康人（華道家元池坊特派講師／平成22年度文化庁文化交流使）による生け花レクチャー・デモンストレーション及び体験事業を、タイ北部チェンマイにて実施。デモンストレーションでは、東日本大震災の被災者に対する「鎮魂」「応援」、更に、タイの支援に対する「感謝」をテーマとした生け花を実演。体験コーナーでは、レクチャー・デモンストレーション参加者の中から各回15名程度を対象に、紙コップを使った生け花を紹介
5	「地震ITSUMO展 in バンコク」事前調査	バンコク	バンコク日本文化センター タイ政府防災省 TCDCチュラロンコン大学等		2011.07.12 ~ 2011.07.16	東日本大震災関連事業として2012年に実施する「地震ITSUMO展 in バンコク」のための、専門家による事前調査
6	日本留学フェア・折り紙文化紹介（日本文化紹介キャラバン）	チェンマイ バンコク	インペリアル・メ ピン・ホテル(チェ ンマイ) アジアホテル(バ ンコク)		2011.09.02 ~ 2011.09.04	日本留学希望者（高校生、大学生等）、現地教育機関の国際交流担当者等を対象に日本学生支援機構（JASSO）が主催する留学説明会において、「折り紙」の文化紹介を実施

海外拠点

7	空手専門家ミャンマー派遣	ヤンゴン	ミャンマー国立競技場	ミャンマー空手道連盟 在ミャンマー大使館	2012.01.18 ~ 2012.01.22	バンコク在住の空手家・大村藤清他1名を、ミャンマーの首都ヤンゴンに派遣。2012年1月19・20日にミャンマー空手道連盟と在ミャンマー大使館共催で開かれる「空手道ジャパンカップ」においてデモンストレーションを実施し、21日にはミャンマー空手道連盟にて選手に対する実技指導を実施
8	空手専門家カンボジア派遣	プノンペン	カンボジア日本人材開発センター (CJCC)	カンボジア空手道連盟 カンボジア日本人材開発センター 在カンボジア大使館	2012.02.17 ~ 2012.02.19	バンコク在住の空手家・大村藤清他1名をプノンペンに派遣し。在カンボジア大使館等が主催する「Japan Cambodia KIZUNA Festival 2012」の関連事業として空手演武を実施するほか、カンボジア空手道連盟で実技を指導
9	ドキュメンタリー映画『めぐる』上映会及びレクチャー	バンコク	キングモンクット工科大学ラッカバン校講義室	キングモンクット工科大学ラッカバン校	2012.03.01	織物などの日本の伝統・現代工芸の美を伝えるドキュメンタリー映画『めぐる』の上映会、及び、監督の石井かおりとタイ人テキスタイルデザイナーによるレクチャー
10	バンコク・デザイン・フェスティバル 建築デザインセミナー <i>Designer's Saturday</i>	バンコク	Bangkok Art and Culture Center	art4d	2012.03.01 ~ 2012.03.04	バンコクのデザイン雑誌『art4d』との共催により、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞受賞の建築家 石上純也を招へいし、「バンコク・デザイン・フェスティバル」の一環として、タイの若手クリエイター向けにセミナーを実施
11	タイ小学校向け「夢の教室」	バンコク	キング・モンクット工科大学ラッカバン校講義室	Zenritsu Inter Co., Ltd. 株式会社トヨタモーター・タイランド 日本サッカー協会	2012.02.09	日本サッカー協会 (JFA) 主催「JFAこころのプロジェクト」を2月9日、タイの東北地方プラム県の小学校で実施。Jリーグの現役選手やOB等のサッカー関係者を夢先生として小学校に派遣し、夢を持つ大切さを伝える
12	日タイ合同アンドロイド演劇『さようなら』公演	バンコク	チュラロンコン大学文学部演劇学科ホール	チュラロンコン大学 劇団「青年団」 大阪大学	2012.03.11 ~ 2012.03.18	チュラロンコン大学、大阪大学、劇団「青年団」の協力により、平田オリザの最新のアンドロイド (ロボット) 演劇『さようなら』をタイで共同制作。俳優をオーディションで選出し、タイ語 (ダブルキャスト) ・日本語で上演。3月11日から合同稽古を行い、本公演は3月15日から18日にかけて、チュラロンコン大学文学部演劇学科ホールにて上演。併せて、平田オリザ、及びロボットを開発した石黒浩による講演会を実施

海外拠点

13	「11.3.11絆」 東日本大震災一周年復興映画上映会	バンコク	パラゴン・メジャー・シネプレックス	ワールド・フィルム・フェスティバル・オブ・バンコク パラゴン・メジャー・シネプレックス	2012.03.11	東日本大震災から1年、タイの洪水発生から約半年にあたる2012年3月11日に、両国の被災者の追悼及び被災地応援、災害に立ち向かい復興する日本のイメージ発信を目的として、映画上映及び追悼会を実施。協力は、在タイ大使館。『がんばっぺフラガール』『ロック〜わんこの島』『Light up Nippon』の3点を上映 【東日本大震災復興支援事業】
----	-----------------------------	------	-------------------	--	------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	Creativity of Ceramics	タイ芸術局伝統技術部	2011.05.01 ～ 2011.06.12	伝統文化としての陶芸に関する日タイ交流を促進することと、人材育成を目的として、タイ芸術局伝統技術部が陶芸家の鯉江良二を招へいし、1か月間のレジデンスと技術指導、意見交換を実施。伝統的に陶芸が盛んな地方都市の陶芸家を中心に約40名が参加。6月に成果作品の展示を実施。渡航費及び会場施工費を助成
15	Dream, Dreaming us	100トンソン・ギャラリー	2011.07.14 ～ 2011.08.21	タイと日本を往復しながら活躍する日本人現代アーティスト、小林孝宣の個展。バンコクでの展覧会は10年振り、3回目。同氏がこの10年に、日本とタイを行き来するうちに感じた目に見えない感覚を、独特の繊細な色使いと光の作用の絶妙な表現を用いて描き出した作品を展示。渡航費、通訳費、作品輸送費の一部を助成
16	Degicon6 デジタルクリエイターズセミナー	コンピューター・グラフィック・プラス	2011.08.02	ガンダムなどのCGを手がける宮原洋平によるセミナー。アニメーションの技法やCGの作り方について、アニメーションを学ぶタイの学生等を対象にレクチャーを実施。渡航費、宿泊費、謝金、通訳費を助成
17	Crossing Cultures, Creating Change — The Reunion Exchange and People's Theatre Forum	マカンボン財団	2011.09.28 ～ 2011.10.10	野田秀樹（演出家）をはじめ国際的なアーティストとともに、タイの地方都市を中心に現代演劇のワークショップを積極的に推進してきたマカンボン財団の設立30年を記念して、10日間のレジデンス型演劇交流プログラム及び3日間の国際フォーラムを、タイ北部チェンダオ地区のマカンボン・リビング・シアターにて開催。タイ、日本、オーストラリア、シンガポール等25カ国からアーティストが参加し、チェンダオのコミュニティの子供たち200名強を巻き込んでパフォーマンス及びワークショップ、フォーラムを実施。バンコク日本文化センターは国際フォーラム及びワークショップ実施にかかる経費の一部を助成
18	パパ・タラフマラ チェンマイ公演	チェンマイ・アート・コネックス	2011.11.03 ～ 2011.11.13	日本の舞台芸術公演が実施される機会が限られるタイの地方都市において、作品の上演とワークショップを実施。世界的な評価を得ている劇団パパ・タラフマラを招へい。渡航費、広報費、会場借料、通訳費を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	「フェローセミナー2011—日本文学」	チェンマイ	チェンマイ大学	チェンマイ大学	2011.07.14 ～ 2011.08.19	元国際交流基金日本研究フェローによる2回シリーズのセミナー。第1回は「日本文学の歴史」で、奈良時代から江戸時代までを概観。第2回は「日本文学のなかのタイ」で、日本文学に表れるタイのイメージや面影などを探る
20	JENESYSフォローアップ事業	ウボンラーチャターニー バンコク	ウボンラーチャターニー大学 チュラロンコン大学	ウボンラーチャターニー大学 チュラロンコン大学	2011.10.21 ～ 2011.10.25	JENESYS（21世紀東アジア青少年大交流企画）事業のフェローや日本研究者等を対象にした講演会。東日本大震災後の日本の在り方や行く末をテーマに、小熊英二（慶應義塾大学教授）が東北地方ウボンラーチャターニー及びバンコクで講演

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
21	ブラパー大学東アジア国際会議	ブラパー大学人文社会科学部	2011.08.18	タイ東部地域の拠点ブラパー大学が日中韓から専門家を招へいし、「第1回東アジア異文化間研究・マネジメント国際会議」を開催。日本から招へいされた北原淳（龍谷大学教授）の渡航費（航空賃、滞在費）を助成
22	タマサート大学政治学部国際セミナー	タマサート大学政治学部	2012.01.28 ～ 2012.01.29	日本から専門家を2名招へいし、タイのさまざまな分野の専門家と情報交換や討議を行う国際セミナー「日タイ間で自然災害の経験を共有する」を実施。講師渡航費、謝金、日当を助成
23	日本漢文学入門書『Kanbun: Chinese Styled Japanese Japanese Styled Chinese』の出版	チュラロンコン大学文学部	2012.03.25 ～ 2012.05.25	タイで初の日本の漢文学への入門書となる『Kanbun: Chinese Styled Japanese Japanese Styled Chinese』の出版に対し、その印刷費の一部等を助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
24	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ人々に対して、日本語教育・日本研究関連の図書・資料を中心に提供する専門図書館を運営 (1) 延べ来館者数 71,938名 (2) レファレンス数 77件 (3) 貸出点数 14,212点</p> <p>2. 情報発信への取組み バンコク日本文化センターの事業広報のためウェブサイトの運営とニュースレターの発行を実施 (1) ニュースレター発行部数 6,500部 (英語・タイ語) (2) ホームページアクセス件数 38,886件</p>

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	期間	事業内容
25	文化備品貸出	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本文化紹介や日タイ交流促進を目的とした、非営利の事業に対し、事業主催者からの要望に基づきバンコク日本文化センター所蔵の文化備品 (浴衣など) を貸出し

海外拠点

マニラ日本文化センター

合計額 50,341,904 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Rap in Tondo 2	ダバオ マニラ	ミンダナオ国際大学 ムセオ・パンバタ (Museo Pambata) ビーサイド (B-side)	アリアンス・フランセーズ ゲーテ・インスティテュート 在フィリピン・フランス大使館	2011.05.15 ~ 2011.05.29	貧困や不公正によって社会的弱者の立場におかれている若者に対し、ヒップホップ音楽を通じて、夢や希望を表現し実現することの大切さを伝える事業。日、独、仏、比のヒップホップアーティストが、マニラ市内の貧困地区及びミンダナオ島の紛争地域等に暮らす若者を対象としたワークショップと公演を実施
2	折り紙飛行機ワークショップ	マニラ	アヤラ・トライアングル	アヤラ・ランド	2011.06.11	アヤラ・ランドが実施するフィリピン独立記念日の祝賀目的の文化事業 <i>Colors of Freedom</i> に際し、折り紙ヒコーキ協会の西原良典を招へいし、折り紙飛行機のワークショップと滞空時間・デザインを競うコンテストを実施
3	いいむろなおき・パントマイム公演	マニラ	カルロス・ロムロ劇場	フィリピン国家芸術委員会	2011.06.12 ~ 2011.06.16	パントマイム・アーティストのいいむろなおきを招へいし、マニラにおいて2回公演。及びダンスを専攻する学生等を対象にしたワークショップを1回開催
4	日本映画祭	セブ ダバオ マニラ	アヤラセンター・セブ ガイサノ・グランドシティモール シャングリラ・プラザモール フィリピン大学フィルムセンター	シャングリラ・プラザモール 在フィリピン大使館 セブ出張駐在官事務所 ダバオ出張駐在官事務所	2011.06.21 ~ 2011.08.20	日比友好の日（7月23日）を記念する日比友好月間関連事業のオープニング事業として、日本映画祭をマニラ、セブ、ダバオの3都市で実施し、日本映画を通じた日本理解の促進に努める。オープニングにて『おくりびと』を上映
5	日本映画キャラバン	バギオ	コールディエラ大学 セント・ルイス大学 バギオ市立博物館 バギオ大学 フィリピン大学バギオ校	コールディエラ大学 セント・ルイス大学 バギオ市立博物館 バギオ大学 フィリピン大学バギオ校	2011.06.27 ~ 2011.11.21	日比友好月間の一環として、日本文化紹介の機会の少ない北ルソンの中核都市であるバギオ市内及びトゥゲガラオ市において、日本映画の上映会を実施。『のんちゃんのみりや』等を上映

海外拠点

		トゥゲガラオ	ベンゲット州立大学 メディカル・カレッジ・オブ・ノーザン・フィリピン	ベンゲット州立大学 メディカル・カレッジ・オブ・ノーザン・フィリピン		
6	海外巡回展「キャラクター大国、ニッポン」	マニラ	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館 在フィリピン大使館	2011.07.07 ~ 2011.08.20	7月の日比友好月間の一環として、巡回展「キャラクター大国、ニッポン」をメトロポリタン美術館と共催で実施。「日本人とキャラクター」をテーマに、これまで日本社会でブームを引き起こした国民的キャラクターを画像やパネルで紹介し、そのキャラクターが日本社会に与えた影響を検証するとともに、その世界を幅広く紹介
7	日比交流写真展	バギオ	GECKO カフェ・アートギャラリー バギオ市立博物館	北ルソン日本人会	2011.07.08 ~ 2011.07.30	日比友好月間の一環として、バギオ市立博物館等において日比両国の写真家による作品展を実施
8	第7回シネマラヤ <i>Focus Asia</i>	マニラ	グリーンベルト3 フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	2011.07.17 ~ 2011.07.23	フィリピンにおけるデジタルシネマ最大の祭典、シネマラヤ内でアジア諸国のインディペンデント映画を特集する <i>Focus Asia</i> において、『ジャーマン+雨』を上映。フィリピン国内の映画関係者を中心に、日本のインディペンデント映画に対する理解をより深めてもらうことを目指す
9	AKI&KUNIKO公演	マニラ	カルロス・P・ロムロ劇場 Conspiracy Garden Cafe フィリピン大学音楽学部	フィリピン大学音楽学部 在フィリピン大使館	2011.07.18 ~ 2011.07.22	日比友好月間の目玉事業として、ギターと琴のユニット・AKI&KUNIKOを招へいし、公演とワークショップを実施
10	Jポップ・アニメ歌唱コンテスト	マニラ	SMメガモール	在フィリピン大使館	2011.07.23	日比友好の日（7月23日）を記念して、在フィリピン大使館と共催で日本のアニメソングやJポップ音楽の歌唱コンテストを実施。また、「日比友好」をテーマに、同コンテストのマスコットキャラクター「トララ」の登場するマンガ・コンテストも同時に実施し、優秀作品をイベント会場内に展示
11	「新次元：マンガ表現の現在」	マニラ	アヤラ美術館		2011.08.15 ~ 2011.10.02	国際交流基金本部が主催する「新次元：マンガ表現の現在」展に合わせて、京都精華大学ジャクリーヌ・ベルント教授によるレクチャーを実施し、当地における現代日本文化に対する理解を促進

海外拠点

12	第5回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	フィルム・デベロップメント・カウンシル・オブ・ザ・フィリピン インスティテュート・セルバンテス ゲーテ・インスティテュート シャングリラ・プラザモール 在フィリピン・イタリア大使館 在フィリピン・ギリシア大使館 在フィリピン・スペイン大使館	2011.08.26 ~ 2011.08.28	ドイツ、イタリア、ギリシア、スペイン、フィリピン、日本、計6カ国の文化交流機関等との共催による映画祭。フィリピンとギリシアは今回が初参加。各国のサイレント映画に、フィリピンのバンドによる生演奏をつけて上映。日本の上映作品は『明け行く空』（斎藤寅次郎監督）
13	移動マンガ図書館	マニラ	SMXコンベンションセンター	SMXコンベンションセンター	2011.09.17 ~ 2011.09.18	現地のアニメ、マンガ愛好団体などが主催するイベントに、図書館のマンガ、アニメ関連書籍及び什器を持ち込み、移動式のマンガ図書館を出展
14	Animehenasyon 2011	マニラ	イーストウッド・デ・ラ・サール大学	フィリピン・アニメーション協議会	2011.11.22 ~ 2011.11.25	日本からアニメーターの栗津順を招へいし、フィリピン・アニメーション・カウンシル主催のアニメ・フェスティバル Animehenasyon2011 において講演やワークショップ、作品の上映会を実施
15	UNIT ASIAマニラ公演	マニラ	SMシティ・ノース・エドサ・スカイドーム	SMシティ・ノース・エドサ	2012.02.13	日本、タイ、マレーシア3カ国のミュージシャン5名で編成されるUNIT ASIAによる東南アジアツアーのマニラ公演。フィリピン国家芸術委員会が中心となって実施する2月の芸術月間及びフィリピン・ジャズソサイエティが主催するマニラ国際ジャズフェスティバルの一環として、更には2月末にマニラ日本文化センターが主催する日本語フィエスタのプレ・イベントとして実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	日比ダブル児童を対象とした演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN))	2011.03.26 ~ 2011.04.30	フィリピンで生活するジャパニーズ・フィリピン・チルドレン (JFC) の支援を行うDAWNが実施する、JFCを対象とした演劇ワークショップ。JFCの創造力・表現力の育成や問題・経験の共有だけではなく、JFCを取り巻く諸問題について広く一般の理解を促進することを目的に実施。ワークショップ実施経費の一部を助成

海外拠点

17	第1回アジア体重別極真空手道選手権	極真空手道フィリピン支部	2011.05.26	極真空手道フィリピン支部が主催する第1回アジア体重別極真空手道選手権で、フィリピン、シンガポール、インド、インドネシア、イランなどから約200名が参加。実施経費の一部を助成
18	TAMA2011：ニパフ・アジアツアー	Tupada Action and Media Art Inc	2011.11.03 ～ 2011.11.11	日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル(ニパフ)のアジアツアー。日本を含むフィリピン内外の、パフォーマンス・アートに関わるアーティストを招へいし、パフォーマンスや作品発表を実施。実施経費の一部を助成
19	手漉き和紙職人のアーティスト・イン・レジデンス	Our Lady of Lourdes College Foundation (OLLCF)	2011.11.14 ～ 2011.12.15	OLLCFが実施するアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに、ルソン島北部で活動中の手漉き和紙職人のシムラアサオを招へいし、滞在制作や学生を対象としたワークショップを実施。滞在費の一部を助成。
20	ハウス・オブ・コンフォート美術展及びワークショップ	ハウス・オブ・コンフォート	2011.11.16 ～ 2012.01.01	アルマ・キント(フィリピンのアーティスト)が主宰するハウス・オブ・コンフォートは、災害や虐待、紛争などで心に傷を負った女性や子ども達と共同制作を行うアートプロジェクト。今回は日比のアーティスト等が参加し、ジャパニーズ・フィリピン・チルドレンたちを対象にアートワークショップを実施し、児童たちの作品を展示。更に、アーティストによるトークセッションも開催。実施経費の一部を助成
21	日本の現代演劇講演会	タンハラン・アテネオ	2012.02.21 ～ 2012.02.25	アテネオ大学の劇団タンハラン・アテネオが、演出家/劇作家の鈴江俊郎作『髪をかきあげる』を公演するにあたり、同氏を招へいし、日本の現代演劇に関する講演会等を実施。実施経費の一部を助成
22	被災コミュニティの癒しと復興のためのクリエイティブ・ラーニング	ハウス・オブ・コンフォート	2012.03.16 ～ 2012.03.21	アルマ・キント(フィリピンのアーティスト)が主宰するハウス・オブ・コンフォートは、災害や虐待、紛争などで心に傷を負った女性や子ども達と共同制作を行うアートプロジェクト。今回は、前年12月に台風センドンで大きな被害を受けた、カガヤン・デ・オロ及びイリガンの居住者を対象に、トラウマと向き合い癒すためのアート・ワークショップを実施。実施経費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

日本研究・知的交流(助成)

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	UPアジア・センター国際会議：アジア地域の安全保障に関する国際会議	フィリピン大学アジア・センター	2011.08.13 ～ 2011.08.14	UP(フィリピン大学)アジア・センターで学ぶ大学院生グループの「バランガイ」が主催するアジアの安全保障(食料、防災、公害、気候変動、エネルギーなど多岐にわたる分野の安全保障)に関する国際会議。実施経費の一部を助成
24	東南アジア音楽国際会議「東南アジア諸国を形づくる音楽の影響について」	フィリピン大学音楽学部	2011.09.02 ～ 2012.03.01	UP(フィリピン大学)音楽学部が主催する東南アジア諸国の民族音楽に関する国際会議のうち、寺田吉孝(国立民俗学博物館教授)の招へい旅費を助成

海外拠点

25	緑化都市開発に関する国際会議	フィリピン環境計画学会	2011. 10. 18 ~ 2011. 10. 20	フィリピン大学が気候変動への対応策として主催する緑化都市開発に関する啓発と、それに携わる研究者や行政官、NGO等、多様なステークホルダーのネットワーク形成・強化を目的とした国際会議。日本人研究者2名の招へい旅費を助成
26	能を通して日本文化を伝える	フィリピン大学国際地域研究センター	2012. 01. 28 ~ 2012. 03. 06	フィリピン大学国際地域研究センターの学生が、梅若猶彦（静岡文化芸術大学教授）の協力を得て、高校生等を対象にした能に関する講演やワークショップを実施

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
27	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 日本語教材や、アニメ関連の雑誌・書籍や漫画といった日本の現代文化に関する蔵書を備えた図書館を運営。フィリピン最大の日本語教育及び日本文化に関するリソースセンターとしての役割を果たす (1)延べ来館者数 3,448名 (2)レファレンス数 3,093件 (3)貸出点数 543点</p> <p>2. 情報発信への取組み 広報活動として、マニラ日本文化センターのイベント、公募事業等を紹介するサイトと、文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレターを運営 (1)ニューズレター発行部数 14,000部（英語・日本語） (2)ホームページアクセス件数 37,018件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
28	Takbo Para Sa Japan	フィリピン大学国際研究センター	2011. 07. 23	東日本大震災の被災者支援を目的に、フィリピン大学国際研究センターや学生有志らが主催したチャリティ・マラソン大会。入賞者への賞品20個を提供
29	アジア太平洋大学東アジア映画祭	アジア太平洋大学	2012. 02. 26	アジア太平洋大学が主催する東アジア映画祭において、『ブランゼット』他日本のアニメ作品3作品を上映

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	定期日本映画上映会	クアラルンプール	FINAS (マレーシア映画振興公社)		2011.05.07 ~ 2012.01.07	クアラルンプール日本文化センターが永年定期的に行っている映画上映事業。本年度はFINASにて上映。5月7日『雲のむこう、約束の場所』、6月11日『百万円と苦虫女』、7月2日『ホテルハイビスカス』、9月10日『バッテリー』、10月1日『座頭市物語』、11月12日『魂萌え!』、12月7日『めがね』、1月7日『青い鳥』
2	文化体験ワークショップ	クアラルンプール	UTAR Solaris Dutamas		2011.04.01 ~ 2012.03.31	UTAR、Solaris Dutamasでイベント実施時に、折り紙や浴衣のワークショップを併せて開催。更に、文化備品の貸し出し、フィルムの貸し出し、日本語事業での協力、センターへの学生訪問等の機会にも併せて実施
3	「日本の世界遺産」展、「こけしの世界」展	プタリン・ジャヤ ペナン	Taylor's University Gallery ペナン州立博物館		2011.05.18 ~ 2012.07.31	5月18日~6月にかけて、Taylor's University Galleryで「こけしの世界」展を開催。伝統こけしを中心に木地玩具、創作こけし等を展示。更に7月1日~7月31日にかけて、ペナン州立博物館で「日本の世界遺産」展を実施。更に、写真家の三好和義が撮影した日本の世界遺産の写真パネルを展示
4	日本映画特集上映—KK国際映画祭	コタキナバル	Golden Screen Cinemas	コタキナバル国際映画祭	2011.06.04 ~ 2011.06.09	東マレーシアボルネオ島サバ州の州都コタキナバルで行われるKK International Film Festivalにて日本映画を上映。作品は、『秒速5センチメートル』『百万円と苦虫女』『おくりびと』
5	Shigeri Kitsu Tour	プタリンジャヤ クアラルンプール クチン	Dewan Sivik BMPJ Malaysia Tourism Centre (MaTiC) UNIMAS大学	Dewan Sivik BMPJ Malaysia Tourism Centre (MaTiC) UNIMAS大学	2011.07.09 ~ 2011.07.16	日本より木津茂理（民謡歌手／太鼓奏者）を招へいし、マレーシア3都市を巡回する邦楽公演を実施。クアラルンプールでは、マレーシア政府主催のKL Festivalの一環として実施
6	日本映画祭2011	クアラルンプール ペナン	Golden Screen Cinemas (GSC Mid Valley, GSC 1 Utama, GSC Pavilion KL) GSC Gurney Plaza	Golden Screen Cinemas 在マレーシア大使館 ペナン総領事館 松竹株式会社	2011.09.13 ~ 2011.09.25	平成23年度で8回目を迎える日本映画祭。9月13日の映画祭オープニングでは、マレーシアで撮影された『セカンドバージン』（当地でのタイトル『Second Chance』）が、松竹（株）との共催でワールドプレミアとして上映され、出演者及び監督がセレモニーに登場。映画祭期間中は『それでもボクはやってない』（2007）、『ハッピーフライト』（2008）、『不灯港』（2008）、『歓喜の歌』（2008）、『きみの友だち』（2008）、『川の底からこんにちは』（2009）、『マイマイ新子と千年の魔法』（2009）、『49歳で電車の運転士になった男の物語』（2010）、『おとうと』（2010）を上映

海外拠点

7	夢絃塾（三味線）ツアー	クアラトレンガヌ クアラランプール ペナン	マレーシア・トレンガヌ大学（UMT） マレーシア国立芸術文化遺産大学（ASWARA） マレーシア科学大学（USM）	ペナン総領事館 マレーシア・トレンガヌ大学（UMT） マレーシア国立芸術文化遺産大学（ASWARA） マレーシア科学大学（USM）	2011. 10. 30 ～ 2011. 11. 05	在ペナン総領事館企画案件。三味線を中心とした邦楽グループ、夢絃塾によるマレーシア国内ツアー。3都市を巡回
8	国際シンポジウム「新しい世界ネットワークの可能性」参加者報告会	クアラランプール	ファイブ・アーツ・センター	ファイブ・アーツ・センター	2011. 11. 08	アサヒ・アート・ネットワークとの共催で日本で開催された国際シンポジウム「新しい世界ネットワークの可能性」にマレーシアから参加したLew Pik-Svonn（フリーランス・アーティスト）による報告会。タイトルはREBUILDING COMMUNITIES THROUGH ART-An observation of post-earthquake community projects in Japanとし、東日本大震災の被災地で行われているコミュニティ・アート・プロジェクトへのスタディーツアーや他国からの参加者との意見交換によって得た具体例を報告。クアラランプールにおいてコミュニティ・プロジェクトを企画・運営している各団体や個人のほか、一般参加者も参加
9	Hanamas（和洋楽ユニット）ツアー	バンドルスリブガワン（ブルネイ） クアラランプール ペナン	Arts Centre Auditorium at Jerudong International School ペトロナスホール マレーシア科学大学（USM）	在ブルネイ大使館 ペナン総領事館 Jerudong International School ペトロナスホール マレーシア科学大学（USM）	2011. 12. 06 ～ 2011. 12. 16	和洋楽ユニットHanamasによるマレーシア・ブルネイツアー。クアラランプールでは、当地のシンボリック的存在でツインタワーに位置するDewan Filharmonik Petronasとの共催。コンサートの前にショッピングセンターにて、プロモーションイベントも2回実施。ペナン、ブルネイでは天皇誕生日レセプションにも登場
10	日馬コラボレーション『時の夢』公演	クアラランプール ペナン	クアラランプール・パフォーミング・アーツ・センター 国立テキスタイル博物館 ペナン・パフォーミング・アーツ・センター	クアラランプール・パフォーミング・アーツ・センター 国立テキスタイル博物館 ペナン・パフォーミング・アーツ・センター	2011. 12. 08 ～ 2011. 12. 20	2010年度に開催された舞台衣装展「時の夢」展オープニングセレモニーで実験的に行われたパフォーマンスを公演として再構成。「和」と「アジア」の美を追求しつつ、独特の世界を作り上げる衣装デザイナー時広真吾のコスチュームを身にまとい、役者、歌手、音楽家、ダンサーが四季を、衣装からインスピレーションを受けながら表現。演出は同氏と、共催者であるクアラランプール・パフォーミング・アーツ・センターのJoe Hasham、Faridah Merican。パフォーマーは全て当地で選出された、マレーシア人若手アーティスト達。併せて、国立テキスタイル博物館にて講演会も開催

海外拠点

11	曼陀羅りえ個展	クアラルンプール	12 Art Space	12 Art Space	2012.01.01 ~ 2012.02.01	紙や布を使ったコラージュ作品を制作しているバリ島在住日本人アーティスト、曼陀羅りえの個展。ペナンでのレジデンスに参加後、その期間中に制作した作品を発表。素材はマレーシアのものを使用。開催最終日に、中・高校生を対象としたワークショップを開催。30名の学生が参加
12	Unit Asiaライブ	クアラルンプール	KL Live Centre		2012.02.07 ~ 2012.02.10	2008年国際交流基金本部主催事業で誕生したジャズユニット、Unit Asia。同ユニットの誕生の地でもあり、再公演を期待する声も高いクアラルンプールにて公演を実施
13	日本文化紹介派遣「和菓子」	クアラルンプール	日本料理レストラン勘八 (Kampachi Restaurants at Pavilion)		2012.02.13 ~ 2012.02.16	日本から3名の和菓子職人を招へいし、レクチャー・デモンストレーションを2月14日、15日に実施。専門家は、明神宜之 (広島県呉市・蜜屋本舗)、吉橋慶祐 (石川県金沢市・吉はし菓子所)、小泉直哉 (栃木県足利市・香雲堂本店)
14	クラシックコメディ映画祭	クアラルンプール	FINAS(マレーシア映画振興公社)		2012.03.01 ~ 2012.03.15	1950~60年代に制作された日本のクラシックコメディ作品の特集上映
15	publikaスクリーニング	クアラルンプール	publika	publika 在マレーシア大使館	2012.03.01 ~ 2012.03.31	クアラルンプール日本文化センターが永年定期的に行っている映画上映事業。FINAS (マレーシア映画振興公社) にて実施してきたが、改装工事のため、2、3月実施が出来ないことに伴い、代替事業として3月の毎週火曜日夜にpublikaにて上映会を開催。上映作品は3月6日『ハッピーフライト』、13日『のんちゃんのり弁』、20日『雲のむこう、約束の場所』、27日『カルテット!』
16	震災復興ドキュメンタリー上映会	クアラルンプール	Black Box MAP, Solaris Dutamas		2012.03.05 ~ 2012.03.07	震災復興ドキュメンタリーDVDの特集上映会及びLIGHT UP NIPPON関連イベントの実施 【東日本大震災復興支援事業】
17	歌舞伎デモンストレーション&パフォーマンス	クアラルンプール	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2012.03.05 ~ 2012.03.08	日本伝統芸能振興会による公演。歌舞伎の化粧・着付け等のデモンストレーション、舞踊『助六』の披露に続き、歌舞伎舞台『あんまと泥棒』を披露
18	Dream of Time-Shingo Tokihiro Costume Exhibition	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre (KLPac)		2011.05.01 ~ 2011.05.31	平成22年度事業 (2月~3月実施) として、「和」の美しさを前面に打ち出した衣装を制作する衣装デザイナー時広真吾の衣装展覧会、ワークショップ、及びパフォーマンスを実施。展示終了 (3月13日) 直後は、日本への輸送事情に東日本大震災の影響が見られたため、日本への衣装返却は震災から時間を置いた今年度 (平成23年度) に実施。(日本への衣装返却にかかる輸送費を支出)

海外拠点

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
19	小規模助成プログラム(マレーシア)	MyDance Alliance Switch On Music	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	現地のイニシアチブによる文化芸術交流事業を積極的に支援。対象事業の要件は、日本（日本文化）に関する案件であること、申請者とのコスト・シェアリング事業であること、非営利事業であること。本年度は、MyDance Alliance主催「Contact Festival Kuala Lumpur」、Switch On Music主催「Kazuhisa Uchihashi Kuala Lumpur Meeting」へ、日本人アーティストの渡航費や滞在費などの助成を実施
20	小規模助成（シンガポール）	T. H. E. Dance Company	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	現地のイニシアチブによる文化芸術交流事業を積極的に支援。対象事業の要件は、日本（日本文化）に関する案件であること、申請者とのコスト・シェアリング事業であること、非営利事業であること。本年度は、T. H. E. Dance Company主催「Singapore Contact 2011-A Week of Dance」へ日本人アーティストの渡航費や滞在費などの助成を実施

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	場所名	期間	事業内容
21	日本研究講演会	クアラルンプール	マラヤ大学 マレーシア日本研究学会 (MAJAS)	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	日本研究講演会の実施。当国マレーシア人専門家による、英語もしくはマレーシア語による講演。対象者は日本研究者（学者）、学生を主対象とするが、講演内容に関心を寄せる一般参加者の参加も歓迎 第1回「An Aspect of Soft Power: Comparing the China and Japan Models for Malaysia」／講師：Lee Poh Ping（マレーシア日本研究学会会長）（2011. 09. 29） 第2回「Japan Studies in Malaysia」／講師：Md Nasrudin Md Akhir（マラヤ大学アジア欧州研究所長）（2012. 03. 27）

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	小規模助成	マレーシア・サラワク大学 (UNIMAS)	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	日本との知的交流事業を実施する上で経費的な支援を求める者に対し、事業内容の審査に基づき、小額助成を行う事業（社会科学、人文科学、文化の領域に限定）。本年度は、UNIMAS主催「Sustainable and Community-Based Tourism in Bario Malaysia and Yufuin, Japan」へ助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
23	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 7,232名 (2) 貸出点数 15,279点</p> <p>2. 情報発信への取組み クアラルンプール日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ニュースレター発行部数 12,500部 (英語) (2) メールマガジン配信数 138,736件 (3) ホームページアクセス件数 65,788件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
24	日仏馬Jazzワークショップ&コンサート	アリアンス・フランセーズ (AFKL) マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2011. 04. 01	クアラルンプール日本文化センターとアリアンス・フランセーズ (AFKL)、マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) の三者共催にて、Tae Nabatame (日本人ピアニスト) と Arnito (フランス人ギタリスト) をマレーシアに招へいし、ASWARA 音楽学科の学生を対象としたワークショップ、学生参加のコンサートを共同企画。東日本大震災により日本人アーティストの渡航が事業直前に中止となったことから、フランス人アーティストのみで実施。当センターは広報等を協力

ニューデリー日本文化センター

合計額 119,090,090 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	茶道レクチャー・デモンストレーション	ニューデリー	インド国際センター ニューデリー日本文化センター	インド国際センター	2011.04.01 ~ 2011.04.04	デンマーク出身京都在住の茶人宗園・スアーン・ビスゴー (Sren Michael Christian Bisgaard) による、英語での茶道のレクチャーデモンストレーションを実施。対象は、生け花や盆栽の協会メンバーから日本語学習を取り入れている中等教育機関まで幅広く設定し、関心の高い日本の茶道文化を紹介
2	定期映画上映会 (第1四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011.04.01 ~ 2011.06.30	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第1四半期は『Always 3丁目の夕日 1』『Always 3丁目の夕日 2』『シコふんじゃった』『どついたるねん』『ヒノキオ』『ロボコン』の6作品を上映
3	定期映画上映会 (第2四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011.07.01 ~ 2011.09.30	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第2四半期は『武蔵野鉄塔線』『みんなの家』『阿修羅のごとく』『微笑みを抱きしめて』『菊次郎の夏』『キッズ・リターン』の6作品を上映
4	『水の駅』演劇創作及びインド巡回公演	ベンガルール (バンガロール) ムンバイ デリー アムリトサル トリシュール コーシッコード (カーリーカト)	ランガ・シャンカル劇場 プリトウヴィー・シアター 第14回バーラト・ラング・マホートサヴ会場 第4回ケーララ国際演劇祭会場	シアター・ルーツ・アンド・ウィングス(Theatre Roots & Wings)	2011.08.01 ~ 2012.02.08	日本の演出家/劇作家である太田省吾の代表作、沈黙劇『水の駅』を、インドのシアター・ルーツ・アンド・ウィングスがプロデュースした日印共同制作。インドで注目されている若手演出家シャンカル・ヴェンカテシュワランが同作を演出し、インド各地のオーディションで選出した気鋭の俳優を起用。8月にデリー等でキャスティング・オーディションを行い、10月にトリシュールでリハーサルを実施。11月からベンガルール、ムンバイ等で公演
5	ANIME CONVENTION 2	ニューデリー	ノイダ・フィルムシティ内 マールワー・スタジオ	シネ・ダルバール 在インド大使館	2011.09.09 ~ 2011.09.11	昨年に引き続き、日本のマンガやアニメをテーマにした大規模な大会を開催。アニメーション映画上映、漫画、ゲームの3分野を柱に実施。日本食、コスプレ、漫画・アニメや日本食のワークショップやマスタークラスを通じて日本文化を紹介

海外拠点

6	紫音（和太鼓）公演	ベンガルール（バンガロール） ムンバイ（ボンベイ）	ドクター・エイチ・エヌ・カラークシェートラ（Dr. H. N. Kalakshetra） ラヴィンドラ・ナーティヤ・マンディル（Ravindra Natya Mandir）	ベンガルール国際芸術祭（Bengaluru International Arts Festival） 在ベンガルール出張駐在館事務所 在ムンバイ総領事館	2011.09.17 ～ 2011.09.23	女性和太鼓奏者グループ紫音によるインド巡回公演。ベンガルール公演は、ベンガルール国際芸術祭の招待枠での公演
7	スパイスアーサー702『新しひ紙芝居』公演	マサーリー デリー	ウッドストック・スクール（Woodstock School） インディア・ハビタット・センター（India Habitat Center）	スパイスアーサー702	2011.09.26 ～ 2011.09.30	日本独自の文化である「紙芝居」に音楽や漫画を取り入れて現代的なアレンジを加えた、スパイスアーサー702による『新しひ紙芝居』インド公演を共催。デリー（国際ストーリーテリング祭（International Storytellers Festival）からの招へい）及びウッタラカンド州の州都デーラドゥーン近郊のマサーリーで公演
8	書道ワークショップ及び映画上映会	デリー パロ（ブータン） ティンプー（ブータン）	アピージャイ・スクール（Apeejay School） デリー公立学校（アール・ケー・プラム DPS R. K. Puram） パロ教育大学（Paro College of Education） ブータン国立図書館（National Library of Bhutan） ユース・ディヴェロップメント・ファンド・ホール（Youth Development Fund Hall） 時計台広場	在インド大使館 JICAブータン事務所	2011.11.01 ～ 2011.11.10	日ブータン国交樹立25周年及びブータン国王の御成婚のタイミングに併せて、ブータンの首都ティンプー及びパロで書道家によるデモンストレーション、ワークショップ、日本映画上映会を開催。ブータンでの開催後、書道のワークショップを、デリー（インド）で実施 【日ブータン国交樹立25周年事業】

海外拠点

9	定期映画上映会 (第3四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本文化センターオーディトリウム	在インド大使館	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 31	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第3四半期は『転校生』『きらきらひかる』『砂の上のロビンソン』『ハッシュ』『東京タワー オカンとボクと、時々オトン』『橋のない川』の6作品を上映
10	桂歌蔵英語落語巡回公演	デリー	インド国際センター (India Habitat Centre)	在インド大使館	2011. 11. 01 ~ 2011. 11. 22	落語家の桂歌蔵による英語落語のインド・スリランカ巡回公演
		コルカタ	カラー・クンジ (Kala Kunj)	在コルカタ総領事館		
		ブバーネシュワル	ホテル・サンタナ (Hotel Santana)	在ムンバイ総領事館		
		ムンバイ	ソーマイヤー・経営研究所 (Somaiya Institute of Management Research Studies)	在ベンガルール出張駐在館事務所		
			ザ・ケー・アール・カーマー東洋研究所 (The K. R. Cama Oriental Institute)	在チェンナイ総領事館		
		カールヤーン	ビルラー・カレッジ (Birla College)			
		プネー	ティラク・スマーラク寺院 (Tilak Smark Mandir)			
			シンボシス研究所 (Symbiosis Institute)			
		ベンガルール	州立ヤワニカー・ユース・センター (Yavanika State Youth Centre)			
		チェンナイ	ナガアキ・ヤマモト・セミナーホール (Nagaaki Yamamoto-Seminar Hall)			

海外拠点

		コロンボ (スリランカ)	サバラガムワ大学 社会科学・言語学 部 (Faculty of Social Sciences & Languages Sabaragamuwa University of Sri Lanka)			
11	折り紙ワーク ショップ及び展覧 会「Oriental Exhibition 2011 Love and Peace」	デリー	ニューデリー日本 文化センター	オリガミ・オリタ イ・インディア (Origami Oritai, India)	2011. 11. 05 ~ 2011. 11. 12	ニューデリー日本文化センターを拠点に活動をしている折り紙サークルOrigami Oritaiが毎年秋に実施している作品発表会の機会に、日本より折り紙の専門家である川崎敏和を招へいし、ワークショップを開催。その成果発表の機会として作品発表会を実施
12	「8人の日本人ア ーティストー東洋の 交感」展	ニューデリー シャンティニケー タン	ニューデリー日本 文化センター SSUAD(シャンティ ニケートン視覚デ ザイン・文化研究 所)	東洋の交感実行委 員会 (岩田 草平、 小林 史子、 戸田 祥子)	2011. 10. 30 ~ 2011. 11. 27	文化庁プログラムにてシャンティニケートンに滞在し作品制作を行っているアーティストの岩田草平を中心とした、8名の若手日本人アーティスト等による現代美術展。10月30日～11月19日にかけてシャンティニケートンのSSVAD (シャンティニケートン視覚デザイン・文化研究所)での滞在制作と展示後、ニューデリー日本文化センターのギャラリースペースで展示とアーティストトーク等を実施
13	生け花デモンスト レーション・ワー クショップ	デリー	インド国際セン ター	デリー・生け花・ インターナシヨナ ル	2011. 11. 22	生け花インターナショナル・デリー支部設立45周年を記念し、シンガポールより生け花師範のクリストファー・リムを招へいし、デモンストレーション及びワークショップを実施
14	ガティ・ダンス・ フォーラム「イエ ロー・ライン・プ ロジェクト(Yellow Line Project)」	グルガオン デリー	デビ・アート・ ファウンデショ ン(Devi Art Foundation) ガティ・ダンス・ フォーラム(コー ジ)	ガティ・ダンス・ フォーラム	2011. 11. 28 ~ 2011. 12. 18	デリーの都市空間をテーマにメディアアートとコンテンポラリーダンスのコラボレーション作品を制作。6組の参加者のうち日本からはメディアアーティストの古舘健を招へい。インド人のダンサーとの3週間にわたるアーティストインレジデンスを通じて作品を制作し、デリー及びグルガオンで成果を発表
15	定期映画上映会 (第4四半期)	ニューデリー	ニューデリー日本 文化センター	在インド大使館	2012. 01. 01 ~ 2012. 03. 31	ニューデリー日本文化センターのオーディトリウムにおいて、同センター保有の16mm映写機を活用した定期映画上映会を実施。第4四半期は『虹をつかむ男』『蒲田行進曲』『翔んだカップル』『Wの悲劇』『夢千代日記』『序の舞』を上映

海外拠点

16	東北の凧揚げ専門家によるデモンストレーション及びワークショップ	アーメダバード コルカタ デリー	サーバルマ ティール・リヴァー フロント (Sabarmati River Front) イースタン・ゾー ナル・カルチャー ル・センター (Eastern Zonal Cultural Centre) ラームジャース・ スクール (アー ル・ケー・プラ ム) デリー公立学校 マールティール・ク ンジュ		2012.01.10 ~ 2012.01.18	東日本大震災復興支援事業として、東北の凧揚げ専門家「仙 台風の会」によるデモンストレーション及びワークショップ を開催。グジャラート州アーメダバードで開始される、イン ド国内唯一の国際凧揚げフェスティバルへ参加した後、デ リー及びコルカタでワークショップを実施 【東日本大震災復興支援事業】
17	オノ・ヨーコ パ ブリック・アー ト・プロジェクト	デリー	ニューデリー日本 文化センター バデラ・アート・ ギャラリー他市内 20カ所以上の公共 空間	バデラ・アート・ ギャラリー (Vadehra Art Gallery)	2012.01.13 ~ 2012.03.10	オノ・ヨーコがインドで初めて実施する個展「OUR BEAUTIFUL DAUGHTERS (私たちの美しい娘たち)」展、 「SEEDS」展 (バデラ・アート・ギャラリー主催) と併せ て、オノ・ヨーコ パブリック・アート・プロジェクトを開 催。プロジェクトの一つ「WISH TREES (木に願いを込め て)」は、観客参加型アートで、通り過ぎる人々が自由に短 冊に願いを込めて木に吊るす仕組み。開催期間中に、現地の クリエイターや教育者を交えてのワークショップも実施
18	Wall Art Festival 2012	デリー ブッダガヤー	ニューデリー日本 文化センター ブッダガヤー・ス ジャータ村	特定非営利活動法 人ウォールアート プロジェクト	2012.02.19 ~ 2012.03.04	ブッダガヤーの農村部で開催される日印美術作家による展覧 会Wall Art Festival 2012を共催。現代美術作家による、地 域開発的視点を取り入れたプロジェクト。ブッダガヤーでの 展示の後、ニューデリー日本文化センターでのアーティスト トーク及び記録展示を実施
19	アジア女性映画祭 での日本人監督祭 集上映	デリー	インド国際セン ター	国際女性ラジオ・ テレビ協会インド 支部 (International Association of Women in Radio and Television, India Chapter) サンガト (Sangat A South Asian Feminist Network)	2012.03.06 ~ 2012.03.08	国際女性ラジオ・テレビ協会インド支部が実施する女性映画 祭において、日本が特集国として取り上げられるのに際し、 女性監督作品を8作品上映。一部作品に関しては、監督によ る講演会を上映後に実施。上映された日本映画は、『不惑の アダージョ』(井上都紀)、『ミツバチの羽音と地球の回 転』(鎌仲ひとみ)、『玄牝』(河瀬直美)、『GAKI 琵琶 法師』(横須賀令子)、『SPONCHOI Pispochoi』(杉殿育 恵、西尾都)、『The Dream in the dream』(杉殿育恵)、 『Üks Üks』(米正万也)、『Vestige of Life』(佐竹真 紀)

海外拠点

				インド国際センター (India International Centre) アリアンス フランセーズ (Alliance Franeaise de Delhi)		
20	日印交流の歴史写真展及びパネル・ディスカッション	デリー	インド国際センター	財団法人日印協会	2012. 03. 13 ~ 2012. 03. 20	日印国交樹立60周年を記念し、日印交流にまつわる写真80点の展示及び日印両国の関係者を交えたパネルディスカッションを開催

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成対象者・機関	期間	事業内容
21	GATI Dance Forum (Summer Residence Program)	ガティ・ダンス・フォーラム (GATI Dance Forum)	2011. 04. 01 ~ 2011. 06. 30	デリーを拠点に活動する現代舞台芸術のネットワーク組織ガティ・ダンス・フォーラム (GATI Dance Forum) による、若手パフォーマー育成を目的としたレジデンスプログラム。公募で選ばれた6名の参加者のうち、オディッシー・ダンスとクラシックバレエの経歴を持つダンサー・上野まゆかが選出され、同氏の滞在制作にかかる経費の一部を助成。更にリハーサルスペースとしてニューデリー日本文化センターギャラリースペースの長期貸出を実施
22	Finding Mario	シュバンク・マウリア (Shubhank Mauria)	2011. 04. 01 ~ 2011. 08. 31	日本のゲーム文化のインドにおける受容と浸透の状況について、ムンバイ、デリー、ベンガルールなどの主要都市と、ダージリン、シリグリーなど北東州の数都市を含む、計9都市を回ってインタビューやビデオリサーチを行い、最終的な成果を雑誌やウェブで発表。その成果を発表する展示も実施。アーティストへの謝金、8都市間の交通費、研究材料費（文房具、写真・ビデオ機器のレンタル費）を助成
23	Cinephilia and Beyond	シネ・ダルバル・ウェルフェア・ソサエティ (Cine Darbaar Welfare Society)	2011. 07. 22 ~ 2011. 07. 24	映画批評及びキュレーションに関するレクチャー及びワークショップ。講師にはインドを代表する映画監督の一人であるブダデーブ・ダースグプター (Buddhadeb Dasgupta)、カメラマンのサニー・ジョセフ (Sunny Joseph)、その他映画祭関係者を招へい。ワークショップの題材として日本映画に焦点を当てる。同監督、カメラマンのデリー往復渡航費、滞在費、プリンティング費用を助成

海外拠点

24	<i>PIX: A Photography Quarterly</i>	ラーハブ・アッラーナー (Rahaab Allana, PIX: A Photography Quarterly)	2011.09.01 ~ 2012.03.31	写真専門の財団であるアルカジ芸術基金(Alkazi Foundation for the Arts)のキュレーターのラーハブ・アッラーナー (Rahaab Allana)が主宰する、南アジア初の非営利写真専門雑誌 <i>PIX</i> の発行及びその関連展覧会。芸術表現としての観点のみならず、社会批評的切り口や他ジャンル(詩、グラフィックアートなど)出身作家による実験的な作品発表の機会ともなっており、写真を通じたあらゆる表現のためのプラットフォーム作りをサポート。写真作品2点のプリンティングと、それに対する謝金を助成
25	<i>Punctum Magazine</i>	パンクタム・マガジン (Punctum Magazine)	2011.10.01 ~ 2012.03.31	アジアの現代写真表現に焦点を当てた雑誌 <i>Punctum Magazine</i> の第2号、第3号、及び10月にデリーで開催されるフォト・アートフェアの開催を支援。日本人作家を含む10名以上の写真家の作品と、各国のライターによるテキストからページが構成されており、アジア発写真表現のためのプラットフォーム作りをサポート
26	Celebrity Concert by the Bombay Chamber Orchestra Presenting a Japanese Conductor	ボンベイ室内楽団 (The Bombay Chamber Orchestra Society)	2011.11.27	ボンベイ室内楽団(The Bombay Chamber Orchestra)から招へいを受けた指揮者小林恵子の渡航費を助成
27	Indo-Japan Deaf Artists Art Exhibition	ムトゥクリシュナン・ラーマリンガン (Muthukrishnan Ramalingam)	2012.01.12 ~ 2012.01.22	日印の耳の不自由な芸術家による展覧会に、日本から八木道夫が招へいされて参加。同氏の渡航費、滞在費及び会場借料を助成
28	Tradition is creation- The Suiboku NOW	ユリコ・ローチャン (Yuriko Lochan)	2012.12.10 ~ 2012.02.29	水墨によるペインティング作品を制作するアーティスト、ローチャン由理子がチェンナイ、ベンガルールで展覧会及びワークショップを実施。同氏の渡航費及び滞在費を助成
29	長谷川祐子講演会 (India Art Fair)	インドニア・アートフェア (India Art Fair)	2012.01.29	India Art Fairでのスピーカーズ・フォーラムに招へいされた長谷川祐子(東京都現代美術館チーフキュレーター)の渡航費を助成
30	Japan Habba 2012 (ジャパン・ハッパ、ベンガルール日本フェスティバル)	ベンガルール日本語教師会 (Bengaluru Nihongo Kyoshi-kai)	2012.02.19	ベンガルールで開催される日本フェスティバル「ジャパン・ハッパ」の広報費、照明・バナーなどにかかる費用を助成
31	Harmony	イケバナ・インターナショナル・グルガオン・チャプター (Ikebana International Gurgaon Chapter)	2012.03.10 ~ 2012.03.11	生花インターナショナル(グルガオン支部)年次総会の会場借料及びテーブル・カバーにかかる費用を助成。草月流・小原流とそれぞれに展示し、東日本大震災の被災者への追悼を実施

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	日本研究者による講演会	バラナシ ベンガルール	バラナシ・ヒンドゥー大学 ベンガルール大学	バラナシ・ヒンドゥー大学 ベンガルール大学	2011.09.10 ～ 2011.09.17	小川直之(ネルー大学客員教授/国学院大学教授/民俗学者)による出張講演会「日本の聖水信仰」。バラナシ、ベンガルールの2都市で実施。同氏は、国際交流基金日本研究機関支援プログラムにて、ネルー大学で講義(8～9月)のため訪印
33	言葉の力：追悼と復興への祈り—東日本大震災六カ月記念 印日詩歌の会	デリー	インド国際センター	「あこがれ」の会(石川啄木学会インド支部)	2011.09.11	詩歌という言葉霊にのせて被災者と被災地を追悼する、日印詩の朗読会。日本側は東北在住の歌人や俳人計5名、インド側は20名の参加。インド側の参加者は、ウニタ・サチタナンド(デリー大学教授/詩人)、クンワル・ナーラーヤン(詩人)、マングレーシュ・ダブラール(詩人)、ブラヤーク・シュクラ(詩人)、スレーシュ・サリル(詩人)、ワルヤーム・シン(詩人)、ギリダル・ラーティヤー(詩人)、アンワル・パーシャール(詩人)、ダナンジェー・シン(詩人)、ランジート・サーハー(詩人)、ヴィノード・パールドワージ(詩人)、イッパール・ラッビー(詩人) ショエーブ・ラザー・ファートミー(詩人)、サンディーブ・クマール・バーンデーイ(詩人)、ウペーンドラ・クマール(ネルー大学研究者、ロシア学科)、クマール・スィーマー(ネルー大学研究者 ヒンディー語文学)、プラティークシャー・クマール(IP大学学部生)、スナイナー・B・パーンデー(フリーランス)、プリトヴィー・バリハール(記者)、ウツジャワル(ヒンディー語研究者) 【東日本大震災復興支援事業】

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成機関名称	期間	事業内容
34	第21回アジア太平洋ソーシャルワーク会議	デリー大学	2011.07.15 ～ 2011.07.18	ビシュヌ・モハン・ダス(デリー大学ソーシャルワーク学部助教授)が、第21回アジア太平洋ソーシャルワーク会議(於東京:早稲田大学)に、発表者として参加するにあたり、ニューデリー日本文化センターが渡航費の一部を助成
35	絆フェスティバル	ネルー大学	2012.03.17 ～ 2012.03.18	インドの日本研究機関であるネルー大学による日本の祭典。ネルー大学の学生だけでなく、デリー大学及び民間の日本語学校の学生も参加し、太鼓演奏や盆踊り、日本映画上映会、折り紙ワークショップ、活け花ワークショップなどを実施。併せて日本の専門家を招へいし、日本の震災をテーマとしたセミナーも開催

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
36	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 日本語学習者向けの教材や日本研究者向けの和英資料の充実を図りつつ、同時に現代日本を紹介するための関連資料(図書、参考書籍、視聴覚資料)を配架する専門図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 6,585名 (2) レファレンス数 801件 (3) 貸出点数 2,601点</p> <p>2. 情報発信への取組み ニューデリー日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 7,668件 (2) ホームページアクセス件数 23,076件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関・個人名称	期間	事業内容
37	折り紙サークルの定期活動(第1四半期)	origami oritai	2011.04.01 ~ 2011.06.30	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritai にて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力
38	生花サークルの定期活動(第1四半期)	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011.04.01 ~ 2011.06.30	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
39	「もう一度巣を作ろう」展—東日本大震災被災者追悼展覧会	Indo Japan Association for Literature and Culture(IJALC)	2011.06.13 ~ 2011.06.18	Indo Japan Association for Literature and Culture主催による、東日本大震災被災者追悼のための展覧会。被災地の写真とそれに合わせて作られた詩のフレーズをヒンディー語、英語、日本語で展示、その他にペインティング作品も10点前後展示。開催に当たり協力を実施
40	生花サークルの定期活動(第2四半期)	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011.07.01 ~ 2011.09.30	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
41	折り紙サークルの定期活動(第3四半期)	origami oritai	2011.10.01 ~ 2011.12.31	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritai にて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力

海外拠点

42	生花サークルの定期活動（第3四半期）	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2011. 10. 01 ～ 2011. 12. 31	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
43	留学生フェア	立命館インド・オフィス	2011. 10. 31 ～ 2011. 11. 01	立命館インド・オフィス主催の留学生フェアのために、ニューデリー日本文化センターのギャラリースペース及びオーディトリウムを貸出
44	日印こどもの絵を通じた国際交流『みんな友だち ぼくの絵わたしの絵』インド・ニューデリー展	日印こどもの絵展実行委員会（主管・NPO法人国際教育情報交流協会） 立命館インド・オフィス	2011. 12. 06 ～ 2011. 12. 12	名古屋市の中小学校、ニューデリー日本人学校及び、デリー近郊の8つの小学校の児童・生徒の絵画計321点を、ニューデリー日本文化センター事務所ホールで展示。更に鈴木弘之（NPO法人市民芸術活動推進委員会理事長）、辻政博（前東京都図画工作研究会会長）の指導による、「墨絵で挑戦する地球環境『ガンジス川』」と題したワークショップと、パネリストに鈴木洋一、辻政博、角田恵里、マドゥー・ジェイン、サスマタ・トリパティ、リトゥ・プラサードを迎えた国際フォーラム「環境教育と国際協力」を実施。約1,000名が来場
45	折り紙サークルの定期活動（第4四半期）	origami oritai	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	デリー在住のインド人や日本人等による折り紙サークル origami oritaiにて行われている毎週2回の定期活動に対し、会場を提供し協力
46	生花サークルの定期活動（第4四半期）	生け花インターナショナル 草月スクール 小原スクール	2012. 01. 01 ～ 2012. 03. 31	デリー在住のインド人や日本人等による生花サークルの定期活動に対し、会場を提供し協力
47	タゴールの故郷を訪ねて～生誕150周年祭のインドへ	Indo Japan Association for Literature and Culture(IJALC)	2012. 02. 03 ～ 2012. 02. 04	中村道夫（俳人）他34名がタゴールの足跡を辿りながら、タゴールとゆかりのある機関及び日印の文化関係機関との交流を通じて、今後の日印文化交流について考える事業。会場を提供し協力
48	日本研究セミナー（文学）	ネルー大学 国文学研究資料館	2012. 02. 19	日本研究セミナー（文学）の実施。東日本大震災で被災した日本文学に関する資料群の収集、復元に関する報告。更にインドにおける日本文学の活性化に関する意見交換（源氏物語の翻訳を中心に）も実施。会場を提供し協力
49	平岡達子展覧会	平岡達子	2012. 02. 20 ～ 2012. 02. 25	日本画家の平岡達子がバラナシを舞台に描いた絵画の展覧会をニューデリー日本文化センターギャラリーにて開催。会場を提供し協力
50	観光展・物産展における日本文化紹介デモンストレーション	在インド大使館	2012. 03. 10 ～ 2012. 03. 25	日本政府及び関係機関の実施する物産展、観光展の開催に際して企画された日本文化紹介プログラムに対する実施協力。具体的にはニューデリー日本文化センターで活動する origami oritai（折り紙サークル）の活動支援、同センターの活動紹介等

海外拠点

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
51	文化備品貸出	Jawaharlal Nehru University 等	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本文化紹介等の事業実施を行う団体に対し、法被や浴衣等の文化備品を貸出し

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	大洋州フィルムライブラリー	シドニー キャンベラ ウェリントン オークランド トンガ	シドニー日本文化センター オーストラリア国立大学 在ニュージーランド大使館 在オークランド総領事館 在トンガ大使館	在オーストラリア大使館 在ニュージーランド大使館 在オークランド総領事館 在トンガ大使館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	大洋州各地において、在外公館との共催により、大洋州フィルムライブラリー所蔵の作品を用いた日本映画上映会を開催。平成23年度は『Always三丁目の夕日』『ハウルの動く城』等を上映
2	日本伝統工芸講座（追加）	メルボルン	オーストラリア・アカデミー・オブ・デザイン	オーストラリア・アカデミー・オブ・デザイン	2011.04.16 ~ 2011.04.21	メルボルンのオーストラリア・アカデミー・オブ・デザインの学生を対象に日本の伝統工芸の技術・技法を継承する講座を開設。日本の伝統工芸の美意識を伝え、日豪間の新たな美術交流を促進する。現代感覚に共鳴する物創りを展開し、将来、伝統技術を踏まえて、豪州の新しいアート基盤を形成し得るアーティストを育成
3	日本の世界遺産写真展	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.06.16 ~ 2011.07.15	シドニー日本文化センター所蔵の展示品を活用し、日本の世界遺産（文化及び自然）を広く知らせ、一般層に日本の魅力をより広く深く伝える
4	川上典李子（21_21 DESIGN SIGHT）講演会	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.08.05	シドニー日本文化センター内で開催中の本部巡回展「現代日本デザイン展」に合わせて「What's Next? Japanese Design: The Shape of things to come」と題し、21_21 DESIGN SIGHTのアソシエイト・ディレクター川上典李子が日本のデザインの現状及びトレンドを紹介する講演会を開催
5	荒了寛 仏画展及び声明	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.09.26 ~ 2011.10.05	荒了寛（天台宗ハワイ開教総長）による仏画展。同氏は、文化教室での日本画、書道等の指導を通して、日本文化及び日本語を紹介、普及している。また、併せて天台宗の「声明」のデモンストレーションを実施
6	日本映画チラシデザイン展	シドニー	シドニー日本文化センター ギャラリー		2011.11.09 ~ 2011.12.09	シドニー日本文化センター主催「日本映画祭」15周年の事業一環として、世界ではあまり例をみない「映画チラシ」に焦点をあてたデザイン展を開催

海外拠点

7	第15回 日本映画祭	シドニー メルボルン	Event Cinema ACMI		2011.11.17 ~ 2011.12.06	第15回日本映画祭を開催し、新旧交えた日本映画109作品を49日間に渡り上映、約20,000名を動員。平成23年度は、同映画祭の15周年にあたり、シドニー及びメルボルンで関連イベントも開催。竹之内豊（俳優）、平山秀幸（映画監督）、松根広隆（撮影監督）、井上剛（映画監督）、京田光広（プロデューサー）の5名を日本から招へい
---	------------	---------------	----------------------	--	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
8	ローカルグラント 日豪交流コンサート「Concert for Japan」	Concert for Japan	2011.05.04	オーストラリア国内で開催される文化・芸術分野における日本関連事業・イベントに対して小規模の助成を実施。東日本大震災後の5月4日に、オーストラリアで活躍する和太鼓アンサンブルT a i k O z、尺八演奏家ライリー・リー、澤井琴アンサンブル及びオーストラリア室内オーケストラのメンバーにより、日豪交流コンサート「Concert for Japan」を開催。開催経費の一部を助成
9	ローカルグラント 招へい：大野 慶人	ニューサウスウェールズ州立美術館	2011.05.09 ~ 2011.05.14	オーストラリア国内で開催される文化・芸術分野における日本関連事業・イベントに対して小規模の助成を実施。NSW州立アートギャラリーで、5月12日から8月7日まで開催された「細江英公展Eiko Hosoe: Theatre of Memory」でのオープニング事業に大野慶人を招へい。同氏の渡航費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	レクチャーシリーズ：Exploring the Kingdom of Characters1 <i>Understanding Anime and Manga character design of the magic kingdom</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.04.13	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、マイケル・ヒルを招へいし、最新のアニメ映像等を用いたキャラクターデザインに関する講演を実施
11	第5回井上靖賞授賞式	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.04.15	オーストラリア及びニュージーランドで発表された日本文学に関する優れた研究を顕彰する「井上靖賞」の授賞式、関連イベントを開催

海外拠点

12	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters2 <i>From Empire of Signs to Kingdom of Characters: from kanji to kyara</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 04. 27	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、岡山恵美子を招へいし、マンガやアニメにおいて日本語のテキストと絵がいかに融合して効果を生み出すかについて講演
13	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters3 <i>Manga: Empathetic media expressing the pain of the individual</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 05. 13	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、ミオ・ブライスを招へいし、いじめや虐待等、社会問題を扱うメディアとしてのマンガの役割について講演
14	レクチャーシリーズ: Exploring the Kingdom of Characters4 <i>Cult media pilgrimages to Japan's kingdom of characters</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 05. 25	専門家を招へいし、日本のアニメやマンガ、キャラクターに関する講演会シリーズを一般を対象に開催。巡回展「キャラクター大国ニッポン」がシドニー日本文化センターで開催されるのに併せ、クレイグ・ノリスを招へいし、日本のアニメ、マンガに関わりの深いロケーションや同地を巡るツーリズムを取り上げ、ビデオ等も多数用いながら解説
15	レクチャーシリーズ: Living Histories 1 <i>Christina Wilcox and Peter Rushforth</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 08. 17	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。日本の陶芸技術を用いているオーストラリアの陶芸家Peter Rushforth及び、同氏に関するドキュメンタリー映画を制作したChristina Wilcoxを招へいし、映画上映を行った後、インタビューと質疑応答を実施
16	レクチャーシリーズ: Living Histories 2 <i>SAYUKI</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 08. 17	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。花柳界史上初の外国籍の芸者でオーストラリア出身のSAYUKIをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
17	レクチャーシリーズ: Living Histories 3 雁屋哲	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 08. 31	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。漫画『美味しんぼ』原作者でシドニー在住の雁屋哲をゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施

海外拠点

18	多和田葉子講演会	メルボルン	メルボルン大学 モナシュ大学		2011.09.01 ~ 2011.09.02	ドイツ在住の芥川賞作家、多和田葉子がメルボルン文学フェスティバルとブリスベン文学フェスティバルに招へいされ訪豪するに際し、メルボルン大学において一般聴衆を対象とした講演会(9月1日)を、モナシュ大学において日本学、ドイツ学、文学、翻訳の教師・学生を対象としたセミナー(9月2日)を開催
19	レクチャーシリーズ: Living Histories 4 <i>Dr Christine de Matos & Kathy Wray</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.07	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。占領期に日本に駐屯したオーストラリア兵士と日本人女性(いわゆる戦争花嫁)の恋愛をつづった書籍『Love Under Occupation』の共著者であるChristine de Matos(ウーロンゴン大学教授)及び、彼らの間に生まれたKathy Wrayをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
20	レクチャーシリーズ: Living Histories 5 <i>Walter Hamilton & Alan Stokes</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.14	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。ABCラジオ・テレビの東京特派員を務め、石油危機や阪神大震災、地下鉄サリン事件等の大事件をレポートしたWalter Hamilton, The Australian紙の東京特派員を務めたAlan Stokesをゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
21	レクチャーシリーズ: Living Histories 6 Paul Glynn神父	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.09.28	日豪交流の歴史を築いてきた人々を取り上げて解説する講演会シリーズを一般を対象に開催。平成22年度に実施して好評を博したシリーズの第2回として企画。日本に20年滞在したカトリック教マリスト会の司祭で、戦後の日豪の和解に尽くしたPaul Glynn神父をゲストに迎え、イアン・マッカーサーによるインタビューを実施
22	レクチャーシリーズ: Glimpses of Japan 1 『School Days』(1970's)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011.11.16	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代~70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。中学生の学校生活や家庭生活、価値観等をつづったドキュメンタリーフィルム『School Days』(1970's)を上映し、その後比較教育学の専門家である池田俊一(オーストラリア国立大学教授)によるレクチャーを実施

海外拠点

23	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 2 『Understanding the Japanese』 (1970's)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 11. 28	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。日本在住の外国人数名による、日本社会や文化等に関するパネルディスカッションを収録したフィルム『Understanding the Japanese』 (1970's) を上映し、その後Hugh Clarke (シドニー大学名誉教授) がレクチャーを実施
24	『New Voices』 第5号の刊行	シドニー			2011. 12. 01	2006年に創刊した若手日本研究者育成のための学術ジャーナル『New Voices』の第5号を刊行。オーストラリア及びニュージーランドの大学において、日本について書かれた優等学士 (Honours)、修士 (Master) の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行
25	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 3 『Women's Life』 (1975)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 12. 08	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。複数の女性の生活をつづったフィルム『Women's Life』 (1975) を上映し、その後、現代日本女性のライフスタイルを専門とするLaura Dales (西オーストラリア大学准教授) によるレクチャーを実施
26	レクチャーシリーズ：Glimpses of Japan 4 『Graying of Japan』 (1981)	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 12. 14	シドニー日本文化センターの所蔵する大洋州フィルムライブラリーの中から、1960年代～70年代頃に当時の日本の文化・社会を伝えるために製作されたドキュメンタリー・フィルムを選出し、上映。併せて、専門家が当時の文化社会情勢や、現在に至るまでの継続・変化につき解説を加える、映画上映とレクチャーのシリーズ。日本の高齢化社会及び高齢者の生活についてつづった『Graying of Japan』 (1981) を上映し、その後日本の高齢化社会やジェンダーを専門とするKatrina Moore (ニューサウスウェールズ大学教授) によるレクチャーを実施

【日本研究・知的交流 (助成)】

	事業名	助成機関名称	期間	事業内容
27	ローカルグラント「Enhancing cultural Understanding via International Study Tours: Learning from the Japanese Experience」	クイーンズランド工科大学	2011. 10. 13 ~ 2011. 12. 13	2011年7月に明治学院大学で行われた国際シンポジウム「Enhancing cultural Understanding via International Study Tours: Learning from the Japanese Experience」の成果をCDにまとめて豪・日・米の教育機関等に配布する事業に対し、CD制作費の一部を助成

海外拠点

28	ローカルグラント「Promotion in Europe of understanding of rakugo and the Australian-born storyteller」	シドニー大学	2011.10.24 ~ 2011.11.09	落語家「快樂亭ブラック」についての研究者、Ian McArthur (シドニー大学日本研究学科名誉研究員) によるフランス (パリ)、ドイツ (ハイデルベルグ、ベルリン)、英国 (シェフィールド) 巡回講演に対し、旅費及び滞在費の一部を助成
29	ローカルグラント「Interactive Strategies for Global Competitiveness: The Japanese Experience」	モナシュ大学メルボルン日本研究センター	2012.03.09	2012年3月9日にモナシュ大学で行われる、日本のグローバル人材育成について検証するセミナーに対し、日本から招へいする講師の国際航空賃及び謝金の一部を助成

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
30	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 17,070名 (2) レファレンス数 128件 (3) 貸出点数 10,590点</p> <p>2. 情報発信への取組み シドニー日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 89,900件 (2) ホームページアクセス件数 398,084件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
31	北川フラム講演会	在京オーストラリア大使館 ニューサウスウェールズ州立美術館	2011.05.27	越後妻有アート・トリエンナーレのディレクター北川フラムの講演会を在京オーストラリア大使館、NSW(ニューサウスウェールズ)州立美術館との協力により開催

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
32	ポップカルチャーイベントへの出展	シドニー	Convention Centre	SMASH Inc	2011.07.16	シドニーで開催される日本のポップカルチャーイベント「SMASH!」に参加し、特に若い世代を中心とした来場者に国際交流基金の事業を紹介

海外拠点

33	「アンナ・オネスティによるイタリア三色旗」展	メルボルン	メルボルンイタリア文化会館	メルボルンイタリア文化会館	2011.08.28 ～ 2011.09.30	イタリア統一150周年記念に、イタリア人作家が和紙を使った美術展を開催
34	Emergency Shelter Exhibition 展	シドニー	Customs House	Emergency Shelter Exhibition	2011.09.01 ～ 2011.09.25	シドニー在住の日本人建築家の働きかけにより、日本をはじめとした建築家の「仮設住宅」のアイデアを模型で表す展覧会の実施
35	ポップカルチャーイベントへの出展	シドニー	Convention Centre	Aurora Entertainment Pty Ltd	2011.09.17 ～ 2011.09.18	シドニーで開催される日本のポップカルチャーイベント「ANIMANIA」に参加し、特に若い世代を中心とした来場者に国際交流基金の事業を紹介

海外拠点

トロント日本文化センター

合計額 120,812,373 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関・個人	期間	事業内容
1	伊勢神宮写真展	トロント	トロント日本文化センター	中野 晴生	2011.03.09 ~ 2011.07.29	中野晴生（写真家）及び滋賀県立琵琶湖博物館より作品約50点の無償貸与を受け、写真展を開催。また日本政府観光局（JNTO）トロント事務所の協力により、三重県や日本への観光促進パンフレットを併せて来館者に配布。写真は伊勢和紙にプリントされ、神宮の宮城林の木材で作られた額で展示。写真作品を中心に、神宮司庁の協力によるDVDも常時上映して、伊勢神宮をめぐる自然や文化を総合的に紹介
2	トロント・コミック・アート・フェスティバル (TCAF) 作家トークと映画上映	トロント	トロント日本文化センター アンダー・グラウンド・シネマ	トロント・コミックアート・フェスティバル	2011.05.07 ~ 2011.05.09	トロント・コミック・アート・フェスティバル (TCAF) に参加した漫画家、オノナツメと古屋兎丸によるトークショー及びサイン会を開催。更に、古屋兎丸が脚本を担当した映画『Zoo』の上映とトークショーを市内映画館にて実施
3	伊勢神宮写真展開連写真家 中野晴生講演会 1	トロント	トロント日本文化センター	中野 晴生	2011.05.09 ~ 2011.07.11	トロント日本文化センターで2011年2月から開催した伊勢神宮写真展の開催期間中に写真家の中野晴生を招へいし、当センターにおいて講演会を開催
4	からくり人形師・玉屋庄兵衛によるからくり人形デモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館 在カナダ大使館	2011.05.20 ~ 2011.05.22	カナダ文明博物館が2011年5月～10月に、日本の江戸期から現代にいたる伝統とイノベーションに焦点を当て、大規模日本特別展「日本：伝統とイノベーション」を開催。オープニングに際し、玉屋庄兵衛（からくり人形師）による、ロボットの原型とも言える江戸時代のからくり人形のデモンストレーションを実施
5	からくり人形デモンストレーション	トロント	トロント日本文化センター		2011.05.24	カナダ文明博物館における大規模日本特別展のオープニングに際し、玉屋庄兵衛（からくり人形師）が、ロボットの原型とも言える江戸時代のからくり人形のデモンストレーションを開催。その関連事業として、トロント日本文化センターにて、2回のデモンストレーションを実施
6	トロント市大規模文化紹介イベントへの参加（ドアーズオープントロント）	トロント	トロント日本文化センター		2011.05.28 ~ 2011.05.29	トロント市が主催し、市内の文化施設を市民に無料開放する大規模文化イベント「ドアーズオープントロント」に参加。トロント日本文化センターの図書館と展示を紹介し、当センター事業のPRと新規利用者開拓を実施
7	デービット・ペッパー 和紙レクチャー	トロント	トロント日本文化センター	和紙専門店ジャパニーズペーパープレイス	2011.06.07	ロイヤル・オンタリオ・ミュージアムの元学芸員で、日本美術専門家のデービット・ペッパーを招へいし、作品や資料から和紙の広範な活用例を探る講演会を開催

海外拠点

8	オタワ国際ジャズフェスティバル 梅津和時 KIKI BAND	オタワ	ナショナル・アーツ・センター	オタワ国際ジャズフェスティバル	2011.06.30	オタワ国際ジャズフェスティバルに際して、1970年来ニューヨークを中心に活躍し、日本のファンキー・ジャズバンドとして人気の梅津和時率いるKIKI BANDがコンサートを実施
9	クラシック音楽コンサート (バイオリン・ピアノ)	オタワ	ナショナルギャラリー	在カナダオーストリア大使館 在カナダ大使館	2011.06.30	バイオリニスト・ザイラーまゆみとピアニスト・橋本京子による、クラシック音楽コンサート。在加公館「日本週間」等支援事業
10	ジェン・プレイフォードによる風呂敷デモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館	2011.07.12 ~ 2011.07.14	風呂敷デザイナーのジェン・プレイフォードをオタワに派遣し、風呂敷の利用方法などについて、カナダ文明博物館でデモンストレーションを実施
11	現代アートデモンストレーション	オタワ	カナダ文明博物館	カナダ文明博物館	2011.07.18 ~ 2011.07.24	日本の現代アーティスト高橋信雅をオタワに派遣し、カナダ文明博物館日本特別展会場で壁画を制作。更に、子供向けワークショップも実施
12	音楽学専門家 (平間充子) による日本の4大古典芸能に関する講演会	オタワ トロント	在カナダ大使館講堂 トロント日本文化センター	在カナダ大使館	2011.07.20 ~ 2011.07.22	音楽学専門家である日本の古典芸能を研究している平間充子による、日本の4大古典芸能 (雅楽、能、歌舞伎、文楽) に関する講演会をオタワ (1日の講演会) 及びトロント (2日間の連続講演会) で開催
13	『高校野球』ドキュメンタリーDVD 上映会・ディスカッション	トロント	トロント日本文化センター		2011.08.25	日本の高校野球及び甲子園 (全国高校野球選手権大会) を題材としたドキュメンタリーDVD『高校野球』を通じて、日本のスポーツ文化を紹介
14	トロント国際映画祭アジア・フィルム・ナイトレセプション	トロント	トロント日本文化センター	韓国映画振興公社 (KOFIC) 公益財団法人ユニジャパン	2011.09.12	トロント国際映画祭は、世界三大映画祭のひとつで、毎年300本を超える映画の上映が行われる北米最大の映画祭である。世界各国の映画祭関係者、配給会社関係者、映画製作者、監督、俳優等がトロントに集まるこの機会に、日本から参加する映画監督、映画関係者を招へい (UNI JAPANと連携)。更に、韓国映画振興公社 (KOFIC) との連携により韓国の映画関係者も招へいし、各国及びカナダの映画産業関係者と日韓の映画関係者との交流及びネットワーク作りの機会を提供
15	水引アート作品展示 (図書館展示)	トロント	トロント日本文化センター図書館	水引千雅流師範「美雅」 円谷 仁美	2011.09.14 ~ 2011.11.07	水引千雅流師範「美雅 (みやび)」円谷仁美 (つむらやさとみ) による水引アート作品11点を、図書館閲覧室の壁面に展示
16	トロント市大規模文化紹介イベントへの参加 (ニューイ・ブロンシュ)	トロント	トロント日本文化センター		2011.10.01 ~ 2011.10.02	トロント市が開催する全市的な大規模文化イベント「ニューイ・ブロンシュ」に参加し、トロント日本文化センターの図書館と展示の紹介、当センター事業のPR・新規利用者開拓を実施

海外拠点

17	シネマ歌舞伎	トロント バンクーバー	スコシア・バンク・シアター シネプレックス・オデオン・インターナショナル・ビレッジ・シネマ	松竹株式会社 マーティグロス・フィルム・プロダクションズ	2012. 02. 22 ~ 2012. 02. 26	日本の伝統的な総合舞台芸術である歌舞伎を、ハイデフィニション映像・6チャンネル音響システムにより上映するシネマ歌舞伎から、トロントで2月22日に『身替座禅』と『女殺油地獄』、バンクーバーで2月26日に『女殺油地獄』と『鷲娘』を上映
18	石井眞木作品デモンストレーション・講演会	トロント	トロント日本文化センター	エスプリ・オーケストラ	2011. 11. 22	エスプリ・オーケストラにより石井眞木作曲の打楽器協奏曲がトロントで演奏される機会に併せて、ライアン・スコット（打楽器奏者）、アレックス・ボウク（指揮者）、アレクシナ・ロウイ（作曲家）によるデモンストレーションと、石井眞木作曲作品を紹介するトークイベントを開催
19	「3.11肖像写真プロジェクト」写真家小林伸幸トークイベント	トロント	トロント日本文化センター	NPO法人まちあそび内「3.11肖像写真プロジェクト」事務局 資生堂カナダ	2012. 01. 06	「3.11肖像写真展」のオープニングイベントとして、「3.11肖像写真プロジェクト」の代表である、写真家の小林伸幸によるトークイベントを開催
20	3.11肖像写真展	トロント	トロント日本文化センター	NPO法人まちあそび内「3.11肖像写真プロジェクト」事務局 資生堂カナダ	2012. 01. 06 ~ 2012. 01. 27	「3.11肖像写真展」をトロント日本文化センターにて開催。東日本大震災により被災した人々の肖像写真を、プロのカメラマン・ヘアメイク有志がボランティアで撮影、額装して応援メッセージとともに届けるという「3.11肖像写真プロジェクト」の活動を、パネルやNHK番組上映などにより紹介するとともに、その肖像写真約120点を展示
21	MANGA：江戸から現代まで一マンガ・浮世絵・ダンスの夕べ	トロント	トロント日本文化センター	Across Oceans	2012. 01. 16	ダンス・カンパニー「Across Oceans」による日加共同制作ダンス作品「My Heart is Spoon」（国際交流基金パフォーミング・アーツ・ジャパン助成事業）が、1月19日～22日にトロントで公演される機会に併せ、同団体との共催により、ジェフリー・グレイグ（Yamaアニメ・マンガ協会）によるマンガについての講演、キャロル・ドーマン（浮世絵専門家、スチュワード・ジャクソン・ギャラリー）による近世木版画とマンガの発展についての講演、マクシン・ヘップナー（振付家）と瀬川貴子（ダンサー）によるアニメとマンガに影響されたダンスについての講演とダンスデモンストレーションを実施
22	写真展示Gentle Wind（図書館展示）	トロント	トロント日本文化センター図書館	森 陽子	2012. 01. 16 ~ 2012. 02. 24	岡山、広島、瀬戸内海の小島の路地で見かけた日常の風景を撮影した、森陽子による写真作品の展示
23	坂東玉三郎ポスター展	トロント	トロント日本文化センター	松竹株式会社	2012. 02. 01 ~ 2012. 06. 22	在トロントの個人コレクションと松竹株式会社からの提供により、歌舞伎俳優坂東玉三郎のポスターを数十点展示。過去20年以上の間に制作されたポスターを一挙展示し、更に、題材も歌舞伎のみならず、西洋古典演目や三島作品などの現代劇など幅広くコレクションされており、歌舞伎や日本の演劇の多様性と豊かさを紹介

海外拠点

24	切り絵アート展示 「Nikko Kirie」 (図書館展示)	トロント	トロント日本文化 センター図書館	マーク・ユングブ ラット	2012.03.03 ~ 2012.04.14	オンタリオ州ウォーターロー在住の切り絵アーティスト、 マーク・ユングブラットによる、日光東照宮をさまざまな角 度からとらえた切り絵作品7点を図書館閲覧室に展示し、日 本の「切り絵アート」の魅力を紹介
----	--------------------------------------	------	---------------------	-----------------	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
25	バンクーバー・キバツ映画祭（文芸現 地助成）	パウウェル・ストリート・フェスティ バル協会	2011.05.27 ~ 2011.05.29	バンクーバーの日本人ストリートとしてかつて栄えたパウ ウェルストリートを再活性化するためのフェスティバル、パ ウウェルストリート・フェスティバルが主催する日本映画祭 に対し、上映料の一部を助成
26	Suoni Per Il Popolo 音楽祭への灰野敬 二の参加（文芸現地助成）	Suoni Per Il Popolo音楽祭事務局	2011.06.08 ~ 2011.06.13	モントリオールで開催されるSuoni Per Il Popolo音楽祭に 招へい参加する、灰野敬二（音楽家）の旅費の一部を助成。 モントリオール及びトロントでコンサートを開催
27	アイヌ・トリングット交流（文芸現地 助成）	ユーコン・アボリジナル・ウィメン ズ・カウンスル	2011.07.26 ~ 2011.07.30	アイヌの音楽グループ「アネサラ シネウブソロ」が、ホワ イトホース、アトリン、バンクーバー（以上ブリティッシュ・ コロンビア州）、テスリン、カークロス（以上ユーコン準 州）を訪れ、コンサートや交流会などを実施する事業に対 し、旅費の一部を助成
28	サン・アンジェ音楽コンサートにおけ る青木早希オルガンコンサート	コンサート・ラシーン	2011.09.25	モントリオール近郊で開催されるサン・アンジェ音楽コン サートに招へい参加する、青木早希（オルガニスト）の旅費 の一部を助成
29	LIVE2011パフォーマンス・アート・ビ エンナーレにおけるクボタノブオ公演	センターA バンクーバー現代アジア アート国際センター	2011.09.19 ~ 2011.09.26	バンクーバーで開催されるLIVE2011パフォーマンス・ア ート・ビエンナーレに招へい参加する、トロント在住のクボ タノブオ（即興音楽家）の旅費の一部を助成
30	第12回モントリオール写真月間におけ る川内倫子作品展示	モントリオール写真月間事務局	2011.09.08 ~ 2011.10.09	第12回モントリオール写真月間において、川内倫子（写真 家）の作品展示が開催されるのに対し、作品輸送費の一部を 助成
31	「スポットライト・ジャパン」日本関 係演劇祭関係者訪日調査（文芸現地助 成）	カナディアン・ステージ・カンパニー	2011.10.06 ~ 2011.10.15	トロントを代表する劇場であるカナディアン・ステージ・カ ンパニーが、2012年に日本をテーマにした舞台芸術祭を実施 するための訪日調査費用の一部を助成
32	嵐太鼓によるコンサートとワーク ショップ（文芸現地助成）	嵐太鼓	2011.11.07	カナダ巡回日本映画祭・フレデリクトン上映に併せて実施さ れる、和太鼓パフォーマンスグループ・嵐太鼓による無料コ ンサートとワークショップに対し、旅費等の一部を助成
33	『Eatrip』上映会（文芸現地助成）	日系ナショナル・ミュージアム&ヘリ テージ・センター	2011.11.08	ドキュメンタリー映画『Eatrip』（野村友里監督）の上映 と、地元の日本料理店提供の和食試食会に対し、上映料の一 部を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	日本研究・知的交流セミナー「日加文学者対話事業」	トロント	トロント日本文化センター ヨーク大学 日系文化会館	JCCC Japanese Canadian Culture Centre (JCCC 日系文化会館) ヨーク大学	2011.09.08 ～ 2011.09.14	日本から、川上弘美（作家）、古川日出男（作家）、小澤實（俳人）、柴田元幸（翻訳家・東大文学部教授）の4名を招へいし、カナダの作家2名及び日本文学研究者との対話を行う（当初、カナダ国内、日本等から、研究者を招へいし、セミナーを開催する予定であったが、4名の作家・研究者のカナダ訪問の機会に際し、多角的な知的対話プロジェクトを開催するもの）
35	国立歴史民俗博物館研究員による連続講演会	トロント	トロント日本文化センター	国立歴史民俗博物館	2011.10.05	国立歴史民俗博物館の研究員のカナダ訪問に際し、同博物館と共催で、「江戸時代の女性のキモノ模様と身分・階層」（澤田和人准教授）、「変化朝顔にみる江戸の園芸文化」（岩淵令治准教授）の2件の講演会を実施
36	ケン・コーツ講演会 <i>Digital Japan: Digital Content and the Extension of Japan's Innovation Econ</i>	トロント	トロント日本文化センター		2012.01.20	元国際交流基金フェローのケン・コーツ（現JSAC（日本研究者協会）会長／ウオーターール大学人文学部長／ウェスタンオンタリオ大学教授）による、デジタルコンテンツに関する講演会を実施
37	ブックローンチ『The Reading List』	トロント	トロント日本文化センター	Variety Crossing Press	2012.02.14	日系カナダ人Leslie Shimotakaharaの処女作『The Reading List』の出版記念ブックローンチを開催
38	JETAAスピーカーシリーズ「東北パネルディスカッション」	トロント	トロント日本文化センター	トロントJET Alumni Association (JETAA)	2011.12.02	JETAAとの共催による、東北大震災でのJET参加者のボランティア活動についてのパネルディスカッションを実施。東北大震災及び震災後現地でボランティアを経験した6名のパネリストが震災の様子や復興活動について討論し、更に聴衆との質疑応答を実施
39	グローバルジェネレーションセミナー「グローバルビジネスシーンでの銀行の役割」	トロント	トロント日本文化センター	新企会青年部	2012.01.18	新企会青年部が企画するセミナーシリーズ「グローバルジェネレーションセミナー」シリーズの第2回目。講師は、トロント日本商工会会長／みずほコーポレート銀行トロント支店長の武上和人。銀行の機能や役割、ギリシャの債務問題を含む現在の金融業界の状況、人材育成などについて、グローバルな観点で講演を実施
40	ワード・オン・ザ・ストリートThe Word On The Street (WOTS)	トロント	トロント市クイーンズパーク通り トロント日本文化センター	トロント市	2011.09.25	トロント市が主催するイベント「The Word On The Street : Toronto Book & Magazine Festival」に参加し、会場にトロント日本文化センターのブースを出展すると同時に、当センター図書館を臨時開館

海外拠点

41	巡回展『ストラグリ ング・シテイ ズ』関連連続講演 会	トロント	トロント日本文化 センター		2011.11.09 ~ 2011.11.30	本部巡回展『ストラグリ ング・シテイ ズ』の開催を機に、 カナダの都市論研究者、建築家、都市計画ジャーナリスト等 4名が、テーマである都市計画に関する連続トークイベント を実施
42	河野さつき講演会 『自然葬：現代日 本における新しい お葬式の試み』	トロント	トロント日本文化 センター	ゲルフ大学	2012.02.13	河野さつき（ゲルフ大学社会学・文化人類学部助教授）によ る「Nature's Embrace: Creating a New Mortuary Ceremony in Contemporary Japan」（原文）と題した講演会。ジョ ン・トラファガン博士（米国テキサス州オースティン大学） をディスカッサントとして迎え、質疑応答を実施
43	原喜美恵講演会 『サンフランシ スコ講和条約から60 年：アジア太平洋 地域の諸問題』	トロント	トロント日本文化 センター	ウォータールー大 学	2012.02.12 ~ 2012.02.29	原喜美恵（ウォータールー大学）による講演会を実施。討論 者として下斗米伸夫（法政大学教授）を迎え、アジア太平洋 地域における領土主権と領土に関する諸問題をサンフランシ スコ講和条約に注目し、解説
44	JFIパネルディス カッション『3.11 東日本大震災から1 年：わたしたちは何 をすべきか？』	トロント	トロント日本文化 センター	ウォータールー大 学 渋沢栄一記念財団 ジャパン・フュー チャー・イニシア ティブ	2012.03.15	3月14・15日開催のJFIジャパン・フューチャー・イニシア ティブ・シンポジウムのフォローアップ、一般公開パネルイ ベントを開催。同シンポジウム参加の日米加の政治経済の研 究者、実務専門家による日本の震災復興とエネルギー問題に ついてのパネルディスカッションと質疑応答を実施
45	筑波大学からの図 書館インターン生 受け入れ	トロント	トロント日本文化 センター	筑波大学	2011.09.19 ~ 2011.10.01	筑波大学情報学群知識情報・図書館学類に在学中で国際イン ターシップを受講している学生から選出された1名をイン ターン生として図書館で受け入れ、図書館・情報業務を体験 する機会を提供
46	光山清子現代美術 講演会	トロント	トロント日本文化 センター		2012.03.14	光山清子（現代美術研究者／キュレーター）による、戦後日 本における現代美術の海外での受容と理解の進展についての 講演会を実施
47	CJS『サバイビン グ・カナダーカナ ダで暮らす・就 職・移民につい て』	トロント	トロント日本文化 センター	カナダ・ジャパ ン・ソサエティ	2011.04.08 ~ 2011.04.28	トロントの生活、カウンセリング、ビザ・法律、カナダ文化 への適応などの情報について移民に関する専門家3名を招へ いし、トークと質疑応答を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
48	UBCと一橋大学の知的交流事業：模擬 FTA交渉	ブリティッシュコロンビア大学	2011.08.15 ~ 2011.08.26	ブリティッシュコロンビア大学（UBC）の「カナダ・日本貿易 コース」の大学院生が訪日し、自由貿易協定（FTA）に関する 関係機関、研究者などとの対話、一橋大学との模擬FTA交渉 などを通じた知的対話、外務省及び経産省の代表者との面 会、国会訪問などを実施

海外拠点

49	ジャパン・フューチャー・イニシアティブ (JFI) 支援	JFIジャパン・フューチャー・イニシアティブ	2011. 12. 05	在カナダ大使館にて開催されるJFIシンポジウムに際し、Lee Seung Hyokが東京を訪問。JFIの事業開発及びネットワーキングの機会を模索し、将来、JFI事業に対して、支援・参加の可能性がある関係者と面談。シンポジウム参加者の参加旅費を助成
50	APFラウンドテーブルディスカッション「アジア太平洋地域におけるイノベーションの興隆」	アジア太平洋財団	2012. 03. 27	アジア太平洋財団がトロント大学を会場にして行うパネル討論を支援。世界のイノベーションの中心になりつつあるIT、バイオ、医薬品等先端技術・産業分野において、アジアの発展がカナダに与える影響や同機会を生かせる政策、ビジネス・ストラテジー等、カナダが貢献できることを模索
51	ブリティッシュコロンビア大学「再考、再話、復興」イベント	ブリティッシュコロンビア大学	2012. 02. 20 ~ 2012. 04. 30	ブリティッシュ・コロンビア大学図書館が実施した3.11東日本大震災1周年に際する「2011日本大震災 再考、再話、そして復興 disasters in Japan. Retell, Rethink, Recover」と題した展覧会とコンフェレンス (2012. 03. 10) を支援
52	モントリオール美術館学芸員訪日	モントリオール美術館	2012. 02. 18 ~ 2012. 02. 26	モントリオール美術館において、江戸時代の芸術品を展示する日本ギャラリーの新設に際して、同美術館学芸員のローラ・ビゴの訪日研究に対し支援

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
53	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 29,511名 (2) レファレンス数 1,836件 (3) 貸出点数 30,162点</p> <p>2. 情報発信への取組み トロント日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 337,500件 (2) ホームページアクセス件数 120,901件</p>

海外拠点

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
54	パネルディスカッション「クライシス・イン・ジャパン：東北大震災後の展望」	主催／会場 トロント大学	2011. 05. 05	東北大震災後の日本の社会情勢を考えるパネルディスカッション。トロント大学及びヨーク大学の様々な分野の専門家をパネリストに迎え、3月11日に何が起こったのか、復興の可能性と問題点について等を検証。その後、質疑応答を実施。イベントは一般公開され、トロント日本文化センターは広報活動を支援
55	リアルアジア映画祭・プレスローンチ	主催／ リールアジアフィルムフェスティバル事務局 会場／トロント日本文化センター	2011. 10. 11	トロント日本文化センターイベントホールにて、カナダの映画関係者や、アジアコミュニティの有力者を招へいし、リアルアジア映画祭のプレスローンチを開催。会場を提供
56	天皇誕生日レセプションでの広報活動	会場／トロント日系文化会館	2011. 12. 06	在トロント総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにてブースを出展し、トロント日本文化センターの広報活動を実施
57	グローバルジェネレーションセミナー「グローバルビジネスシーンでの銀行の役割」	主催／新企会青年部 会場／トロント日本文化センター	2012. 01. 18	グローバルな視点でとらえたビジネス講演会において、会場を提供

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
58	図書館ブックリーディングプロジェクト	トロント	トロント日本文化センター	ロイヤルオンタリオ博物館 ガーディナー陶器博物館 アートギャラリーオブオンタリオ	2011. 06. 20 ～ 2011. 09. 09	図書館の貸し出し促進のためのブックリーディングプロジェクトとして、5冊以上の本を借りた利用者に、5冊ごとに抽選券を1枚配布し、期間終了後に抽選会を行い、当選者に賞品を授与

海外拠点

ニューヨーク日本文化センター

合計額 64,366,509 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本現代文学紹介事業 WORD FROM ASIA: Contemporary Writing from Japan	ニューヨーク	Asia Society	Asia Society	2011.04.30	日米作家の交流・対話会をAsia Societyと共催。日本からは、作家の川上弘美、俳人の小澤實、翻訳者の柴田元幸が参加。米国からは、小説家のRebecca Brown、詩人のJoshua Beckmanが参加
2	中西部大学巡回日本映画上映	アイオワ・シティ イサカ セント・ルイス マンシー ミドルタウン ミドルベリー	アイオワ大学（アイオワ州） コーネル大学（ニューヨーク州） ワシントン大学（ミズーリ州） ボールステート大学（インディアナ州） ウェスリアン大学（コネチカット州） ミドルベリーカレッジ（バーモント州）	アイオワ大学 コーネル大学 ワシントン大学 ボールステート大学 ウェスリアン大学 ミドルベリーカレッジ	2011.09.14 ～ 2011.11.16	隔年で、南部及び中西部の大学と共催で、日頃、日本映画を見る機会の少ない地方の大学生・一般市民を対象に、日本映画の特集上映会を実施。今年度は、「Young Starlets of Japanese Cinema」と題し、20代の女性俳優に焦点を当て、2000年以降に公開された映画を米国中西部3大学と北東部3大学にて上映。上映作品は、宮崎あおい主演『害虫』、深田恭子主演『下妻物語』、蒼井優主演『百万円と苦虫女』及び麻生久美子主演『夕風の街 桜の国』
3	在米日本文化専門家中南米派遣事業（キューバ）	ハバナ	サン・フランシスコ・デ・アシス教会 高等芸術学院ISA 国立劇場	在キューバ大使館	2011.09.19 ～ 2011.09.26	在キューバ大使館の要請に基づき、ボストン交響楽団オーボエ奏者の若尾圭介をキューバに派遣。キューバ国立交響楽団、ソリスタス・デ・ラ・ハバナと共演のほか、高等芸術学院ISAにてワークショップを実施
4	在米日本文化専門家中南米派遣事業（ジャマイカ、ボリビア、ペルー）	キングストン ラパス リマ	各国国立劇場等	ペルー日系人協会 在ジャマイカ大使館 在ペルー大使館	2011.10.21 ～ 2011.11.05	山田流木村伶香能と金子純恵による、邦楽（箏・三味線・唄）コンサート3回及びワークショップ6回を各国劇場や学校施設等で実施

海外拠点

				在ボリビア大使館		
5	在米日本文化専門 家中南米派遣事業 (ブラジル)	ブラジリア レシフェ	ユニベルサ財団劇 場 ペルナンブコ音楽 院 第15回日本市野外 ステージ (レシ フェ)	在ブラジル大使館 在レシフェ出張駐 在館事務所	2011. 11. 21 ~ 2011. 11. 28	沢井流石樽雅代、太宰満木、尺八のマルコ・リーンハートに よる、邦楽(箏・三味線・尺八) コンサートを劇場、音楽 院、第15回日本市野外ステージにて実施
6	在米日本文化専門 家中南米派遣事業 (エルサルバド ル・ベリーズ)	ベリーズシティ サンサルバドル サンタアナ ベルモパン	ブリスセンター ステラマリス養護 学校 国立プレジデンテ 劇場 国立サンタアナ劇 場 ジョージプライス センター	在エルサルバドル 大使館 在ジャマイカ大使 館	2012. 02. 12 ~ 2012. 02. 21	在エルサルバドル大使館、在ジャマイカ大使館の要請に基づ き、邦楽グループ(ケニー遠藤と息子マイルズ遠藤の和太鼓 デュオ)を派遣、公演のほかミニコンサートやワーク ショップを実施
7	桜100周年記念事業 及び邦楽ショー ケースフォロー アップ事業(舞台 芸術公演)	ニューヨーク ボストン	アジア・ソサエ ティー メトロポリタン美 術館 MIT(マサチュー セッツ工科大学)	アジア・ソサエ ティー ジュリアード音学 院 マサチューセッツ 工科大学 メトロポリタン美 術館	2012. 02. 22 ~ 2012. 03. 02	桜100周年記念及び邦楽ショーケースフォローアップとして 昨年度ショーケースに参加した琵琶奏者・櫻井亜木子を中心 に、米国内の複数都市において舞台芸術公演を共催。日本か ら舞踏家の向雲太郎、薩摩琵琶奏者の櫻井亜木子、サズ奏者 の大平清を招へいし、舞踏・演奏・語りによる舞台『耳なし 芳一』公演をアジア・ソサエティー及びマサチューセッツ工 科大学にて実施。ジュリアード音楽院では各アーティストに よるワークショップを実施。また、メトロポリタン美術館で は屏風絵の特集展示に併せSunday at the Metシリーズ内 にて、櫻井亜木子が『平家物語』から那須与一の段を披露

【文化芸術交流(助成)】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
8	日本の大女優シリーズ	フィルムフォーラム	2011. 04. 01 ~ 2011. 04. 21	JapanNYCフェスティバル(小澤征爾が芸術監督を務める日本 芸術祭)の一環として、『5 Japanese Diva』と題した日本 映画黄金期を代表する女優5名の出演作23点を3週間に渡り上 映。上映作品は、『西鶴一代女』(田中絹代主演)『浮き 雲』(高峰秀子主演)『白痴』(原節子主演)など。フィル ム輸送に対し助成
9	ヒューストンジャパンフェスティバル 2011	ヒューストン日米協会	2011. 04. 09 ~ 2011. 04. 10	第18回目となるヒューストンジャパンフェスティバルにおい て、津軽三味線の小山×新田デュオの公演を実施。開催費用 の一部(演奏家への謝金、交通費及び宿泊費の一部)を助成

海外拠点

10	Wave Upon Wave	インターナショナルハウス・フィラデルフィア	2011.04.14 ~ 2011.04.17	笙の佐藤尚美と琴の菊地奈緒子を迎え、三日間に渡ってフィラデルフィアでジーン・コールマン率いるEnsemble N_JPとのコラボレーション公演を実施。演奏家の渡航費の一部を助成
11	日本映画祭	ニューヨーク市立大学 シティ・カレッジ	2011.04.28 ~ 2011.05.05	シティ・カレッジ校図書館にて『ビルマの堅琴』『大阪ストーリー』など4作品の日本映画上映、及び、日本研究者による上映後のディスカッションを実施。フィルム輸送費を助成
12	村松卓矢とピロポラス：コラボレーション	アメリカン・ダンス・フェスティバル	2011.06.30 ~ 2011.07.02	ダンスカンパニーのピロポラスと村松卓矢（大駱駝鑑所属）のコラボレーションによる新作『Korokoro』をアメリカン・ダンス・フェスティバルで公演。村松卓矢の渡航費及び広報費を一部助成
13	ニューヨーク・アジア映画祭2011	ニューヨーク・アジア映画祭	2011.07.01 ~ 2011.07.14	10回目となるニューヨーク・アジア映画祭において、『忍たま乱太郎』『世界最後の日々』を世界初上映。山田孝之（俳優）、石橋義正（監督）、山中アラタ（俳優）、坂口拓（俳優/監督）、山口雄大（監督）も映画祭に参加。フィルム輸送費を助成
14	リフレクション：蟬の夏	シカゴ・モダン・オーケストラ	2011.08.13 ~ 2011.08.20	在米日本人ダンサー橋本真奈とシカゴ在住アーティストによるダンスと音楽のコラボレーション、ワークショップ及びトークセッションを実施。専門家の旅費及び謝金を助成
15	マイナー・ミュージックス	イシュウ・プロジェクト・ルーム	2011.09.16 ~ 2011.09.17	即興音楽家の杉本拓、宇波拓、川口貴大とドイツ人ギター奏者Annette Krebs、オーストリア人トロンボーン奏者Radau Malfattiのコラボレーションによる演奏を、『マイナー・ミュージック』と題した実験音楽発表の機会と文化交流を目的としたシリーズにて披露。演奏家の謝金を助成
16	5×8 日本の新しい陶芸	クレイ・スタジオ	2011.09.23 ~ 2011.10.30	フィラデルフィアで、日本人陶芸家8名の展覧会を開催。併せて、出展者の一人、小枝真人の1か月間のレジデンシー及びワークショップも行われ、キュレーターの真木まき子がレクチャーを実施。印刷費を助成
17	辻井伸行リサイタル	アーツ・サン・アントニオ	2011.10.13	2009年ヴァン・クライバーンコンクールで優勝した辻井伸行のソロリサイタル及びトークセッションを実施。演奏家の謝金を助成
18	伊藤さちよ30周年記念コンサート	伊藤さちよ舞踊団	2011.10.23	1972年以来、全米各地で日本舞踊や沖縄舞踊の公演と創作活動を続けている伊藤さちよの30周年記念コンサートを実施。広報費を助成
19	禅の書・原田正道によるデモンストレーション	森上美術館・日本庭園	2011.10.23 ~ 2011.10.25	フロリダ州森上美術館で禅の書・画・陶器の展覧会を開催。岡山県曹源寺住職の原田正道による書道のレクチャーとデモンストレーションを実施。専門家の旅費を助成
20	プリンティング・ショー	アパチャー・ギャラリー	2011.11.04 ~ 2011.11.05	近年アメリカで注目を浴びている戦後日本美術時代の著名写真家、森山大道が、1974年にシミズ画廊で行った「プリンティング・ショー」を再演。専門家の旅費を助成

海外拠点

21	日本文学と映画における高齢化に関する会議	タフツ大学	2011. 11. 04 ~ 2011. 11. 06	タフツ大学が大江健三郎を招へい。日本の高齢化が文学や映画においてどのような捉えられ方をしているかについてパネル議論を実施した他、教授や学生との昼食会やQ&Aセッションに参加。専門家の旅費を助成
22	俵有作展	インディアナポリス美術館	2011. 11. 11 ~ 2012. 06. 10	インディアナポリス美術館において、2004年に没した俵有作の中西部での個展を開催。カタログ制作費を助成
23	市藤会50周年記念公演	市藤会	2011. 12. 14	長年ニューヨークで日本舞踊の普及に尽力してきた宗家藤間流市藤会の50周年祝賀舞踊会を実施。プログラム制作・印刷費を助成
24	英語で狂言	ノース・ダコタ大学	2012. 01. 05 ~ 2012. 03. 04	女性狂言師十世三宅藤九郎を招へい。ノース・ダコタ大学の演劇部の学生と狂言プロダクション制作を実施。その他レジデンシー期間中、狂言の演技法、衣装、舞台装置に関する指導や、地元の高校生を対象にしたワークショップを実施。専門家の旅費と謝金の一部を助成
25	全米桜寄贈100周年記念事業（小規模現地文化事業支援）	ウエストフロリダ大学 ジョージア州メーコンさくら祭 ピッツバーグ・サクラ・プロジェクト等	2012. 02. 01 ~ 2012. 03. 31	全米桜寄贈100周年にちなみ、米国内の各種文化団体が実施する日本文化紹介・日本理解促進事業に1件5000ドルを上限に資金支援を実施。対象は、公演、展示、映画上映、及び講演会やレクチャー・デモンストレーション等。実施助成数8件
26	『太平洋序曲』公演	ブラックバードシアター	2012. 02. 02 ~ 2012. 02. 18	テネシー州ナッシュビルの劇団がソンドハイムの『太平洋序曲』を桜100周年ナッシュビル桜祭の一部として上演。その他、一般観客への作品のテーマに関する教育プログラムや、俳優に対する日本演劇スタイルのレクチャーを実施。出演者謝金を助成
27	『トキオ・コンフィデンシャル』公演	The Field	2012. 02. 05 ~ 2012. 02. 19	19世紀末の日本を舞台にした、能と浮世絵に強く影響された作品の公演を実施。広報印刷費を助成
28	Mu太鼓コンサート	Theatre Mu	2012. 02. 10 ~ 2012. 03. 03	ミネソタ州のアジア系アメリカ人によるパフォーマンスアーツ団体Theatre Muの結成15周年記念公演。日本から鼓童のメイン奏者である藤本吉利と鼓童から派生したユニット花結も参加。専門家の旅費を助成
29	ミュージック・フロム・ジャパン・フェスティバル2012	ストロング・ジョン・トムソン公立小学校 スミソニアン美術館 マーキン・コンサートホール	2012. 02. 14 ~ 2012. 02. 24	1975年より雅楽や日本の現代音楽普及に努めているミュージック・フロム・ジャパンの第37シーズンの幕開けを飾る4公演をニューヨークとワシントンDCで実施。広報印刷費を助成
30	矢野颯子コンサート	ヒューストン美術館	2012. 02. 15 ~ 2012. 02. 17	ヒューストン美術館ジャパンギャラリーのオープニングを祝してのイベントに矢野颯子を招へい、公演を実施。広報印刷費を助成
31	吉田穂高展と吉田亜世美レクチャー	セント・オラフ・カレッジ美術館	2012. 02. 17 ~ 2012. 04. 01	ミネソタ州においてアーティスト吉田穂高の個展に合わせ、娘で同じくアーティスト/デザイナーの吉田亜世美が一般向けの講演と実技講座を開催。専門家の謝金を助成

海外拠点

32	アート・オブ・ガマン	ユダヤ人歴史博物館	2012. 02. 19 ~ 2012. 05. 31	アトランタのユダヤ人歴史博物館にて、アート・オブ・ガマン展を開催。1942年～1946年の間に、日本人キャンプに収容されていた人々による芸術作品を紹介、レクチャーやフィルム上映なども併せて実施。広報費を助成
33	能の音楽の夕べ	シアター・能楽	2012. 03. 19	バージニア州Hampden-Sydney Collegeにおいて、米国における能普及第一人者リチャード・エマートによる、能の音楽のワークショップ、レクチャー・デモンストレーション、及びパフォーマンスを学生向けに実施。専門家の旅費を助成
34	ケニー遠藤・桜100周年ツアー	ワシントンDC桜祭り	2012. 03. 29 ~ 2012. 04. 12	太鼓奏者ケニー遠藤と笛・琴・三味線のアンサンブルによる桜寄贈100周年にちなんだ演奏ツアー。ワシントンDCで公演の他、ボストン、ニューヨーク市、ストーニーブルック、ワシントンDCでワークショップも実施。専門家の旅費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
35	全米アジア学会	トロント	シェラトン・センター・トロント・ホテル		2012. 03. 15 ~ 2012. 03. 18	全米アジア学会において、日本研究者・日本語教育関係者・国際交流基金関係者を対象にしたレセプションを開催するとともに、東日本大震災後1周年を悼悼して『Light Up Nippon』のフィルム上映を実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
36	日本研究小規模助成	イリノイ大学	2011. 09. 01 ~ 2012. 04. 30	イリノイ大学が、日本の社会、歴史、経済、文化、音楽、宗教等の幅広い分野及びトピックについて、全米から日本研究者や専門家を講師として招へいし、計8回の一般公開を連続して実施。講師の旅費を助成
37	日本研究小規模助成	ハワイ大学	2011. 12. 17 ~ 2012. 01. 31	ハワイ大学沖縄研究センターが、米国における沖縄研究の発展を目的に、沖縄県教育委員会による『概説：沖縄の歴史と社会』の英訳版を作成し、大学の講義で活用することを目的とした事業。翻訳編集費を助成
38	日本研究小規模助成	テキサス大学オースティン校	2012. 02. 17	テキサス大学オースティン校が、東アジア近現代史の複層的側面に焦点を当て、日本の植民地時代韓国（1910年～1945年）の日系・韓国系キリスト教の展開をテーマにしたシンポジウムを、松谷基和（早稲田大学教授）他を招へいして実施。講師の旅費、謝金等を助成
39	日本研究小規模助成	アイオワ大学	2012. 03. 31 ~ 2012. 04. 14	アイオワ大学が、グローバルな文脈における日本のサイエンス・フィクション映画をテーマにした国際シンポジウムを3日間に渡り開催。日本の映画メディア研究で知られるトーマス・ラマール（マギル大学教授）他による基調講演、パネル、押井守監督作品『攻殻機動隊』の上映会を実施。講師の旅費や謝金等を助成

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
40	広報活動	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	1. 情報発信への取組み 米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイトの運営とメールマガジンの発行を実施 (1) メールマガジン 配信数 57,920件 (2) ホームページアクセス件数 68,150件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
41	日本のポップ・カルチャー紹介事業	ニューヨーク・コミック・コンベンション	2011. 10. 13 ~ 2011. 10. 16	ニューヨークで開催されるニューヨークアニメフェスティバルに日本から、伊藤博之 (クリプトン・フューチャーメディア株式会社代表取締役)、福岡俊弘 (週刊アスキー総編集長)、まさたかP (ビデオクリエイター) を招へいし、初音ミクに関するパネルディスカッションを開催

海外拠点

ロサンゼルス日本文化センター

合計額 113,341,763 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Jポップ・サミット・フェスティバル2011	サンフランシスコ	サンフランシスコ日本町	在サンフランシスコ総領事館	2011.08.27 ~ 2011.08.28	サンフランシスコ最大のJ-POPカルチャーの祭典に主要スポンサーとして参加し、ブースを設置。ロサンゼルス日本文化センター所蔵品の鎧兜2セットを準備し、展示用と、来場者の試着用に分けて展示。併せて、職員が来場者の名前を日本語で書くサービスや日本文化・日本語学習への関心や理解を促す資料配布なども実施。更に、山口碧生による書道パフォーマンス（大書の揮毫）も実演。在サンフランシスコ総領事館、日本政府観光局(JNTO)、日本貿易振興機構(JETRO)と協力体制を取り、広報活動も実施
2	ARIGATO: 震災支援感謝の集い	ロサンゼルス	日米文化会館(ガーデンルーム、ノグチプラザ)	在ロサンゼルス総領事館	2011.09.07	東日本大震災発生から6カ月経た時期をひとつの区切りとして、日本での救援活動の様子や復興状況を伝え、また地酒や日本の食品の提供、日本人音楽アーティストの公演を通し、あらためて日本の文化に触れる機会を提供
3	日本の「道（どう）」に関する文化交流事業	レドンドビーチ	レドンドビーチ・パフォーマンス・アーツ・センター(ロサンゼルス郡)	全米武道委員会	2011.11.05	日本文化「道」の精神を紹介する文化事業。世界の武道を紹介するパフォーマンス、「日本の武道」の文化理念についてのパネルディスカッション、及び茶道・華道・書道の文化展示の3つの要素で展開

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
4	文化芸術ミニグラント	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本研究センター オレゴン州立大学外国語文学部 南カリフォルニア大学日本宗教文化センター 南加日米協会 南加日系商工会議所基金 日米文化会館 全米日系人博物館 ハワイ日本文化センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	地域・草の根レベルでの日米交流・相互理解を促進するため、ロッキー山脈より西13州で開催される質の高い日本文化紹介事業に対する助成。本年度は18件実施

海外拠点

		アメリカン・フィルム・インスティテュート 等		
5	「花びらの舞」	UCLA日系学生協会	2011. 05. 07	UCLA日系学生協会の日本舞踊クラブが行う年次リサイタル（日本舞踊）の開催経費を一部助成。UCLAの学生やコミュニティ向けの文化イベントで、地元の日系日本舞踊団体の協力を得て開催する
6	『風』	日韓協会	2011. 07. 29 ～ 2011. 08. 11	日本から日光江戸村等で活躍している劇団LOSTKIDSを招へいし、殺陣の基本を用いた時代劇デモンストレーション公演『風』を実施。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
7	「京の会」	米国歌舞伎研究会	2011. 09. 18	日本から坂東八大（ばんどうやひろ）、藤間豊広（ふじまよひろ）を迎えて第5回「京の会」公演を行い、歌舞伎を紹介。「京の会」は公演名称で、歌舞伎の本公演ではなく、歌舞伎役者による演舞の披露。米国で日本舞踊を学ぶ学生に、日本から来た歌舞伎役者の演舞を鑑賞できる貴重な機会を提供
8	日本凧ワークショップ	南加日米協会	2011. 10. 06 ～ 2011. 10. 14	2001年より実施されているカイト・ワークショップ。土岐幹男（日本凧職人）を日本から招へいし、ロサンゼルス市内の小学校にて年間600～1000人の子供たちを対象に和凧作りを指導。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
9	日米カイトフェスティバル	南加日米協会	2011. 10. 09	毎年シールビーチで行われるカイトフェスティバルの開催経費を一部助成。日米カイトフェスティバルとして開催されるようになり、2011年は15回目
10	漫画ポスターコンテスト	南加日米協会	2011. 11. 01 ～ 2012. 04. 31	桜寄贈100周年告知用マンガポスターのデザインを公募するコンテストにおいて、実施経費の一部を助成
11	インターナショナル・フィルム・フェスティバル	オレゴン州立大学 外国語文学部	2011. 11. 07 ～ 2011. 11. 11	オレゴン州立大学の外国語文学部で学べる各言語の映画作品を上映し、学生の文化理解の促進及び地元コミュニティへの文化紹介を行う国際映画祭。対象国は、フランス、ドイツ、スペイン、中国、日本の5カ国。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
12	AFIフェスト2011	アメリカン・フィルム・インスティテュート (AFI)	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 09	アメリカン・フィルム・インスティテュート主催の映画祭において日本関連映画上映の経費を助成
13	『鶴の恩返し』	ボルダー・カウンティ・アート・アライヤンス	2011. 12. 03 ～ 2012. 01. 21	地域コミュニティの子供達向けの人形劇公演。今回は『鶴の恩返し』をテーマに文楽・能・歌舞伎の手法を利用し、人形劇として再現する舞台公演を実施。開催経費の一部を助成
14	お正月・イン・リトル東京	南加日系商工会議所基金	2012. 01. 01	リトル東京にて日本の伝統的な新年の雰囲気再現するイベント。ロサンゼルス市警ヘリコプターの祝賀飛行、鏡開き、獅子舞、餅つき、書初め、着物ショー、折り紙体験、日本食屋台が立ち並び、ステージでは空手演舞や太鼓演奏を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

15	新年オハナ祭り	ハワイジャパニーズカルチュラルセンター	2012. 01. 08	1993年以来ハワイ日系コミュニティの象徴的な正月イベントである「新年オハナ祭り」。日本やハワイのハンドクラフトやフードブース、着物の着付けなど、数多くの企画が催される。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
16	事始「初風」	日米文化会館	2012. 01. 08	リトル東京で行うコミュニティーのための新年行事。本年度のテーマは「初風」。日本舞踊や弓を使ったパフォーマンスに加え、長唄（杵屋）、音楽学校のコルバーンスクールのモダンダンス、韓国系ダンス学校の韓国舞踊の公演等が実施された。ロサンゼルス日本文化センターは、開催経費の一部を助成
17	茶会：精神・美・儀式の体現	サンタクラリータバレーシニアセンター	2012. 01. 18	サンタクラリータの介護老人施設にてお茶会、レクチャー、質疑応答を実施。開催経費を一部助成
18	ワイメア桜祭り太鼓2012	タイコ・アーツ・センター	2012. 02. 04	ワイメア桜祭りで桜寄贈100周年を祝って開催される、ケニー遠藤率いるTaiko Center of the Pacific (TCP：太鼓学校)の太鼓パフォーマンスとワークショップイベントの開催経費を一部助成
19	シーズンコンサート1：エキゾチックバロック	サンタクルーズ・バロック・フェスティバル	2012. 02. 11	西洋と東洋の音楽コラボレーション公演。カリフォルニア琴アンサンブルが「四季(ビバルディ)」を演奏し、音楽の融合芸術を探求。開催経費の一部を助成
20	桂歌蔵の英語落語	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本文化センター 羅府睦会	2012. 02. 17	桂歌丸の弟子、桂歌蔵による英語落語の開催経費を一部助成
21	もの派アーティストの声：1970年代現代アート	南カリフォルニア大学日本宗教文化センター	2012. 02. 24	南カリフォルニア大学が実施するBlum & Poe Art Galleryの <i>Requiem for the Sun: The Art of Monoha</i> 展とのコラボレーション企画のディスカッションイベントの開催経費の一部を助成
22	アリゾナ祭り―桜寄贈100周年記念プロモーション	アリゾナ祭り実行委員会	2012. 02. 25 ~ 2012. 02. 26	27年間、毎年開催されている日本の祭りイベント。本年は桜寄贈100周年にちなみ、「桜」をテーマにして、会場のデコレーションや広報物のデザインをすべて桜で統一。オープニングセレモニーにはフェニックス市長、ロサンゼルス総領事、在アメリカ合衆国大使も招へいし、桜寄贈100周年をプロモート。更に、パレードには姉妹都市の姫路市から踊りのグループを招へいし、桜をテーマに舞踊と和太鼓演奏を披露
23	ピアノの旅：ゲーム音楽のピアノ曲	オキシデンタル・カレッジ	2012. 03. 03	日本文化がどのように日本の近現代の音楽に影響を与えたかをテーマとしたイベント。滝廉太郎から植松伸夫のゲーム音楽まで、幅広い時代を考察。上野淳子ギャレット（カワイアーティスト）を招へい。同事業の実施経費の一部を助成。

海外拠点

24	東日本大震災巡回展	カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラサキ日本文化センター	2012.03.04 ~ 2012.04.15	東日本大震災の状況を伝えるために急遽企画された写真展において、河北新報から提供された68点の東日本大震災写真、被災者のインタビュー映像やコメントを展示。災害そのものを表現するのではなく、被災者の協力し合って生きる姿に焦点を当て、未来に向かうポジティブな展覧会として開催。同事業の実施経費を一部助成
25	フォルディングペーパー：折り紙の無限の可能性	全米日系人博物館	2012.03.10 ~ 2012.08.26	日本の折り紙文化を中心に紙を使用した世界のアート展を開催するにあたり、経費の一部を助成
26	第37回シアトル桜祭り・日本文化祭：祝米国百年桜—地球温存世界平和のシンボル—	シアトル桜祭り・日本文化祭実行委員会	2012.04.13 ~ 2012.04.15	日本文化祭イベント「シアトル桜祭り」における山崎直子(宇宙飛行士)講演会の開催経費を一部助成
27	桜コンサート	日本語学園協同システム	2012.03.24	日本から招へいた邦楽演奏家と地元演奏家によるコンサート。日米のアーティストが共演し、日本古来の楽器とバイリンガルの歌詞を用いた音楽により、子供たちに日本文化を紹介。演奏はジョージ・カメダ(和太鼓)とアサモト・タカシ(篠笛)、ボーカルは縁ブラック。同事業の開催経費の一部を助成
28	春の茶会と着物ファッションショー	ウェナチバレー美術館	2012.03.31	裏千家シアトル支部から専門家2名を招へいし、春の茶会と着物ファッションショーを開催するにあたり、経費の一部を助成

(3) その他の事業(広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
29	広報・図書館運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 426名 (2) レファレンス数 183件 (3) 貸出点数 1,325点</p> <p>2. 情報発信への取組み ロサンゼルス日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 7,690部(英語) (2) メールマガジン配信数 16,536件 (3) ホームページアクセス件数 180,724件</p>

海外拠点

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
30	アニメエキスポ2011	在ロサンゼルス総領事館 日本貿易振興機構 (JETRO) ロサンゼルス事務所 日本政府観光局 (JNTO) ロサンゼルス事務所	2011.07.01 ~ 2011.07.04	2011年で20回目を迎える「アニメ・エキスポ」において、在ロサンゼルス総領事館等と共同でブースを出展。来場者に対し日本語や伝統日本文化に触れる機会を提供するとともに、観光や産業情報等各種情報提供を実施

海外拠点

メキシコ日本文化センター

合計額 28,145,554 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本映画上映「大島渚監督特集」	メキシコ	メキシコ国立シネマテーク	メキシコ国立シネマテーク	2011.05.10 ～ 2011.06.15	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品を中心とした、大島渚映画作品の特集上映。東日本大震災発生の当日に開幕したが、3日間上映したところで中止としていたものの再実施。メキシコ国立シネマテークとの共催事業
2	メキシコ市友好文化フェアへの参加	メキシコ	レフォルマ大通り路上	メキシコ市	2011.05.14 ～ 2011.05.29	メキシコ市政府が各国大使館や文化交流機関に呼びかけて実施される国際フェアへのテント出展。世界62カ国が参加。メキシコ市長の呼びかけにより、「SOS日本」と名付けられた特設テントも設けられ、義援金募金が行われた。国際交流基金メキシコ日本文化センターは、折り紙、書道、ふろしきラッピング、墨絵などのワークショップを実施
3	和太鼓公演(ベラクルス日本文化週間)	ベラクルス	ベラクルス芸術文化院	ベラクルス芸術文化院	2011.07.18	ベラクルス州にて実施される日本文化週間の開会式典の一環として、和太鼓公演を実施。小林なほこほかを招へい
4	日本映画上映 篠田正浩監督作品特集	メキシコ	メキシコ国立シネマテーク	メキシコ国立シネマテーク	2011.09.13 ～ 2011.09.25	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品を中心とした、篠田正浩映画作品の特集上映。メキシコ国立シネマテークとの共催事業
5	日本「食」レクチャー・デモンストレーション	サン・ペドロ・スラ テグシガルパ	アラブ文化センター インターコンチネンタル・ホテル	在ホンジュラス大使館	2011.11.04 ～ 2011.11.09	日本の食文化に関するレクチャーとデモンストレーション。「すし」をテーマにしたメキシコ在住日本人専門家による講演・実演と試食。寿司の起源、日本での発展とその多様性の紹介、寿司提供店の形態及び海外での発展などに関する講演。棒寿司、箱寿司、稲荷寿司、握り寿司、伝統巻き寿司及びカリフォルニア風巻き寿司の調理実演

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
6	INJERTO 2011 言葉の星座（移動ドキュメンタリー映画祭2011）	アンブランテ（移動ドキュメンタリー映画祭）事務局	2011.04.01 ～ 2011.05.06	「移動ドキュメンタリー映画祭2011」のセクションの1つ「INJERTO（移植）」は、実験的映画を専門に取り上げる部門。日本の実験映像作家、伊藤高志の8作品をメキシコ国内12都市で上映するほか、上映都市の一つであるオアハカに同氏を招へいし、講演を実施。同氏の渡航費を助成
7	遠藤公義舞踊ワークショップ	トラテロルコ大学文化センター芸術家団体 メキシコ国立自治大学	2011.04.11 ～ 2011.04.15	ドイツに本拠を置きつつ世界各国で活動している日本人舞踏家遠藤公義（ただし）による5日間、30時間の舞踏ワークショップ。ワークショップには、主にプロのダンサーが参加。通訳を交えず、英語にて実施。ワークショップ後、メキシコ国立ダンス学校講堂にて、同氏のソロ公演「生きる」を実施。同氏の滞在費を助成

海外拠点

8	「ユートピアとディストピアの間で」展	メキシコ国立自治大学付属現代美術館	2011.06.30 ~ 2011.11.27	タイ人キュレーターLaeb Gridthiya Gaweewongによる「ユートピアとディストピアの間で」展への助成。日本、バングラデシュ、インド、ネパール、タイ、ベトナム、インドネシアといったアジア各国の作家との協働の中に「ユートピアとディストピアの間」の概念化された空間を見出そうとする企画。日本から小沢 剛を招へいし <i>Vegetable Weapons</i> を制作、展示、上映。同氏渡航費を助成
9	「幻想組曲」の制作・展示(はぎのみほ)	グアナファト市中央劇場 グアナファト市立文化センター グアナファト大学付属文化局アートギャラリー部 ポリバンテ・ギャラリー	2011.08.15 ~ 2011.09.20	フェリペ・エレンバーグ(メキシコ人美術家)の視覚楽譜(指示)をもとに、はぎのみほ(メキシコ在住の日本人アーティスト)が独自の解釈を加えて制作したアクション、及び作品群。グアナファト市の高齢者、炭坑の村の子供たちを対象に、地元の若いアーティスト達がワークショップを開催し、写真、映像にて記録。更に同記録をもとに、ロベルト・モラレス(音楽家/グアナファト大学教授)が即興演奏を実施。すべての作品と記録、即興演奏を楽譜に起こした五線譜はグアナファト大学のギャラリーに展示。舞台技術料、展示品運搬、滞在費を助成
10	第6回 メキシコ・ショート・ショート・フィルム・フェスティバル	メキシコ・ショート・ショート・フィルム・フェスティバル メキシコ国立シネマテーク	2011.09.01 ~ 2011.09.09	2006年から続くメキシコにおけるショート・ショート・フィルム・フェスティバルの6回目。メキシコにおける短編映画の振興とともに、6月に東京で開催された東京ショート・ショート・フィルム・フェスティバルにて上映された日本、アジア、その他の国々の最新短編映画の上映を目的とするもの。上映技術料と日本のショートフィルムの上映権料を助成
11	ルイス・バラガン邸 ガイドブック日本語版作成	バラガン基金	2011.11.01 ~ 2012.03.31	ルイス・バラガンは20世紀メキシコを代表する建築家。ルイス・バラガンの邸宅と仕事場は世界遺産で、訪れる外国人の大半が日本人という「両国建築交流の最先端」となっている。バラガン基金への助成によりガイドブック日本語版を作成し、建築分野における日本とメキシコとの交流を後押しする
12	南バハカリフォルニア州企業セミナー	文化芸術審議会	2011.12.09 ~ 2011.12.18	南バハカリフォルニア州の地元企業を対象とした、日本の経営理念とそれを支える文化的風土についてのセミナーとイベント。地元NPOが主催する参加無料の事業で、連邦経済相、同文化芸術審議会や開催各都市の文化局が助成。参加者交通費、滞在費、事業広報費を助成
13	「Unión de...」	ルイス・バラガン美術館	2012.03.01 ~ 2012.03.31	マルチアーティスト平川典俊(ひらかわのりとし)による、スペースと人間のハーモニーをテーマとした、写真とコンテンポラリーダンスによるイベント。メキシコ人のモデルや衣装を使った新しい作品を、メキシコの代表的建築家故ルイス・バラガンの邸宅美術館の中で表現することで、同氏とのコラボレーションを試みる。パフォーマンスで使用する額の作成費を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
14	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 1,663名 (2) レファレンス数 834件 (3) 貸出点数 7,312点</p> <p>2. 情報発信への取組み メキシコ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ニュースレター発行部数 1,500部（スペイン語） (2) ホームページアクセス件数 251,562件</p>

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	陶芸専門家アーティストインレジデンス	サンパウロ	クーニャ市	クーニャ市陶芸協会	2011.04.01 ~ 2011.05.30	日系・非日系の陶芸家が多く所在し、陶芸の町として知られるクーニャ市において、日本人陶芸家の請願敏之によるアーティスト・イン・レジデンスを通じた創作活動及び現地陶芸家との交流を実施。5月29日の「陶芸の日」に合わせ実施される陶芸フェスティバルで、製作した作品を展示。更に、在伯公館等からの要請に基づき、各地での講演・ワークショップも開催
2	紙芝居読み聞かせ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2011.04.01 ~ 2011.10.01	日本に古くからある紙芝居の読み聞かせを通じて、日本の民話や昔話を紹介。毎月1回、日本人・ブラジル人ボランティアによる日本語とポルトガル語の読み聞かせを各2回ずつ（計4回）実施。また、近隣小学校からの要請に応じ出張紙芝居も実施
3	Gambare Japao	サンパウロ	ガゼタ劇場(Teatro Gazeta)	Teatro Gazeta ブラジル赤十字社等	2011.04.17	2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援のため、チャリティー公演を実施するTeatro Gazetaに対し、広報やアーティストとの調整等の支援を実施
4	Pecha Kucha Night (ぺちやくちャナイト)	サンパウロ	SENAC (国立商業学習サービス) ラバシピアン	SENAC, Grupo elefante	2011.05.28	若手デザイナー、クリエイターの交流や関係構築の場として、2003年に東京で始まった「ぺちやくちャナイト」の8回目。参加者は各自20枚のスライドを持ち、テーマに沿ってプレゼンテーションを実施。今回は東日本大震災の支援を目指し、「インスパイア・ジャパン」をテーマに開催
5	日本映画上映会「リベルダージ地区単館4映画館へのオマージュ」	サンパウロ	SESC (商業連盟社会サービス) ピニェイロス	SESC (商業連盟社会サービス) ピニェイロス	2011.06.02 ~ 2011.07.17	1960~80年代にサンパウロ市リベルダージ地区日本人街にて日本映画の上映活動をしていた4映画館 (Cine Joia, Cine Niteroi, Cine Nippon, Cine Tokio) へのオマージュ。当時の上映作品ポスター及びインタビュー・ビデオのインスタレーション展示。オープニングイベントとして、講演、揮毫及び邦楽公演を実施
6	アニメーション映画上映会	サンパウロ	サンパウロ大学映画館	サンパウロ大学映画館	2011.07.04 ~ 2011.07.29	サンパウロ大学映画館 (CINUSP) で一般向けに実施される日本のアニメーション映画の特別上映会。主要配給会社とのタイアップにより、『AKIRA』『Animatrix』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』『千と千尋の神隠し』『エヴァンゲリオン』『時をかける少女』『Tekkon-Kinkreet』など日本の高度成長期から今日に至るまでの代表作11作品を上映
7	紙芝居読み聞かせ (パラチ国際文学祭)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	パラチ国際文学祭	2011.07.06 ~ 2011.07.10	南米最大規模の国際文学祭であるパラチ国際文学祭で実施される児童向けイベントで、日本に古くからある紙芝居『一寸法師』等の読み聞かせを通じて、日本の民話や昔話を紹介

海外拠点

8	陶芸作品展覧会	パラティール	ダルシル工房	ダルシル工房 パラチ国際文学際	2011.07.07 ~ 2011.07.24	日本人陶芸家の請閑敏之、サンパウロ市在住日系陶芸家のキミ・ニイ、パラチ市在住ブラジル人陶芸家のダルシル・ハミロによる陶芸作品の合同展示会。バックグラウンドの異なる各アーティストの作品をコントラストさせて展示することにより、それぞれの特徴を浮かび上がらせる企画
9	舞踏レクチャー・デモンストレーション、ワークショップ	サンパウロ	サラ・クリザンテンポ		2011.07.12 ~ 2011.07.13	日本人舞踏家の桂勘と京都在住の若手アメリカ人舞踏家及びブラジル在住の舞踏家2名の計4名による舞踏・コンテンポラリーダンス公演。併せて、戦後日本の前衛芸術運動としての舞踏に関するビデオレクチャー並びに少人数制の舞踏ワークショップを実施
10	第14回ジャパンフェスティバル（東京ファッションフェスタ/ブース出展）	サンパウロ	イミグランテス展示センター SENAC（国立商業学習サービス）ラパファウスト	在サンパウロ総領事館 Madame Killer JBC出版社 SENAC（国立商業学習サービス）ラパファウスト	2011.07.15 ~ 2011.07.17	ブラジル日本都道府県人会連合会が主催する複合的日本紹介イベント「ジャパンフェスティバル」で、在サンパウロ総領事館と共同でブースを出展し、和食の写真パネルや食品サンプルを展示。イベントスペースでは「東京ファッションフェスタ」（ファッションショー）を実施し、日本の若者ファッションを紹介。併せて、ファッション講演会も別途実施
11	short short stories	サンパウロ	サラ・クリザンテンポ		2011.08.27	クリチバ現代音楽ビエンナーレに招待されている、日本人ピアニストの山本純子とフランス人チェリストのセリーヌ・パピオンによる演奏会。日本人アーティスト等の映像作品に合わせた映像と音楽を調和させた演奏会を実施
12	日本映画上映会・山田洋次監督特集	サンパウロ	ブラジル・シネマテカ	ブラジル・シネマテカ	2011.09.13 ~ 2011.09.25	2011年9月13日で生誕80周年を迎える山田洋次の作品特集。国際交流基金海外フィルムライブラリーから『男はつらいよ』（1969年）、『たそがれ清兵衛』（2002年）、『母べえ』（2008年）など幅広い年代の12作品を上映
13	日本文学セミナー	サンパウロ	マリオデアンドラーデ図書館	マリオデアンドラーデ図書館 サンパウロ市文化局	2011.09.24	日本文学のパノラマとポルトガル語への翻訳出版について紹介することを目的としたセミナー。内容は、「日本文学の概観」「ブラジル・ポルトガル語への翻訳」「ブラジルにおける出版」。併せて、サンパウロ大学教授や翻訳家、ジャーナリストによる講演に加え、一般参加者との討論会を実施。更に、セミナーのイベントとして日本の紙芝居を紹介
14	講演会「日本庭園の魅力」	サンタマリア ポルトアレグレ	サンタマリア連邦大学 ウニヒッテル大学	在ポルトアレグレ出張駐在館事務所	2011.09.29 ~ 2011.09.30	大学講師で建築家のサルキス・カルロスチアンによる「日本の庭園」（日本庭園の魅力）についての講演会。同氏が文部省留学生時代に、研究対象の京都の庭園を建築家の視点で撮影した400枚に及ぶ写真と解説を交えての日本庭園紹介
15	日本食パネル展示会	クイアバ	サントス・ドゥモン広場	クイアバ市日系協会	2011.09.30 ~ 2011.10.02	クイアバ市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の日本食パネルの展示会を実施

海外拠点

16	空手デモンストレーション	ブラジル	レナート・ルッソ文化会館	在ブラジル大使館	2011. 10. 04	ブラジル日本文化月間において、ブラジル在住の元世界チャンピオンを含む有名極真空手家6名による演舞等のデモンストレーションを実施。模範武芸を披露することで日本武道を紹介
17	茶道具展示及び茶道デモンストレーション	サンパウロ	在サンパウロ総領事公邸	在サンパウロ総領事公邸	2011. 10. 07	在サンパウロ総領事館に新しく届いた茶道具のお披露目と、ブラジル裏千家による茶道デモンストレーションを、サンパウロの各国総領事館等の要人やサンパウロ州知事及びサンパウロ市長等を対象に実施。サンパウロ日本文化センター所蔵の茶道具も併せて展示
18	アニメーション映画祭	サンベルナルド・ド・カンポ	エリス・レジーナ劇場	ゲーテ・インスティテュート サンベルナルド・ド・カンポ市文化局	2011. 10. 07 ~ 2011. 10. 21	サンベルナルド・ド・カンポ市文化局主催イベント「Animacao nao e so para Crianca」（子供も大人もアニメーション）の一環としてサンパウロ日本文化センターフィルムライブラリー所蔵作品から『雲のむこう約束の場所』を上映
19	アニメパネル展示会	マナウス	西部アマゾン日伯協会	在マナウス総領事館 西部アマゾン日伯協会 アマゾン高拓会	2011. 10. 25 ~ 2011. 11. 13	高拓生（日本高等拓殖学校卒業生）入植80周年を記念し、マナウス市で実施される日本文化週間に合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の、日本の代表的なアニメ作品を紹介したパネルの展示会を実施
20	浮世絵パネル展示会	ボツカツ	ボツカツ市現代美術館	ボツカツ市現代美術館	2011. 10. 28 ~ 2011. 10. 30	ボツカツ市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の浮世絵パネルの展示会を実施
21	講演会「ブラジルにおける日本のポップカルチャー」	ポルトアレグレ	リオ・グランデ・ド・スルブックフェア開催会場	在ポルトアレグレ出張駐在館事務所 リオ・グランデ・ド・スル州書籍協会	2011. 11. 03	日本のポップカルチャーに詳しいSonia Bibe Luyten（プレジデnte・アントニオ・カルロス大学教授）による講演会。インターネットなどを通じて海外に発信されている日本のポップカルチャーについて、ブラジルにおける広まりや若者への影響について講演
22	内田吐夢監督特集講演会	サンパウロ	ブラジル・シネマテカ(CINEMATECA)	ブラジル・シネマテカ(CINEMATECA)	2011. 11. 23	内田吐夢監督作品特集を実施するにあたり、オープニング作品『人生劇場飛車角と吉良常』を上映後、ブラジルで著名な映画監督でもあり、演出家でもあるカルロス・ヘイシェンバッハによる、内田吐夢監督作品の特徴や当時の日本の時代背景、日本映画の作風や技法がブラジル映画に与えた影響等に関する講演会を実施
23	にほんのうた、ブラジルのうた	サンパウロ	サンパウロ美術館大ホール	サンパウロ大学音楽学科 サンパウロ美術館	2011. 12. 11	サンパウロ大学リベロンプレット校音楽学科の講師や教授等によって構成される楽団『メンテマヌーケ・アンサンブル』（Ensemble Mentemanuque）による日本、ブラジルの歌の公演。『さくら、さくら』、『赤とんぼ』、『荒城の月』、『椰子の実』など日本を代表する歌を紹介し、両国の音楽交流を図る

海外拠点

24	日本映画上映会 「クラシック映画 特集」	サンパウロ	ブラジル・シネマ テカ	ブラジル・シネマ テカ	2012. 01. 11 ～ 2012. 02. 26	日本の代表的な映画監督5人の作品を上映。上映作品は『山椒大夫』（監督：溝口健二/大映/1954）、『赤い殺意』（監督：今村昌平/日活/1964）、『腹切』（監督：小林正樹/松竹/1962）、『ソナチネ』（監督：北野武/松竹/1993）、『静かなる決闘』（監督：黒澤明/角川大映/1945）
25	沖縄琉球国太鼓公 演	ベロオリゾンテ	EXPOMINASコンベン ションホール	ベロオリゾンテ日 本祭り実行委員会 在リオデジャネイ ロ総領事館	2012. 02. 04	ベロオリゾンテ市で開催される日本祭りにおいて、沖縄琉球国太鼓ブラジル支部グループの35名の奏者によるエイサー和太鼓演奏を実施
26	震災復興写真展	サンパウロ	パンデイランチス 宮（サンパウロ州 政庁）	サンパウロ州政府 フジフィルム・ ド・ブラジル 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 02 ～ 2012. 03. 18	東日本大震災当時の被災状況から復興に向けた歩みの様子を写した写真展。サンパウロでは震災から1年を迎える2012年3月を日伯友好連帯月間と称し、各種事業を実施。本写真展はそのオープニングイベントとして、サンパウロ州政府協力のもとサンパウロ州政庁内で開催。期間中、月曜日を除き、毎時ガイド付観覧を実施
27	日本文化紹介書籍 調達・配布	ブラジル全域		かまくら春秋社	2012. 03. 11 ～ 2012. 03. 31	対日関心を高めるとともに、総合的な対日理解を効果的に促進するため、日本の地理、気候、産業等各分野についてポルトガル語で分かりやすく紹介した書籍を350冊調達し、日本語講座を有する初等・中等・高等教育機関や公立図書館等に設置
28	日本食レクチャー・ デモンストレー ションー東北の郷 土料理紹介ー	サンパウロ	SENACアクリマソン （アクリマソン商 業職業訓練セン ター） ブルーツリーホテ ル 在サンパウロ総領 事公邸	SENAC大学 ブラジル日本文化 福祉教会和食普及 委員会 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 12 ～ 2012. 03. 16	仙台在住の蕎麦職人を招へいし、蕎麦を中心とした日本食及び東北地方の郷土料理を、蕎麦打ち等の実演及び試食会を通じて紹介。また、日本料理の味わい方や作法に関するレクチャーも実施
29	日本の元気発信事 業DVD上映会	サンパウロ	ブラジル日本文化 福祉協会小講堂	ブラジル日本文化 福祉協会 在サンパウロ総領 事館	2012. 03. 17 ～ 2012. 03. 24	震災をテーマとした映画『ロック～わんこの島～』（中江功監督/2011年制作）、東日本大震災被災地が舞台となった映画『カルテット!』（三村順一監督/2011年制作）、及び東日本大震災をテーマとしたNHKドキュメンタリー作品『東北夏祭り～鎮魂と絆と～』『ガレキの中からの再出航 漁業の町で復興へと舵を切る若者たち・岩手県大船渡』計4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

30	和太鼓及びブラジル打楽器公演	サンパウロ	ガゼタ劇場	サンパウロ州教育局 在サンパウロ総領事館	2012. 03. 18	サンパウロ在住の和太鼓グループ（木下節夫主宰）及びブラジル打楽器のゲスト奏者による公演。ブラジルのカーニバルでも有名なサンバに見られる打楽器・パーカッションの演奏に、迫力ある和太鼓の演奏を加えることにより、ダイナミックな音楽の融合を見出すとともに、伝統音楽・民謡公演などにとどまらない和太鼓の可能性を紹介
31	折り紙ワークショップ	ベレン	パラ州立タンクレド・ネベス文化財団	パラ州文化局 パラ州立タンクレド・ネベス文化財団 在ベレン総領事館	2012. 03. 19	招へいする折り紙講師が、難易度の高い作品の実演を行うと共に、参加者に対するワークショップを開催
32	天野喜孝作品展示・講演会	サンパウロ	レイ・カネカ・コンベンションセンター アニエンビ・モルンビ大学	JBC出版社 アニエンビ・モルンビ大学 タンボル社	2012. 03. 28 ~ 2012. 04. 02	ソニー、任天堂、コナミ、ハドソンなど日本のゲーム関連企業が出展している「EXPO GAMEWORLD」に参加し、天野喜孝による日本のキャラクターデザインについての講演会を実施するとともに同氏の作品を展示。併せて、ゲームデザイン学科を持つアニエンビ・モルンビ大学において、学生を対象に講演会を実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
33	ワールド・コスプレ・サミット2011	JBC出版社	2011. 07. 17	毎年世界各国からコスプレイヤーが集い愛知県で決勝大会が実施される、ワールドコスプレサミットの地方予選である、ブラジル全国大会への運営資金を一部助成するほか、広報協力も実施。更に、審査員としても参加
34	第8回メルコスール・ビエンナーレ	メルコスール・ビジュアル・アート・ビエンナーレ財団	2011. 09. 10 ~ 2011. 11. 15	第8回メルコスール・ビエンナーレ-Ensaio de Geopoetica（ジオポエティックの実験）-はメルコスール（南米南部共同市場）の国々の協力により、34カ国から107名のアーティストが参加した南米芸術祭。同芸術祭において日本の現代アーティストの作品紹介及び日本と各国の芸術交流を目的とし、日本の招待アーティストである柳幸典の作品輸送費を助成
35	日系文芸賞	ブラジル日本文化福祉協会	2011. 11. 12	ブラジル・サンパウロの主要日系団体の一つであるブラジル日本文化福祉協会が主催する日系文芸賞の運営諸経費を一部助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
36	カトリック大学、サン・マルコス大学との意見交換	リマ	カトリック大学 サン・マルコス大学 日秘文化会館	カトリック大学 サン・マルコス大学 日秘文化会館	2011.06.15 ～ 2011.06.17	在ペルー大使館からの要請により、現在アジア研究修士コース設立に向け準備中の私立カトリック大学及び東洋研究所の設立に向け活動中の国立サン・マルコス大学に、森幸一(サンパウロ大学日本文化研究所所長)を派遣し、修士課程立ち上げ等に関する意見交換を実施。併せて、ブラジルにおける日本食文化をテーマに一般対象の講演会を実施
37	講演会「世界史における近代日本」	サンパウロ ブラジリア	ラテンアメリカ・メモリアル ブラジリア大学 (生物学研究所講堂)	ラテンアメリカ・メモリアル ブラジリア大学	2011.09.27 ～ 2011.09.30	国際関係分野における日本研究の活性化及び対日理解促進の一助とするため、ブラジリア大学及びラテンアメリカ・メモリアル(サンパウロ)において北岡伸一(東京大学教授)による、「世界史における近代日本」をテーマとした講演・パネルディスカッションを実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
38	ブラジル日本研究会運営経費支援	ブラジル日本研究会	2011.04.01 ～ 2011.09.30	ブラジル内外における日本研究の振興を目的として、ブラジル日本研究会のWEBサイト・リニューアルを支援する。これにより、ブラジル国内における日本研究の情報がいち早く閲覧可能になるほか、同学会が実施する学術イベントの議事録なども効果的に発行が可能。内外の日本研究機関との情報共有を活性化させる
39	サンパウロ大学日本文化研究所図書館蔵書目録カタログ化事業	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属日本文化研究所	2011.04.01 ～ 2012.03.31	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部附属日本文化研究所図書館の蔵書カタログ化を行い、大学中央図書館のオンライン蔵書検索システムにデータ・インプットを実施。同研究所図書館が所蔵する蔵書へのアクセシビリティを改善
40	第3回セアラ州立大学日伯集会	セアラ州立大学	2011.05.05 ～ 2011.05.06	2011年5月3日から5月6日までセアラ州立大学で実施される第3回ブラジル日本集会(テーマは「日本語専攻講座の設立に向けて」)に、サンパウロ大学及びリオデジャネイロ連邦大学の日本研究者(言語学)を派遣して、講義及びディベートを実施
41	日本研究図書出版助成	Annablume Comunicacao出版社	2011.06.01 ～ 2012.03.31	「日本のイメージ」をテーマとして、複数の日本研究者が各自の研究分野の視点から共同執筆する共著への出版助成。記号学・身体芸術を専門とするクリスチーネ・グライナー(サンパウロ・カトリック大学教授)による編著

海外拠点

42	漫画・ポップカルチャー研究発表会	アラゴアス連邦大学 ペルナンブコ連邦大学	2011.07.29 ～ 2011.07.31	ペルナンブコ連邦大学のコンヴェンションセンターにて毎年実施されるポップカルチャーイベント「スーパー・ヒーロー・コン」のプログラムの一つとして、ブラジル各地のJ-pop研究者達が、漫画、アニメ、オタク、コスプレなどを主題とした研究成果を発表。J-popファン層に対し、同テーマに関する学術研究に触れる機会を提供するとともに、各発表者間のネットワーク構築にも寄与。研究者の旅費を助成
43	サンパウロ大学客員教授巡回講演	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 リオデジャネイロ連邦大学 パラナ連邦大学 ブラジリア大学	2011.08.24 ～ 2011.09.06	安室知（神奈川大学准教授／サンパウロ大学客員教授）の専門である日本の民俗学に関する講演を、正規日本語講座を持つブラジル国内各地の大学で実施。講演テーマは「水田稲作文化と自然観」。専門家の旅費、宿泊費、通訳経費等を助成
44	神奈川大学日本常民文化研究所公開セミナー	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 ブラジル日本文化協会	2011.09.08	サンパウロ大学日本文化研究所との共同研究の予備調査のため来伯した神奈川大学日本常民文化研究所の佐野賢治ほか3名と、安室知（神奈川大学准教授／サンパウロ大学客員教授）の計5名による公開セミナー。民俗学的視点から、日本の常民（普通の日本人）の生活や営みを考察し、「日本とは何か」を問いかける。広報経費や会場借料に対し助成
45	若手研究者発表会	ブラジル日本研究学会 サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所	2011.09.28 ～ 2011.09.29	ブラジルの大学院修士・博士課程講座を終了して間もない若手研究者による研究発表会。特にサンパウロ市外の遠方の大学に在籍する若手研究者に研究発表とネットワーク構築の場を提供することにより、日本研究の裾野を広げる事業。サンパウロ日本文化センターは発表者の旅費・滞在費を助成
46	サンパウロ大学日本文化研究所マルチメディア教室開設記念連続セミナー	サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所	2011.11.10 ～ 2011.12.15	日本政府「草の根文化無償資金協力」（プロジェクト名：「サンパウロ大学日本文化研究所日本語学習機材整備計画」）の助成を受けて完成したサンパウロ大学哲学・文学・人間科学部付属日本文化館のマルチメディア教室の開設記念事業として日本の研究者による連続セミナーを実施。通訳経費及び広報印刷物作成経費を助成。講演者は上川通夫（愛知県立大学教授）、丹野清人（首都大学東京准教授）
47	講演会「日本芸術を読む：空間、表象および媒介」	サンパウロ連邦大学 サンパウロ大学哲学文学人間科学部付属日本文化研究所 サンパウロ美術館	2011.11.17 ～ 2011.11.20	日本の芸術学を専門とする佐藤守弘（京都精華大学デザイン学部准教授）による講演会。更に、橋本マダレーナ（サンパウロ大学教授）及び岡野道子（サンパウロ連邦大学助教授）による発表も併せて実施

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
48	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 13,050名 (2) レファレンス数 146件 (3) 貸出点数 24,998点</p> <p>2. 情報発信への取組み サンパウロ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) ホームページアクセス件数 309,706件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
49	出版記念会『日本庭園』	Livraria Cultura Shopping Villa Lobos	2011. 04. 26	2010年にサンパウロ日本文化センターが出版助成した『日本庭園』の出版記念会への広報協力。本記念会では、同書の著者であるブラジル人建築家サルキス・カロースチアンによる記念講演を実施
50	日本研究図書出版記念会	Anablume出版社	2011. 04. 26	2010年に当センターが助成し、Anablume出版社より出版された『日本のイメージ』（クリスチーネ・グライナー他共著）と、別途同社よりポルトガル語に翻訳出版された『Bodies of Memory』（五十嵐義邦・著）の合同出版記念会への広報協力
51	第23回箏曲演奏会	ブラジル箏曲宮城会	2011. 06. 05	ブラジル箏曲宮城会創立30周年記念公演及び東日本大震災支援チャリティー公演として実施された箏曲演奏会に対し、後援名義付与及び広報協力を実施
52	国際漫画プレ大会	クリチバ市文化財団 ジビテカ クリチバ市 在クリチバ総領事館	2011. 07. 15 ~ 2011. 07. 17	2012年に大規模な国際漫画大会がクリチバにおいて実施されるにあたり、プレ大会を実施。クリチバ市と在クリチバ総領事館の共催で市内3カ所にて漫画ワークショップ、展示会等を開催。サンパウロ日本文化センターは所蔵のアニメパネルを在クリチバ総領事館に供与

海外拠点

53	第4回イーリャ・グランジ日本文化祭り	バナナウ宿泊所協会 アングラ・ドス・レイス観光協会	2011.07.22 ～ 2011.07.24	リオデジャネイロ州のイーリャグランジで毎年開催されている日本文化祭りに、所有する浮世絵展の展示パネルを貸出。同祭りでは3日間に渡って、空手や古武道の実演、琉球国祭り太鼓、箏・尺八・三味線などの和楽器演奏、書道・墨絵や切り紙・漫画のワークショップなど様々な日本文化を紹介
54	善のスキヤキ	アトリエ・ヒデコ・ホンマ	2011.07.23	「善のスキヤキ」は、事業発案者であるサンパウロ在住の陶芸家、ヒデコ・ホンマとその生徒が制作した器に、当地有名シェフによるスキヤキが盛り込まれ提供される、福祉団体への支援を目的としたチャリティ夕食会（器は持ち帰り可能）。サンパウロ日本文化センターは活動の趣旨に賛同し、広報協力を行うほか、参加者に対して日本文化への理解を深めてもらうため、ヨサコイ・ソーランの実演を実施
55	第9回ブラジル・ヨサコイ・ソーラン祭	クニト・ミヤサカ財団 ラジオ・バンザイ	2011.07.31	サンパウロで2003年から毎年実施されているヨサコイ・ソーラン祭への後援名義付与及び広報協力。同祭にはブラジル全国から参加があり、コンクール形式で実施され、表現力や創造性などが競われる。サンパウロ日本文化センターからも職員が審査員として参加。また、同祭は入場無料であるが、社会貢献の一環として、来客は入場の際に2キログラムの保存食（米など）を寄付し、集まった保存食は慈善団体に寄付される
56	第22回マリンガ日伯文化祭	マリンガ文化体育協会	2011.09.03 ～ 2011.09.11	パラナ州マリンガ市のマリンガ文化体育協会主催の日伯文化祭に対する後援名義付与
57	第2回和紙絵展	Kei Espaco de Arte	2011.09.24 ～ 2011.09.25	14人の作家の貼り絵（和紙）の展覧会。サンパウロ日本文化センターは後援名義付与及び広報協力を実施
58	「ゲスト・スピーカーを迎えて」	日伯文化連盟	2011.10.01	サンパウロにおいて日本語講座を実施している日伯文化連盟による講演会。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
59	講演会「経済大国になりつつあるブラジルに対する投資の好機」	日伯文化連盟	2011.10.01	サンパウロにおいて日本語講座を実施している日伯文化連盟による講演会。日伯文化連盟日本語コースのうち上級・中級（最終コース）に所属する学習者向けに、元バーレ・ド・リオ・ドーセ極東地区社長のエリアス・アンツォネスが講演。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
60	第5回文協大総合美術展	ブラジル日本文化福祉協会	2011.10.08 ～ 2011.10.16	サンパウロで2007年から毎年実施されている文協大総合美術展への後援名義付与。様々な美術作品を広く募り、日系社会における芸術家の育成に寄与するもの
61	水墨画展「笹川春艸」－Sumie da artista japonesa Shunso Sasagawa	ブラジル新潟県人会 Grafica Mil Folhas ブラジル日本文化福祉協会	2011.10.19 ～ 2011.10.23	日本において文部科学大臣賞や外務大臣賞など数々の賞を受賞している笹川春艸（水墨画家）による展覧会。サンパウロ日本文化センターは広報協力を実施
62	日伯シンポジウム2011	ブラジル日本研究者協会	2011.10.23 ～ 2011.10.26	ブラジル日本研究者協会（SBPN）が主催する日伯シンポジウムへの広報協力。同シンポジウムでは、同協会東京支部長の竹中平蔵（慶応大学教授）等が講演するほか、西陽子による箏のコンサートも実施

海外拠点

63	第4回サントス日本文化祭	サントス日本人協会	2011. 11. 05 ～ 2011. 11. 06	サントス市で開催される日本文化祭りに合わせ、サンパウロ日本文化センター所蔵の世界遺産パネルの展覧会を実施するとともに後援名義を付与
64	3.11復興支援コンサート	サンパウロ大学 パウリスタ州立大学 カンピナス州立大学	2011. 11. 13	東日本大震災からの復興を目的としたチャリティーコンサートに対する後援名義付与。サンパウロ大学、パウリスタ州立大学、カンピナス州立大学の三大学に在籍する音楽学生及びプロの演奏家により構成された特別オーケストラによる演奏会を実施
65	ブラジルを知る会 総会	ブラジルを知る会	2011. 11. 18	「ブラジルを知る会」（ブラジル在住の女性達が、ブラジルの歴史や文化を勉強する会）の総会の実施。サンパウロ日本文化センターは施設を提供
66	クールジャパン海外展開事業ブラジルプロジェクト「CONNECT JAPAN」	クールジャパン・プロジェクト・ブラジル運営事務局	2012. 02. 28	デザイン性を高めた日本の魅力ある地域産品（食器、インテリア雑貨など）の展示会。経済産業省平成23年度クール・ジャパン戦略推進事業（海外展開支援プロジェクト）採用事業。サンパウロ日本文化センターは、後援名義付与及び広報協力を実施

海外拠点

ロンドン日本文化センター

合計額 153,735,034 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	英国内日本映画上映に関する情報提供		英国内各地		2011.04.01 ~ 2012.03.31	平成22年度に構築した海外日本映画祭用WEBサイトの保守・運営を行い、必要に応じて改修を行う
2	想田和弘アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.06.10 ~ 2011.06.11	シェフィールドドキュメンタリー映画祭で新作『Peace』がプレミア上映される想田和弘を招へいし、同氏の映画制作手法や作品のアイデアなどに関するアーティストトークを実施。過去の作品『選挙』『精神』の他、新作『Peace』のクリップも用いて、ドキュメンタリー映画監督としての軌跡を広く紹介
3	高嶺格アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.06.20	近年、舞台芸術、映画、音楽という各分野で講座シリーズを行ってきたが、2011年は今まで紹介できなかった現代美術に焦点をあて、英国及び日本から専門家を招へいし、英国の美術専門家や一般向けにセミナー等を実施。第1回目は、国内外で活躍する現代美術作家の高嶺格を招へいし、作品とアーティストとしての活動や思想に関するトークイベントを実施。同氏の画像を用いてのプレゼンテーションの後に、ダムタイプ研究が専門のFran Lloyd (キングストン大学教授) との対談を加え、同氏の活動を掘り下げて紹介
4	石上純也アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Barbican Centre	2011.06.28	国際交流基金本部助成による、ロンドン日本文化センターでの展覧会 <i>Junya Ishigami: Architecture as Air</i> とタイアップした講演会を開催
5	大森克巳アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.08.16	日本人写真家大森克巳の個展に合わせ、同氏の活動や作品を広く紹介するアーティストトークを実施。スライドを用いた作品紹介の他、ロンドンのヴィクトリア・アンド・アルバート博物館の写真部長Martin Barnesならびに大森克巳展のキュレーター、中原紗代子を交えて、写真におけるドキュメンタリーの問題や日本の写真の傾向などについて討論
6	Art Weapons: 小沢剛アーティストトーク	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.09.20	美術館やギャラリーの枠組みを越えて、日本内外で作品を発表する美術作家小沢剛のアーティストトークを実施。同氏本人による画像を用いた作品紹介のプレゼンテーションの他、パリ大学の教授で日本の現代美術展評を執筆するエイドリアン・ファーベル (Adrian Favell) との対談を通して、同氏の作家としての立ち位置や現代美術の新しい潮流となっているリレーショナル・アートの問題などを検討

海外拠点

7	Bye Bye Kitty!!! Beyond kitsch, Kawaii and otaku in Japanese Contemporary Art	ロンドン	Chelsea College of Art and Design, Banqueting Hall	TrAIN Research centre Chelsea College of Art and Design	2011. 10. 17	森美術館元館長であり、現在フリーランスアートコンサルタントとして世界で活躍するデービッド・エリオット (David Elliott) が、自身が企画したニューヨークでの日本の現代美術展「Bye Bye Kitty!!!」展の内容をもとに、日本のカワイイ文化とは趣を異にする日本の現代美術について検証。パリ大学の教授で日本の現代美術展評を執筆するエイドリアン・ファーベル (Adrian Favell) とも対談
8	A Message from Tohoku 上田聡に よるランチタイム トークと展覧会	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 21 ~ 2011. 11. 22	東日本大震災で甚大なる被害を受けた地区の一つ、陸前高田出身の写真家上田聡のランチタイムトークと震災後の写真展示を実施。被災者の声を伝えると同時に東北復興に向けての取り組みと被災者の不屈の姿勢を紹介
9	Getting Lost 『迷 子になるわ』英語 台本のプレイリー ディング+関連劇 作家トーク	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 24	日本の現代演劇界で活躍する若手劇作家/演出家の前田司郎作『迷子になるわ』を、英国の若手演出家ベッキー・ミルズ (Beckie Mills) の演出ならびに英国人俳優を起用してのプレイディングの形で紹介。リーディング後には、同氏との質疑応答を実施。併せて前日に、関連事業として同氏の活動を紹介する劇作家トークを、英国の演劇専門家William Drewとの対談形式にて実施
10	Creating New from Old: Reviving the Design and Techniques used in the Maki-e Laquer at Kodai- ji Temple (高台 寺蒔絵復元調度事 業に関する講演 会)	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 11. 29	蒔絵技術とデザイン研究をもとに復元された高台寺蒔絵屏風がヴィクトリア・アンド・アルバート博物館で展示されるのに合わせ、蒔絵の歴史と海外に与えた影響ならびに今回の復元研究の成果を紹介する講演会を実施。講師は、下出祐太郎 (高台寺蒔絵技術等保存伝承会代表理事) 他
11	Japan: Kingdom of Character (相原博 之による日本の キャラクターにつ いての講演会)	ロンドン	ロンドン日本文化 センター		2011. 12. 02	2月4日から英国ノーリッチ市の美術館Sainsbury Centre for Visual Arts (セインズブリーセンター・フォー・ビジュアルアーツ) で開催される巡回展「キャラクター天国、日本」のオープニングを前に、日本社会とキャラクターの関係を検証する講演会を実施。講師は、同展のアドバイザーを務めた相原博之 (キャラクター研究所代表取締役)
12	Art, Performance and Activism	ロンドン	ロンドン日本文化 センター	キングストン大学	2012. 01. 27	美術やパフォーマンスといったジャンルの領域を超え、文化的アイデンティティや社会問題をテーマに創造活動を行う二名の芸術家、嶋田美子と琴仙姫 (クム・ソニ) を招へいし、活動紹介を行うと同時に、女性と芸術活動の関わりについて意見交換の場を設ける。二名の作家に加え、フラン・ロイド (キングストン大学教授) とレベッカ・ジェニソン (京都精華大学教授) も討論に参加

海外拠点

13	日本文化紹介のための無料映画上映会 (A Season of Contemporary Japanese Film 2012)	グラスゴー	The Gilmorehill Centre (グラスゴー大学内)	Japan Desk Scotland	2012. 02. 03 ~ 2012. 02. 24	地方都市グラスゴー大学のホールにて、欧州フィルムライブラリーの16mm作品の中から劇映画と文化映画を各4点ずつ選出し無料上映。上映作品は『Hotel Hibiscus』『Penguins in the Sky』等
14	Masayuki Suo in conversation (周防正行監督トーク)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 09	平成23年度主催映画巡回上映事業を前に『Shall We Dance?』で当地でも評価の高い映画監督、周防正行の監督としてのキャリアならびに映画制作に対する姿勢を紹介するトークを実施。ジャスパー・シャープ (日本映画専門家) とこれまでの作品紹介の他、映画オリジナル作品を制作する意味や難しさ等について対談
15	Katsumi Sakaguchi in conversation (坂口香津美監督トーク)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 13	平成23年度主催映画巡回上映会実施期間中に、坂口香津美の監督としてのキャリアや映画制作に対する姿勢を紹介するトークを実施。ドキュメンタリー制作とフィクションの劇映画制作の違いのほか、シネマオリジナル作品を制作する意味などについてトークを展開
16	Japan/Design	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 03. 07	近現代デザイン史の第一人者である柏木博 (武蔵野美術大学教授) が、日本のデザインの特質について、「カワイイ」「シンプル」などいくつかの項目に分類し、その歴史と文化的背景とともに解説。後半には、英国のデザイン研究者 Sarah Teasley とのミニ対談も実施
17	震災とアートに関するセミナー (震災報道写真展、虎舞実演)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アジアハウス クロスカルチャー	2012. 03. 07 ~ 2012. 03. 18	南畠宏 (女子美術大学教授) による、東日本大震災後のアーティストの対応についての講演会。被災地の写真やアーティストの作品画像を紹介しながら、同氏の見解を交えて解説。講演では、チェルノブイリ災害後の欧州のアーティストの対応も比較検証の例として取り上げた。更に関連事業として、アジアハウスにて実施された日経新聞社の震災報道写真の展覧会を共催事業として実施。同氏の講演後には、大槌町から招へいされた虎舞グループの実演も行い、震災関連事業として震災後の日本について幅広い観点から紹介 【東日本大震災復興支援事業】
18	Too Kawaii- The Power of the Super Cute (日本のカワイイ文化についてのシンポジウム)	ノリッジ	Sainsbury Centre for Visual Arts	Sainsbury Centre for Visual Arts SISJAC	2012. 03. 09	2012年2月4日から開催されている国際交流基金巡回展「キャラクター大国ニッポン」の関連事業として、南畠宏 (女子美術大学教授) 及び柏木博 (武蔵野美術大学教授) を招へいし、英国の日本文化専門家数名とともに日本の「かわいい」文化のコンセプトについて、ミニシンポジウムを実施

海外拠点

19	Ismene/Underground 『イスマネ』と 『地下鉄』英語台 本のプレイリー ディング+関連 トーク/パネルディ スカッション	ロンドン	ロンドン日本文化 センター	一座	2012.03.20 ~ 2012.03.21	60年代のアンダーグラウンド演劇の急先鋒であった劇作家佐藤信による『イスマネ』と『地下鉄』の英語版台本のリーディングを、英国の演出家Beckie Millsならびに英国人俳優を起用して実施。翌日には同氏によるトークと、日英の演劇専門家をパネリストに迎えた60年代演劇を考えるミニディスカッションの会を開催
----	--	------	------------------	----	-------------------------	--

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
20	日英アーティストのコラボレーションによる青森プロジェクト(Aomori Project - Of Landscapes Remembered)	Chapter Arts Centre	2011.04.08 ~ 2011.04.21	英国人ダンサー／振付家、ショーネッド・ヒューズと日本の現代舞踊家、木村玲奈や青森の音楽家、長谷川裕二等によるコラボレーション作品を、カーディフ、ロンドンなど英国3都市で発表。公演の演目は、ショーネッド・ヒューズが約3年にわたり青森に滞在し、ダンサー、伝統芸能、また地域の人々との交流の中から生まれた意欲的な作品となった。日本からの招へいアーティスト、木村玲奈の謝金の一部を助成
21	高嶺格個展(Tadasu Takamine)	Ikon Gallery	2011.05.04 ~ 2011.07.17	さまざまなジャンルで活躍する日本人作家、高嶺格を招へいし、これまでに制作されたビデオ作品5作品を個展の形で紹介。高嶺格の謝金の一部を助成
22	東アジア諸国映画祭(Terracotta Festival 2011)	Terracotta Festival	2011.05.05 ~ 2011.05.08	中国、韓国、日本など東アジア諸国の最新映画を集めて上映する年次映画祭Terracotta Festivalにて、『ヘル・ドライバー』、『Karate Girl』等4作品を上映。また『Karate Girl』の主演女優、武田梨奈と『Yakuza Weapon』の監督、坂口拓を招へいし、上映後のトークセッションも合わせて実施。両名の滞在費の一部を助成
23	想田和弘作品上映<シェフィールドドキュメンタリー映画祭>(UK Premiere of 'Peace' by Kazuhiro Soda at Sheffield International Documentary Festival)	Sheffield International Documentary Festival Ltd	2011.06.08 ~ 2011.06.12	ドキュメンタリー映像作家の想田和弘の新作『Peace』を、ドキュメンタリー映画を専門とする映画祭、シェフィールドドキュメンタリー映画祭にて上映。更に同監督への質疑応答も実施。ロンドン日本文化センターは同氏の航空運賃の一部を助成
24	招へい：岩崎貴宏(Constellations)	Cornerhouse	2011.06.25 ~ 2011.09.11	マンチェスターのアーツセンター、コーナーハウスで実施されたグループ展に、日本の現代美術作家岩崎貴宏が招へいされ、作品を発表。岩崎貴宏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成
25	小曽根真&トミー・スミス ジャズコンサート(Japan and Scotland Jazz Concert)	Japan Society of Scotland	2011.07.16	日本を代表するジャズピアニストの小曽根真及び、スコットランドを代表する国立スコットランド・ジャズ・オーケストラのリーダー兼サクソ・プレイヤーのトミー・スミスが共演するジャズコンサートを実施。小曽根真の謝金の一部を助成
26	小野悦郎&木村俊介公演(Shunsuke Kimura & Etsuro Ono WOMAD Performance and workshop)	Mu:Arts	2011.07.30 ~ 2011.07.31	英国で毎年開催される著名な野外音楽フェスティバルで、津軽三味線演奏家の小野悦郎及び木村俊介のデュオが公演を実施。両名の航空運賃の一部を助成

海外拠点

27	招へい：粉川哲夫(Full of Noise Festival (FON) 2011)	Octopus Collective LTD	2011.08.01 ~ 2011.08.06	英国北西部の港町、バロー・イン・ファーネスで毎年行われる「音」をテーマとする芸術フェスティバルに、日本から粉川哲夫が招へいされ、1週間のレジデント期間に作品を制作、発表。更に地元アーティストなどに、トランスミッターに関わる制作指導を実施。同氏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成
28	大森克巳展示会(Katsumi Omori: Everything happens for the first time)	198 Contemporary Arts and Learning	2011.08.19 ~ 2011.09.02	日本人写真家の大森克巳が過去10年にわたり撮影した日本各地の桜の風景写真を、ロンドンのギャラリーにて展示。同氏の航空運賃の一部を助成
29	『ハルシオン・デイズ』英語版上映 (Production of Shoji Kokami's Halcyon Days)	W-Squared Productions LLP	2011.08.22 ~ 2011.09.18	劇作家鴻上尚史作の『ハルシオン・デイズ』の英語版を、同氏の演出にて英国人俳優を起用し、ロンドンの劇場で上演。同氏の航空運賃の一部を助成
30	東日本大震災復興支援展覧会(Wa' - Japan Cultural Exchange)	Slack Space	2011.08.24 ~ 2011.09.10	日本人カメラマン馬場龍一郎が撮影した、東日本大震災の被災住民のポートレートや、復興支援のロゴが入ったポスターなどを展示し、震災からの復旧の様子を紹介。更に、ミニジャパンデーを開催。ロンドン日本文化センターは、ポスターや写真パネル作成費及び日本からの輸送費の一部を助成
31	荒川医&Sergi Tcherepnin共同制作 (Be a speaker. So be it...)	The Showroom	2011.09.03 ~ 2011.09.17	日本の現代美術作家、荒川医が、サイト・スペシフィックなサウンドワークを、ニューヨーク在住の作家Sergi Tcherepnin との共同で制作、発表。同氏の渡航費ならびに滞在費の一部を助成
32	招へい：小沢剛(Nasubi Gallery by Tsuyoshi Ozawa, for the group exhibiton Museum Show)	アルノルフィーニ (Arnolfini)	2011.09.24 ~ 2011.11.20	ブリストルのアートセンターアルノルフィーニで実施された美術館と美術の関係をテーマとした企画展 (グループ展) に小沢剛が出品作家として招へいされ、「なすび画廊」を展示。同氏の航空券の一部を助成
33	安積朋子&クワハタ・アキコ作品展示 (Women Work in Wood -WOWOWO)	Walford Mill Education Trust	2011.09.24 ~ 2011.12.20	女性デザイナーの活動を紹介した企画展に、英国在住の安積朋子、デンマーク在住のクワハタ・アキコの作品が選出され、出展。ロンドン日本文化センターは、両名の作品の輸送費の一部を助成
34	東北&英国アーティストグループ展 (Tohoku - Scotland)	TACT (Tohoku Art and Community Trust)	2011.10.17 ~ 2011.10.26	東日本大震災で被災した東北地方のアーティスト20名と英国のアーティスト10名を招へいし、ポストカードサイズの作品をグループ展の形でエジンバラで紹介。カタログの制作費の一部を助成
35	招へい：菱川勢一 (Onedotzero_adventures in motion 2011)	onedotzero	2011.11.23 ~ 2011.11.27	デジタル映像作品の紹介を専門とする年次映画祭にて、日本のデジタル最新動画作品を「J-STAR」という特別プログラム枠で紹介。併せて、映画祭に日本人クリエイターの代表として菱川勢一を招へいし、作品上映時に質疑応答を実施。同氏の航空運賃ならびに宿泊費の一部を助成

海外拠点

36	招へい：後藤英(Cymatics (Watermans International Festival of Digital Art 2012))	Watermans Arts Centre	2012.01.07 ~ 2012.02.19	ロンドンのアートセンター、ウォーターマン・アートセンターで開催されたデジタル芸術祭の第一弾として、フランス在住のデジタル映像作家、後藤英を招へいし個展を開催。同氏は、ロンドンのゴールドスミスカレッジの学生に対するワークショップなど教育事業も実施。同氏の宿泊費ならびに日当の一部を助成
37	山城千佳子他グループ展(Art, Performance and Activism)	Kingston University	2012.01.20 ~ 2012.02.26	嶋田美子や山城千佳子など、社会に対して強力なメッセージ性を持つ作品を制作し、ダムタイプの系統に連なると考えられる日本人アーティストの作品を、ロンドンのパンプハウスギャラリーにてグループ展の形で紹介。山城千佳子の航空券の一部を助成
38	『The Bee』再演(The Bee)	Soho Theatre Company	2012.01.24 ~ 2012.02.11	2006年にロンドンにて初演され好評を博した、野田秀樹と英国の俳優、劇作家との共同制作『The Bee』の再演。野田秀樹の日当の一部を助成
39	東日本大震災復興映画上映会(The Day after the Tsunami: sharing people's stories)	The Day After The Tsunami Committee	2012.03.05 ~ 2012.03.10	東日本大震災1周年を記念して、震災を考え被災者の復興を支援するための映画上映会と関連トークを実施。上映作品は、オスカー賞にノミネートされた『The Tsunami and the Cherry Blossom』他。広報物作成費、上映権料(作品輸送費含む)、講師謝金(旅費含む)、PA機材借用費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流(主催)】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	日本研究フェローによる講演会 Consumer Ethics in Japan: the morality of grocery industry managers by Dr Sigmund Wagner-Tsukamoto	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.05.05	国際交流基金元フェローを招へいしての講演会シリーズの平成23年度1回目(通算4回目)。Wagner-Tsukamoto(レスター大学)を講師に迎え、「日本における企業行動・倫理と消費者倫理に関する分析」をテーマに開催。ディスカッサントは、Chris Cowton(ハダーズフィールド大学教授)。分析対象や課題について有意義なディスカッション及び質疑応答が展開された
41	「デフレ」の正体と震災後日本の針路	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.05.17	藻谷浩介(日本政策投資銀行地域振興グループ参事役/東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員)が、日本を見舞う長期(少子高齢化)、中短期(震災)の2つの試練の影響を解説。かかる課題への挑戦と克服が国を超えての普遍性を持つことも論じ、日本経済社会の現状理解と経済社会政策論の知的交流に資する。ディスカッサントはジャネット・ハンター(ロンドンスクールオブエコノミクス教授)
42	英国における日系企業のCSR活動に関するワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Links Japan	2011.07.01 ~ 2012.03.31	英国におけるCSR活動調査報告に基づき、文化・教育等公益団体と企業がCSR活動をより活発に、効果的に連携推進するためのワークショップシリーズを開催。全体のコーディネータはPhilida Purvis(Links Japan)、アドバイザーは、下田屋毅(サステナビジョン社社長)

海外拠点

43	日本研究フェローによる講演会 Rewriting Meiji Women's History: The New Woman, Modernity and Hasegawa	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.07.20	国際交流基金元フェローを招へいしての講演会シリーズの5回目。Mara Patessioを講師に迎え、劇作家・小説家であった長谷川時雨の生涯を通して、明治期及び大正期の女性像を再検討。ディスカッサントは、Naoko Shimazu (ロンドン大学バークベックカレッジ教授)
44	What are Japanese people learning from the 3.11 disaster? - A Lecture by Prof. Takehiko Kariya, University of Oxford	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.11.02	教育社会学の専門家である荻谷剛彦 (オックスフォード大学教授) によるレクチャー。震災から半年を経て、日本は震災から何をどのように学びつつあるのか。主に教育現場の復興過程に着目し、日本社会にとっての震災の意味を考察
45	COP 17 and Beyond: Japan-UK and Global Action for Addressing Climate Change	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.11.11	南アフリカダーバンにて開催されるCOP17 (締約国会議) に向けて、日英ひいては国際的枠組をいかに交渉すべきかに関する非公開型の専門家討論会を実施。日本人専門家による一般公開の講演会も実施。COP16実施時の日本の態度や今後の目標等について英国市民に正確な情報提供を実施
46	Challenges for energy sustainability and innovation in Japan after Fukushima - in search of the best energy policy mix	ロンドン	インペリアルカレッジロンドン レクチャーシアター	インペリアルカレッジロンドン	2011.11.22	福島原発事故以降の原子力の使用及びエネルギー政策に関する日英専門家のエネルギー政策セミナー。チェアパーソンは、ロバート・グロス (インペリアルカレッジロンドン)。スピーカーは、有馬純 (JETROロンドン)、マルコム・グリムストーン (チャタムハウス)、マイケル・リーブリッヒ (ブルームバーグ)
47	Tengu: The Shamanic and Esoteric origins of the Japanese Martial Arts by Roald Knutsen	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.12.06	長年日本のマーシャルアーツを研究してきたRoald Knutsen 著『Tengu』の出版記念トーク。ディスカッサント及び刀剣の説明をClive Sinclairが担当。弟子によるパフォーマンスも実施
48	Post-Graduateワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター	英国日本研究協会	2012.01.12	比較的経験の浅い若手日本研究者を対象にしたノウハウ提供ワークショップ。英国日本研究協会とともに開催。基調講演者として北田暁大 (東京大学准教授)、Chris Hughes (ウォーリック大学教授/英国日本研究協会会長)、その他シェフィールド大学から研究者を招へい。若手研究者のネットワーク及び博士課程後のキャリア形成に至るまで幅広く意見交換を行う機会を提供

海外拠点

49	Video Games in Japan: Past, Present and Future	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2012. 02. 21 ~ 2012. 02. 22	日本のゲーム文化に関する会議。ゲーム産業やアーカイブ化の現状及び今後の見通しについて議論。ゲームアーカイブのスピーカーは馬場章（東京大学教授）、ディスカッサントはJames Newman（ポーツマス大学教授）。ゲーム産業のスピーカーは馬場章（東京大学教授）及び遠藤琢磨（株式会社ACQUIRE社長）、ディスカッサントはSteve Boxer（フリーランスジャーナリスト）
50	Literature & Disaster in Japan: Reflections from History and the Present Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ロンドン大学アジア・アフリカ研究所 (SOAS)	2012. 03. 13	震災が文学に与える影響をテーマとした会議。スピーカーはステイブン・ドッド（ロンドン大学SOAS博士）、大本泉（仙台白百合女子大学教授）及び黒瀬珂瀾（歌人）。ステイブン・ドッド及び大本泉が関東大震災と文化への影響に関する発表を行い、黒瀬珂瀾は大震災以降の歌人の動向、発表された和歌とその受容について発表

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	日本研究者旅費支援プログラム (Hayo Krombach)	ロンドンスクールオブエコノミクス	2011. 03. 24 ~ 2011. 06. 22	Hayo Krombach（ロンドンスクールオブエコノミクス研究員）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: Epistemological Approaches to the Experience of Selfhood and World Reality in the Kyoto School of Philosophy
52	日本研究・知的交流事業助成プログラム Discover Japanese Studies CD Project	英国日本研究協会	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	中等教育向け日本研究紹介プロジェクトのうち、特に頒布用DVD製作 (Discover Japanese Studies CD Project) に対する支援
53	日本研究者旅費支援プログラム (Jeremy Bidgood)	ロンドン大学ロイヤルホロウェイカレッジ	2011. 08. 01 ~ 2011. 08. 15	Jeremy Bidgood（ロンドン大学ロイヤルホロウェイカレッジ博士課程）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: A practice led investigation into contemporary uses of Japanese Bunraku and other ningyo forms
54	日本研究者旅費支援プログラム (Angela Perri)	ダーラム大学	2011. 10. 01 ~ 2011. 12. 13	Angela Perri（ダーラム大学博士課程）の訪日研究に対する旅費助成。研究タイトル: Jomon Dog Burials: Exploring Hunting Adaptations and Early Holocene Climate Change
55	日本研究・知的交流事業助成プログラム Global Asia and the Environment 2010-11	ロンドン大学パークベックカレッジ	2011. 11. 24	アジア史の視点から「環境」について検討する研究会に対する支援。公害問題等を含む発表を行うブレット・ウォーカー（モンタナ州立大学教授）を招へいする費用の一部を助成
56	日本研究・知的交流事業助成プログラム Rekishi to Wakai: War Memory, War History and Reconciliation - the Experiences of Japan, China, Korea and the UK	Links Japan	2011. 11. 24 ~ 2011. 11. 25	戦後の和解問題に関し、日英間のみではなく、中国・韓国の専門家を含む研究者・実務家が集って議論を行う研究会議に対する助成。参加者の旅費の一部に対する支援

海外拠点

57	日本研究・知的交流事業助成プログラム Major 'Booms' and Minor Trends in Modern Religious Practices: A Workshop in Honour of Ian Reader	マンチェスター大学	2012. 02. 27 ~ 2012. 02. 28	日本宗教の研究者であるイアン・リーダー（マンチェスター大学教授）の退官記念ワークショップ。クラーク・チルソン（ピッツバーク大学准教授）、ウィラ・タナベ（ハワイ大学講師）、イアン・アストリー（エディンバラ大学上級講師）等の研究者が参加。ロンドン日本文化センターは、英国内交通費等の一部を助成
58	日本研究・知的交流事業助成プログラム The Thirty-Six Immortals of Waka: A Symposium in honour of Dr. Phillip Harries	オックスフォード大学	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 17	三十六歌仙を題材とした展覧会に合わせ、同様の題材をテーマとする学術会議を開催。スピーカーとして、鈴木淳（国文学研究資料館）、白根治夫（コロンビア大学）、Clare Pollard（アシュモレアン博物館）、Gian-Piero Persiani（オックスフォード大学）等を招へい。招へい専門家の国際航空賃等の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
59	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 1,224名 (2) レファレンス数 698件 (3) 貸出点数 1,250点 2. 情報発信への取組み ロンドン日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) メールマガジン配信数 54,861件 (2) ホームページアクセス件数 178,863件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
60	Taste Japan! Help Tohoku!	酒サムライ教会	2011. 06. 17	東日本大震災復興支援のチャリティイベント。日本食・日本酒の試飲を通して寄付を募る活動に対して、会場を提供
61	Guilt, Nostalgia, and Victimhood: Korea in the Japanese Theatrical Imagination (Carol Sogenfrei)	Asia Performing Arts Forum	2011. 12. 01	UCLA所属の日本の現代演劇の専門家が、画像を用いながら、在日韓国人や日本と韓国との関係を描いた劇作家を取り上げ、その描き方と時代性について検証。同事業に対し、会場を提供

海外拠点

62	Japanese Embroidery Exhibition by Shizuka Kusano	エディンバラ総領事館 エディンバラ市	2011.05.20 ～ 2011.05.21	エディンバラ総領事館及びエディンバラ市が主催する草乃しずかの刺繍作品展示に対する後援名義の付与
63	Hyper Japan 2011	Cross Media Ltd	2011.06.22 ～ 2011.06.24	日本のポップカルチャー及び食を中心に総合的に日本文化を紹介するイベントに対する後援名義の付与
64	Yet I Still Dare to Hope写真展	Tohoku Earthquake Relief Project London and Seven Beach Aid	2011.06.22 ～ 2011.09.18	写真を中心として東日本大震災被災地の様子を伝える企画に対する後援名義の付与。6月22日～24日（ハイパージャパン内）、9月18日（ジャパン祭り内）で実施
65	Okinawa Day 2011	英国沖縄県人会 ロンドン沖縄三線会	2011.06.25	沖縄音楽の演奏、エイサー演舞等、多面的に沖縄を紹介するイベントに対する後援名義の付与
66	Japan Matsuri 2011	日本クラブ 英国日本人会 ジャパン・ソサエティ 在英日本商工会議所	2011.09.18	本年度3回目となる日本文化を紹介する大規模イベント。日本食の屋台や、日本舞踊、和太鼓、のど自慢大会等のパフォーマンスを実施。同事業に対して、後援名義を付与
67	Hyper Japan 2012 Spring	Cross Media Ltd	2012.02.24 ～ 2012.02.26	日本のポップカルチャー及び食を中心に総合的に日本文化を紹介するイベントに対する後援名義の付与

【その他】

	事業名	都市	場所名	期間	事業内容
68	芸術事業視察・調査	英国内都市各地	英国内各地	2011.04.01 ～ 2012.03.31	国際交流基金主催・共催事業、助成事業の視察のほか、将来的な事業案件形成に必要な視察（出張）及び会議を実施
69	日本研究・知的交流情報交流（出張、WEBサイト運営、会議開催・参加等）	英国内都市各地	英国内各地	2011.04.01 ～ 2012.03.31	「英国日本研究機関調査」のWEBサイトの立ち上げ、運営を実施。併せて、国別方針及び新規事業発掘に関する情報収集を目的とした出張や会議開催を実施し、外部団体企画事業に参加

マドリード日本文化センター

合計額 51,048,599 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	定期映画会	マドリード	アテネオ	アテネオ	2011.04.01 ~ 2012.03.01	現地映画祭主催団体の協力のもと、スペインまたは欧州諸国の配給会社が所蔵するプリント（DVD・スペイン語字幕つきのもの）及び本部フィルムライブラリーの作品から、毎月2回、定期上映会を実施。上映作品は、『ナイン・ソウルズ』（Toshiaki Toyoda, 2003）、『仁義なき戦い』（Kinji Fukasaku, 1973）、『千年女優』（Satoshi Kon, 2001）等
2	定期映画会中南米巡回	パナマ	サンティアゴ・アロセメナ師範学校 多目的教室 ショッピングセンターマルチプラザ内「サンボーンズ」 国立図書館多目的サロン	在パナマ共和国大使館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	中南米スペイン語圏の公館からの要望に応え、定期映画会で使用した本部フィルムライブラリー作品を公館所在地において上映。上映作品は、『Go!』（Isao Yukisada, 2001）、『山椒大夫』（Kenji Mizoguchi, 1954）等
3	五味太郎ワークショップ	バルセロナ	Mon Llibreフェスティバル会場内		2011.04.03 ~ 2011.04.10	バルセロナ市主催の「Mon Llibre(本の世界)児童文芸フェスティバル」において五味太郎を招へいし、子供向けのワークショップを開催。25メートルもの長さの大きな紙に参加者が自由に絵を描き展示
4	マドリードABCミュージアムにおける「侍の眼差し—黒澤明スケッチ展」	マドリード	ABC美術館アロンディガ・ビルバオ		2011.04.07 ~ 2011.06.12	黒澤明が映画製作資金獲得のため、スポンサーにプレゼンテーションした際に描いた絵コンテ120点を展示
5	「怪獣映画と日本文化」シンポジウム	バルセロナ	カイシャ・フォーラム		2011.04.13 ~ 2011.05.31	カイシャ・フォーラム財団バルセロナと共催でディノサウルスを原型にした日本の怪獣映画『ゴジラ』を中心に、「怪獣映画と日本文化」と題したシンポジウムを開催
6	SHANTI公演	マドリード アビレス リスボン	シルクロ・デ・ベジャス・アルテス ニューマイヤー文化センター リスボン東洋美術館	シルクロ・デ・ベジャス・アルテス ニューマイヤー文化センター リスボン東洋美術館	2011.05.01 ~ 2011.06.01	マドリードを代表する音楽・演劇の祭典であるフェスティバル・デ・オトーニョに参加。ニュージャズの旗手であり、NHKなどのメディアでも活躍する新進歌手SHANTIのコンサートをマドリード、アビレス、リスボンの3都市において実施

海外拠点

7	能装束展示会及び講演会	アリカンテ パルマ・デ・マ リョルカ バレンシア	アリカンテ大学 バレアレス大学 バレンシア市付 属ガレリアトサル	アリカンテ大学 バレアレス大学 バレンシア市付 属ガレリアトサル	2011.05.09 ~ 2011.05.16	文武両道の精神を開花させた武家の教養・美意識と、その美意識が体现された能楽について紹介するための展示会及び講演会の実施。「能装束と日本の美学」というテーマで、山口明（山口能装束研究所所長）が講演
8	PHOTO ESPANA	マドリード バルセロナ	マドリード日本文化センター カサ・アジア (Casa Asia)	カサ・アジア Photo Espana	2011.05.30 ~ 2011.06.05	マドリードにおいて毎年開催される大型写真フェスティバルPHOTO ESPANAに、南條史生(森美術館館長)、笠原美智子(東京都写真美術館企画課長)を招へい。また、同氏がキュレーターとなった巡回展「Out of the Ordinary/Extraordinary」を受け入れたことのあるカサアジアにおいても講演会を実施
9	バーチャル・バンブー・スクール	マドリード	カサ・アジア (ウェブサイト)	カサ・アジア	2011.06.01 ~ 2012.03.31	カサ・アジアが実施する青少年向けアジア文化理解ワークショップ「バンブー・スクール」のためのリソースを、ウェブ上に公開し、各地の初等・中等学校の教師が自身でアジア文化理解ワークショップを実施できる環境を整備
10	デル・スル映画祭への参加	グラナダ	イサベル・ラ・カトリカ劇場	デル・スル映画祭	2011.06.02 ~ 2011.06.10	グラナダ市で開催される第5回デル・スル映画祭に共催参加し、小林政広（映画監督）を招へい、同監督の最新作『春との旅』を上映するとともに、同監督の舞台挨拶及びQ&Aセッションを実施
11	Pe'zスペイン公演	バルセロナ バレンシア マドリード ビルバオ アビレス	アジア・フェスティバル会場 レアル広場 バレンシア・ロコ・クラブ マドリード白夜祭会場 アシア・コン・フシオン アロンディガ・ビルバオ ニーマイヤー文化センター	カサ・アジア バレンシア・ロコ・クラブ ホテル・ルームメイト アロンディガ・ビルバオ ニーマイヤー文化センター	2011.09.15 ~ 2011.09.28	マドリード日本文化センターが年間の主要事業の一つとして位置づけているマドリード白夜祭、バルセロナ・アジア・フェスティバルにおいて、日本からジャズインストゥルメンタルバンドのPe'zを招へいし、コンサートを実施。併せて、地方都市においても公演を実施
12	山本薩夫映画特集	サラゴサ マドリード	サラゴサフィルムセンター マドリード芸術サークル	サラゴサフィルムセンター マドリード芸術サークル	2011.10.01 ~ 2011.11.01	マドリード及びサラゴサで開催する山本薩夫映画週間の広報効果を高め、一層多くの集客を得ることを目的として、会場建物外壁バナー及び広報ポスターを作成するほか、映画の理解の一助とするべく各映画の解説を加えたプログラムを作成

海外拠点

13	Asia Geek	マドリード バルセロナ	ヨーロッパ・デザイン学校 バルセロナ高等デザイン・技術学校 (ELISAVA)	カサ・アジア ヨーロッパ・デザイン学校 バルセロナ高等デザイン・技術学校 (ELISAVA) クリック・クラック	2011.10.24 ~ 2011.11.01	カサ・アジアが主催するアジアのビデオ・ゲームやデジタル・デザインを紹介する祭典「Asia Geek」に共催参加
14	映画批評ワークショップ	マドリード	アルカラ31	マドリード自治州文化局	2011.10.25	マドリード自治州文化局が実施する「映画批評ワークショップ」に共催参加し、宮崎駿監督の『崖の上のポニョ』を上映。上映後、スペインの映画批評家2名による批評と会場との意見交換を実施
15	大駱駝艦『壺中天』公演	バルセロナ マドリード	花市場劇場 カナル劇場	マドリードダンスフェスティバル 花市場劇場 カナル劇場	2011.11.02 ~ 2011.11.13	第4回バルセロナBUTOHフェスティバルにおいて、日本を代表する舞踏グループ「大駱駝艦」の舞踏家による公演『壺中天』を行うと共に、マドリード国際ダンスフェスティバルにおいても公演を実施
16	からくり人形実演・講演会	ビルバオ リスボン ポルト マドリード バジャドリッド	Pantzerkiビルバオ人形劇保存修復センター オリエント博物館 ポルト市図書館 マドリード・コンプルテンセ大学 カスティージャ・イ・レオン観光見本市会場	Pantzerkiビルバオ人形劇保存修復センター オリエント博物館 ポルト市図書館 マドリード・コンプルテンセ大学 在スペイン大使館	2011.11.17 ~ 2011.11.29	2011年11月末に開催されるビルバオ人形劇フェスティバルに招へいされる、からくり人形師の半屋春光が、ポルトガルやスペインの他地方において実演・講演会を実施
17	第21回マドリード実験映画祭	マドリード	シネゴレム サラ・ベルランガ	実験映画祭	2011.11.18 ~ 2011.11.25	例年11月にマドリード市において開催される実験映画祭の日本映画特集に共催参加。『イエローキッド』（真利子哲也 2010年）、『春との旅』（小林政広 2011年）等を上映
18	コンテンポラリー・テキスタイル・アート展	マドリード	コンプルテンセ・アート・センター (Museo de Traje 内)	コンプルテンセ大学 World Textile Art (organization)	2011.11.18 ~ 2012.01.08	自然との調和をテーマに、16名の日本人作家の作品で構成されたコンテンポラリー・テキスタイル・アート展 <i>Nature Spirit</i> をマドリードにおいて実施

海外拠点

19	日本酒レクチャー・デモンストレーション	バリャドリッド バルセロナ マドリード	観光見本市Intur会場 レストラン『やしま』 レストラン・ボカード 大使公邸	Agencia Nacional de Impuestos de Japón 在スペイン大使館 トウキョウ屋 サルビオニ&アロマル	2011.11.24 ~ 2011.11.28	日本酒をはじめとする日本の発酵文化を研究している「発酵リンク」主宰の藤田千恵子が、マドリード、バリャドリッド、バルセロナで日本酒についてのレクチャー・デモンストレーションを実施
20	「日本人とキャラクター展」における講演会	マドリード	ABC美術館	ABC美術館	2011.11.30 ~ 2011.12.05	巡回展「日本人とキャラクター」のマドリードにおけるオープニングに合わせて、同展コミッショナーの相原博之を迎え、記者会見、講演会等を実施して同展への関心を高める
21	キャラクター弁当実演・ワークショップ	マドリード	ABC美術館	マドリードABCミュージアム 日本食材店みや	2011.11.30 ~ 2011.12.18	巡回展「日本人とキャラクター」の実施会場において、キャラクター弁当の実演・ワークショップを実施
22	篠田正浩映画特集	バルセロナ マドリード	カタロニア・フィルムセンター マドリード芸術サークル	カタロニア・フィルムセンター マドリード芸術サークル	2012.01.01 ~ 2012.03.31	マドリード及びバルセロナで開催する篠田正浩映画特集の広報効果を高め、一層多くの集客を得ることを目的として、会場建物外壁バナー及び広報ポスターを作成するほか、映画の理解の一助とするべく各映画の解説を加えたプログラムを作成
23	マドリード観光見本市 (FITUR)におけるポップカルチャー紹介	マドリード	IFEMA国際博覧会会場日本ブース	在スペイン大使館	2012.01.18 ~ 2012.01.22	マドリード国際観光見本市 (FITUR)の日本ブースにおいて、コスプレサミットの優勝者によるプレゼンテーションを行うと共に、スペインのアニメ・マンガ専門家による秋葉原や原宿などのオタクカルチャースポットの見所、歩き方についてのレクチャーを実施
24	Proto Anime展における小倉宏昌講演会	バルセロナ	カハ・マドリード・文化スペース	カハ・マドリード	2012.01.25 ~ 2012.03.25	バルセロナで開催される、アニメの背景画と日本の現代都市の影響にフォーカスした展覧会Proto Anime展のオープニングに、同展で紹介される6名の作者の一人 (小倉宏昌) 及び日本のアニメ漫画批評家である氷川竜介を招へいし、オープニング式典、記者会見等に列席してもらうほか、特別講演会を実施
25	ARCO現代アート国際見本市における長谷川祐子講演会	マドリード	マドリード国際見本市会場	ARCO カサ・アジア	2012.02.15 ~ 2012.02.18	世界的に注目されるARCO現代アート国際見本市において、長谷川祐子 (東京都現代美術館チーフキュレーター) による講演会を実施

海外拠点

26	震災関連ドキュメンタリー映画上映会『3.11 日本、復興への道』『日本からの手紙』	バルセロナ マドリード	カサ・アジア マドリード州文化庁	カサ・アジア マドリード州文化庁	2012.03.07 ~ 2012.03.17	東日本大震災が日本の社会に与えたインパクトや被災の経験から見えてきたことをさまざまな監督の視点から検証。困難を乗り越えて復旧・復興、支援活動に取り組む人々の姿を紹介することで、犠牲者への追悼とスペインからの支援への感謝を示す。被災地への連帯を表すための企画として、「第1部：大震災のインパクト」「第2部：復興への取り組み」という2つのテーマに分けてドキュメンタリー映画を上映し、関連する人々によるトークセッションを実施
----	---	----------------	---------------------	---------------------	-------------------------	---

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
27	文化芸術小規模助成	アラゴン=日本協会 美術・武道・コミュニケーションセンター マンガ・アソシエーション（バレンシア） 日本アート・カルチャーセンター 等	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本理解の促進や知日派の育成に資する優良案件に対し小規模助成を実施。本年度は、日本文化週間、合気道セミナー、マンガ・サロン、生け花展示等、計9件の助成を実施

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本研究連続講演会	マドリード	マドリード日本文化センター	スペイン日本研究協会	2011.06.09 ~ 2011.11.15	スペインの日本研究者協会との協力のもと、日本研究者の研究成果の社会還元と次世代研究者の育成、日本研究の一般への認知度向上のため、日本研究講演会を実施。夏の講演として「近代日本の美と伝統」をテーマに全3回の講演を実施（2011年6月9日、15日、22日）。秋には「日本の伝説と御伽噺」と題し、全3回の講演を実施（2011年10月20日、11月3日、15日）
29	日本研究巡回講演会	バジャドリッド バルセロナ マドリード	バジャドリッド大学 バルセロナ自治大学 バルセロナ大学 マドリード自治大学 マドリードコンプレテンセ大学	バジャドリッド大学 バルセロナ自治大学 バルセロナ大学 マドリード自治大学 マドリードコンプレテンセ大学	2012.02.27 ~ 2012.03.02	日本において第1線で活躍する社会科学分野の研究者を招へいし、東アジア研究学士課程を有する大学を中心に各地を巡回講演。佐々木雅幸（大阪市立大学特任教授）が「創造的都市の発展：日本の経験」をテーマに講演。講演回数は全5回（2012年2月27日、28日、29日、3月1日、2日）

海外拠点

30	日本研究講演会中南米巡回	<p>カラカス</p> <p>キト</p> <p>サンティアゴ</p> <p>ブエノス・アイレス</p> <p>ボゴタ</p> <p>ラパス</p> <p>リマ</p>	<p>カラカス市内BOD コーパンカ文化 センター</p> <p>エクアドル国家高 等教育研修所</p> <p>ディエゴ・ポルタ レス大学経済学部 アジア太平洋セン ター</p> <p>カトリカ大学人文 学部哲学科</p> <p>ブエノスアイレス 大学社会博物館大 学</p> <p>国立マンガ・デザ イン学院</p> <p>マロカ科学技術館</p> <p>フィルモテカ・ボ リビア</p> <p>リマ大学</p> <p>インカ・ガルシラ ソ・デ・ラ・ベガ 大学</p> <p>国立工科大学</p> <p>日秘文化会館</p>	中南米地域スペ イン語圏在外公館	2011. 10. 11 ~ 2012. 02. 27	<p>中南米スペイン語圏の公館からの要望に応え、日本研究者の研究成果の社会還元と次世代研究者の育成、日本研究の一般への認知度向上のため、中南米スペイン語圏の公館所在地において日本研究講演会を実施</p> <p>【2011年秋実施】 実施期間：2011年10月11日～18日 講演者：ハビエル・ビジャルバ（元フェロー／現サラマンカ大学客員教員） 講演テーマ：禅に関する講演 実施都市：キト、ブエノス・アイレス、サンティアゴ 講演回数：全4回</p> <p>【2012年冬実施】 実施期間：2012年2月16日～27日 講演者：マルク・ベルナベ（マンガ研究者／翻訳家） 講演テーマ：マンガに関する講演 実施都市：リマ、ボゴタ、ラパス、カラカス 講演回数：全10回</p>
----	--------------	--	---	---------------------	-----------------------------	---

海外拠点

(3) その他の事業 (広報・協力事業等)

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
31	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備える図書館を運営</p> <p>(1) 延べ来館者数 1,065名 (2) レファレンス数 218件 (3) 貸出点数 681点</p> <p>2. 情報発信への取組み マドリード日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施</p> <p>(1) メールマガジン配信数 44,000件 (2) ホームページアクセス件数 140,316件</p>

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
32	第11回サラゴサ大学日本文化週間における日本文化紹介	サラゴサ大学	2012. 03. 27 ~ 2012. 03. 31	サラゴサ大学で開催される日本文化週間に共催参加。第11回目の開催となる本年は、「明治時代(1868-1912)日本と西洋の邂逅」と称し、講演会、ワークショップ、展覧会、映画上映会を実施

ブダペスト日本文化センター

合計額 37,634,026 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	文化交流使 津村禮次郎による能ワークショップ	ブダペスト	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	2011.04.01 ~ 2011.04.07	平成22年度文化庁文化交流使である能楽師・津村禮次郎が、ハンガリーの演劇、身体表現専攻の学生を対象とした能のワークショップ及びその成果発表としての一般公開プレゼンテーションを実施
2	日本映画上映	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館 (Örökmozgó Filmmuseum)	ハンガリー国立フィルムアーカイブ (The Hungarian National Digital Archive and Film Institute)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	欧州フィルムライブラリーの16mmフィルムを用いて、市民向けの定例映画上映会をブダペスト市内の映画館で18回実施。729名が参加。上映作品は、『東京物語』（小津安二郎監督 1953年）、『スウィング・ガールズ』（矢口史靖監督 2004年）、『ハチ公物語』（神山征二郎監督 1987年）等
3	ブダペスト日本文化センター所蔵巡回展示セット巡回展	リュブリャーナ セーチェーニ ブラチスラバ セーケシュフェヘルヴァール ブダペスト ザグレブ	オトン・ジュパンチッチ図書館 (Oton Župančič Library)	オトン・ジュパンチッチ図書館 (Oton Župančič Library)	2011.04.01 ~ 2012.03.31	ブダペスト日本文化センターが所蔵する6種類の展示セット<写真パネル4セット（「日本建築展」「京都展」「日本人の日常生活展」「日本の世界遺産展」）、凧・独楽展、日本人形展>を、希望する外部団体に貸し出し、巡回展を実施

海外拠点

		エニンブ	ティノーディ・ラントシュ・セベスティエン小学校 (The Tinódi Lantos Sebestyén Reformed School)	ティノーディ・ラントシュ・セベスティエン小学校 (The Tinódi Lantos Sebestyén Reformed School)		
4	文化講演会「日本の写真美術」	ブダペスト	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	2011.06.02	東京都写真美術館学芸員で、写真専門家の鈴木佳子を講師に迎え、ハンガリーの一般市民を対象に、日本の写真美術について概説する講演会を実施
5	巡回展『ウィンター・ガーデン』における日本人若手作家招へい	ブダペスト	エルンスト美術館 (Ernst Museum)	ミューチャルノク現代美術館(Múcsarnok)	2011.06.08 ~ 2011.06.15	国際交流基金主催の巡回展『ウィンター・ガーデン』の実施に合わせ、出展作家の一人である八木良太をブダペストに招へい。展覧会オープニングでのトーク、及び同氏によるインスタレーション作品の特別展示を実施
6	「少女マンガ家三人展：星と月と太陽と」及び講演会	ジュール ブダペスト	ジュール市立美術館(Gyor's City Art Museum) ブダペスト日本文化センター(Japan Foundation, Budapest) エトヴェシュ・ロラーンド大学(Eötvös Loránd University)	エトヴェシュ・ロラーンド大学(Eötvös Loránd University)	2011.06.10 ~ 2011.11.15	徳雅美(カリフォルニア州立大学チコ校准教授)の企画による、日本の少女マンガ作家3名の複製原画展を開催。併せて、同准教授が、マンガをテーマとする講演会を1回開催。展示の地方巡回も実施
7	若手現代音楽家による現代音楽公演／サウンドインスタレーション展示	ブダペスト	エルンスト美術館 (Ernst Museum) ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	エルンスト美術館 (Ernst Museum) ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	2011.06.18 ~ 2011.06.25	新進気鋭の日本人若手音楽家で、サウンドインスタレーション等も手がけるKUJUNをブダペストに招へいし、現代美術館においてパフォーマンス(音楽と映像)を実施
8	ハンガリー俳句コンテスト	ブダペスト	エトヴェシュ・ロラーンド大学 (Eötvös Loránd University)	エトヴェシュ・ロラーンド大学 (Eötvös Loránd University)	2011.09.01 ~ 2011.11.30	平成22年度に初めて実施し好評を博した、ハンガリー語による俳句コンテストの2回目を開催。公募、審査を経て、優秀者表彰式を兼ねた講演会を実施
9	文化講演会「日本現代美術の最新の動向」	ブダペスト	ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	ルードヴィグ美術館 (Ludwig Museum)	2011.09.21	ハンガリー最大規模の現代美術館ルードヴィグ美術館の館長で、平成22年度に文化人短期招へいプログラムで訪日したBencsik Barnaba、及び、平成23年度日本研究フェローであるPetranyi Zsolt(ミューチャルノク現代美術館前館長)による講演会を実施

海外拠点

10	東欧巡回映画祭	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館 (Örökmozgó Filmmuseum)	ハンガリー国立フィルムアーカイブ (The Hungarian National Digital Archive and Film Institute)	2011. 11. 16 ~ 2011. 11. 19	国際交流基金フィルムライブラリー所蔵の35mmフィルムを利用して、ハンガリー国立フィルムアーカイブと共催で日本映画7作品を上映。上映作品は『檜山節考』（今村昌平監督 1983年）、『赤いハンカチ』（舛田利雄監督 1964年）等
11	国際共同制作 <i>Laodameia</i> に向けた能楽ワークショップ	ブダペスト	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	メルリン劇場 (Merlin Theatre)	2012. 01. 04 ~ 2012. 01. 11	日本・ハンガリー・英国の能楽師・ダンサー・俳優が集い、ギリシア悲劇 <i>Laodameia</i> を題材とした演劇作品の共同制作に向け、約1週間のワークショップを実施。最終的な成果を関係者に公開
12	田中伸子講演会 「震災後の現代日本演劇」	ブダペスト	ブダペスト市6区文化センター (Eötvös 10)	ブダペスト市6区文化センター (Eötvös 10)	2012. 01. 27	ジャパントイムス紙などに寄稿する演劇批評家の田中伸子による、日本の現代演劇に関する講演会を実施
13	文化講演会「日本建築の美と造形原理」	ブダペスト	ブダペスト工科経済大学 (Budapest University of Technology and Economics) バーリント・ハーズ (Bálint Jewish Community Center) ブダペスト建築センター (FUGA Budapest Center of Architecture)	ブダペスト工科経済大学 (Budapest University of Technology and Economics)	2012. 03. 01 ~ 2012. 03. 02	日本文化紹介派遣プログラムにより派遣された建築専門家の松崎照明を講師に迎え、「日本建築の美と造形原理」と題し、ブダペスト工科経済大学建築学部の協力による学生向け講演会を1回、一般向け講演会を2回実施
14	日本のマンガ教室	ブダペスト	ミューチャルノク現代美術館 (Műcsarnok) バーリント・ハーズ (Bálint Jewish Community Center) ブダペスト日本文化センター (Japan Foundation, Budapest)	京都国際マンガミュージアム (Kyoto International Manga Museum) 京都精華大学 (Kyoto Seika University)	2012. 03. 05 ~ 2012. 03. 09	京都精華大学、京都国際マンガミュージアムと国際交流基金との共催で、「日本のマンガ教室」を開催。マンガ家の竹宮恵子他同大学・ミュージアム関係者による「マンガに関する講演会」、3日間にわたる「マンガの描き方教室」、更にブダペスト日本文化センター派遣専門家による、「マンガを通じて学ぶ日本語講座」という3本立ての事業を実施

海外拠点

15	Ganbatte Nippon! 東日本大震災関連 映画上映(日本の元 気発信事業)	ブダペスト	トルディ映画館 (Toldi Art Cinema)	ブダペストフィル ム(Budapest Film)	2012.03.11	「日本の元気発信事業」と題して、震災から一周年を迎える 3月11日当日、ブダペスト市内の映画館で東日本大震災及び 東北地方に関連する映画の上映会を実施。劇映画2作品 (『春との旅』『カルテット』)、ドキュメンタリー3作品 (『がんばっぺ!フラガール』『ガレキの中からの再出航』 『東北 夏祭り〜鎮魂と絆と〜』)を上映 【東日本大震災復興支援事業】
----	---	-------	----------------------------------	------------------------------	------------	---

【文化芸術交流(助成)】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
16	助成事業「和太鼓コンサート」	ヴォイノヴィチ・フサル・ヴィラ文 化会館 (vojnovich-huszár villa Culture Center)	2011.06.18	ブダペスト市内の文化会館で実施された地元の和太鼓グルー プによるコンサートに対し、謝金及び交通費の一部を助成
17	助成事業「MIZU-VIZ:ハンガリー・日本 のアーティストによる現代美術展」	A38	2011.06.29 ~ 2011.07.19	ドナウ川に浮かぶ船上の複合文化施設「A38」が企画する、 日本人とハンガリー人の現代美術家によるグループ展に対 し、人件費、機材費、広報費の一部を助成
18	助成事業「小津映画に関する研究書翻 訳出版」	Francia új hullám出版社 (Francia új hullám Publisher)	2011.09.01 ~ 2011.12.31	Paul Schrader著の映画評論『Transcendental Style in Film (Ozu/Bresson/Dreyer)』のハンガリー語訳出版に関 し、印刷経費の一部を助成
19	助成事業「ザラエゲルセグ日本の日 における日本の伝統衣装展示」	Players Studio Debrecen Independent Theater	2011.09.09 ~ 2011.09.30	ハンガリー西部の地方都市ザラエゲルセグ市で開催された 「日本の日」における日本の伝統衣装展示に関し、広報宣 伝費及び機材輸送費の一部を助成
20	助成事業「Homma Meridian:アーティ スト本間かおりによる展覧会・ワーク ショップ」	Intercultural Dialogue Foundation	2011.11.02 ~ 2011.11.12	ブダペスト市の非営利文化団体が実施する、ロンドン在住の 日本人現代美術アーティスト・本間かおりによる展覧会・ ワークショップに対し、講師航空賃、会場借料及び技術経 費の一部を助成。また支援の一環として、ブダペスト日本文 化センターで同氏によるアーティストトークを実施
21	助成事業「こととかおり:コンテンポ ラリーダンス公演」	Forte Dance Company	2012.03.08 ~ 2012.03.09	ブダペストで活動するコンテンポラリーダンスのForte Dance Companyが、日本人若手ダンサーとの共同制作で『こ ととかおり』を公演するに際し、通訳経費、広報費の一部を 助成
22	助成事業「International Women's Club 日本の日」	International Women's Club Budapest	2012.03.19	世界各地で社会貢献活動を行っている女性団体International Women's Clubのブダペスト支部が主催する日本文化紹介事 業に対し、謝金と資材費の一部を支援
23	助成事業「福島コダーイ合唱団ブダ ペスト公演」	パトロナ・フンガリエ財団 (Patrona Hungariae Foundation)	2012.03.24 ~ 2012.03.28	福島を拠点に全国的に活動する「福島コダーイ合唱団」のブ ダペスト公演に対し、交通費を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
24	中東欧日本研究博士論文執筆者ワークショップ	ブダペスト	K+K オペラホテル 会議場 (K+K Opera Hotel Conference room)	2012. 02. 20 ~ 2012. 02. 21	中東欧諸国の日本研究機関に、博士課程学生として在籍する若手研究者10名及び日本研究者8名をブダペストに招へい。学生の個別発表とディスカッションから成る1日半のワークショップを実施
25	知的交流フェローOB講演会「日本とフランスの文学比較」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター (Japan Foundation, Budapest)	2012. 03. 30	平成23年度知的交流フェローで、ELTE大学で仏文学の教授を務めるIstvan Cseppentoを講師に迎え、フェローシップの研究テーマである「18世紀の日本とフランス(西欧)の文学比較」について講演を実施

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
26	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1)延べ来館者数 5,157名 (2)レファレンス数 133件 (3)貸出点数 3,824点 2. 情報発信への取組み ブダペスト日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1)ニューズレター発行部数 3,000部（ハンガリー語） (2)ホームページアクセス件数 33,002件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
27	協力事業「渋沢栄一記念財団ブックプロジェクト」	財団法人渋沢栄一記念財団 (The Shibusawa Eiichi Memorial Foundation)	2011. 08. 22 ~ 2011. 08. 23	渋沢栄一記念財団が主催する歴史研究プロジェクトに関し、セミナー室の提供、関係者の講演手配、宿舍手配等の面で協力
28	協力事業「オーストリア文化院における日本人ピアニスト秋山のぶ子コンサート」	オーストリア文化院ブダペスト支部 (Austrian Cultural Forum Budapest)	2012. 02. 23	ウィーン在住の日本人ピアニスト秋山のぶ子のブダペストでのクラシックピアノコンサート（オーストリア文化院主催）に、会場装飾用のいけばなを提供

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	場所名	関連機関名称	期間	事業内容
29	「European Language Cocktail Bar」参加	ブダペスト	グドゥルクラブ (Gödör Klub)	EUNIC Hungary cluster	2011.09.22	EUNIC Hungary cluster（在ハンガリーの欧州各国文化機関のアソシエーション）が主催する、多言語主義への理解を促進するための事業「European Language Cocktail Bar」に参加

海外拠点

モスクワ日本文化センター

合計額 99,225,105 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	写真パネル巡回展	ノヴォロシースク オレンブルク ドミトロフ オムスク チェリャービンスク トムスク イルクーツク エカテリンブルク	ノヴォロシースクホテル オレンブルク国立大学 ドミトロフ市立図書館 ギャラリー「ROBA」 チェリャービンスク美術館 トムスク州立美術館 スカチョフ記念イルクーツク美術館 エカテリンブルク州立博物館	ノヴォロシースクホテル オレンブルク国立大学 ドミトロフ市立図書館 ギャラリー「ROBA」 チェリャービンスク美術館 トムスク州立美術館 スカチョフ記念イルクーツク美術館 エカテリンブルク州立博物館 エカテリンブルク情報文化センター「日本」	2011.04.01 ~ 2012.03.31	写真パネル巡回展「日本の世界遺産展」及び「京都写真展」を実施
2	折り紙講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.06.18	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
3	将棋講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.05.28	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。希望者は、随時参加可能
4	刺し子講座(伝統美術・工芸講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.02 ~ 2011.06.18	アンナ・コスチューヒナを講師に迎え、登録制で、5回コースの刺し子講座を実施。15名をサイトで募集
5	茶道講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.03 ~ 2011.06.23	裏千家、表千家の現地講師に依頼し、各月2回ずつ講座を実施。受講者は登録制とし、参加者の状況を見て、適宜、追加募集する

海外拠点

6	生け花講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.06 ～ 2011.06.22	草月流及び池坊流の現地講師が毎月2回ずつ生け花講座を実施。希望者は随時参加可能
7	日本映画上映会（東洋美術館）：第1四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立東洋美術館 国立中央映画博物館	2011.04.12 ～ 2011.05.31	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。4月12日『パッチギ』（2005年、井筒和幸監督）、4月19日『ロボコン』（2003年、古厩智之監督）、5月10日『リンダ、リンダ、リンダ』（2005年、山下敦弘監督）、5月17日『学校の怪談』（1995年、平山秀幸監督）、5月31日『ウォーターボーイズ』（2001年、矢口史靖監督）を上映
8	日本文化出前講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2011.04.20 ～ 2011.05.21	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。5月11日：茶道（第1950番学校）、5月12日：伝統の遊び（第1753番学校）、5月17日：折り紙（第1652番学校）、5月20日：茶道（第192番学校）、5月21日：伝統の遊び（第648番学校）を実施
9	表千家デモンストレーション・ワークショップ（文化デモンストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.05.17	日本文化紹介（助成）プログラムで採用された花月会（表千家・池坊）の大友和子による茶道のデモンストレーションとワークショップを実施
10	日本の歌講座：第1四半期	モスクワ	第1535番学校 外国文献図書館大ホール		2011.05.23 ～ 2011.05.28	第1535番学校にて、モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみが、一般を対象に、日本の歌講座を毎月各3回実施。継続して通うことを前提に、希望者は随時参加可能。成果を初中等機関の日本語弁論大会などで発表するほか、3月にコンサートも実施
11	子供絵画展（共催小規模文化事業）	モスクワ	ギャラリー「リストック」	ギャラリー「リストック」	2011.05.25 ～ 2011.06.24	昨年度実施した子供絵画コンクールの入賞作品の一部を、ギャラリー「リストック」で学ぶ子供たちの絵画と一緒に展示
12	現代日本映画上映会（大ホール）：第1四半期	モスクワ	外国文献図書館		2011.05.27	月に一度、外国文献図書館の大ホールにて、館内上映可のDVDを上映。5月27日は『いつものように』（1998年、けんもち聡監督）を上映
13	水墨画ワークショップ	モスクワ	全ロシア工芸民芸博物館	全ロシア工芸民芸博物館	2011.06.04	水墨画家の王子江を講師に招へいし、水墨画のワークショップを実施。
14	茶道レクチャー・ワークショップ（文化デモンストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.06.22	日本文化紹介（助成）プログラムで採用された茶道の西川宗篤による、茶道のレクチャー及びデモンストレーションを実施

海外拠点

15	卒業記念合同イベント	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.06.25	各種講座の参加者を対象に、成果の発表会を実施。日本語講座の受講生による日本語スピーチコンテスト、茶道講座の受講生によるお茶会、生け花講座の受講生による生け花デモンストレーションを実施。折り紙・将棋は、終日、参加を受付。更に希望者を対象にカラオケ大会を実施
16	着付け講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.05 ～ 2011.07.14	モスクワ裏千家のアナスタシア・クドリャショーヴァに講師を依頼し、3回シリーズで着付け講座を実施。自由参加制
17	紙芝居（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.07 ～ 2011.08.24	6歳から8歳の児童に、ロシア語にて日本昔話紙芝居を紹介。7月7日には『一寸法師』、7月27日には『かぐや姫』、8月11日『かずことのぼるのひなまつり』、8月24日『鶴の恩返し』の紙芝居を上演。10名の登録制とし、サイトにて希望者を募集
18	子供日本文化体験講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.12 ～ 2011.07.16	9歳から11歳の児童とその両親を対象に、日本文化の体験講座を5回シリーズで実施。登録制（児童10名と両親）とし、サイトで募集。モスクワ日本文化センター職員のアナスタシア・プシュコーワが講師を務め、子供とその保護者を対象に、日本語及び日本文化について、日本の伝統的な遊び等の体験を交えた講座を実施
19	墨絵講座（伝統美術・工芸講座：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.19 ～ 2011.07.23	日本の水墨画コンクールで入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァを講師に迎え、登録制にて5回コースの墨絵講座を実施。サイトにて15名を募集
20	武道入門講座（文化デモンストレーション：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.07.30 ～ 2011.08.27	剣道、弓道、合気道、空手、柔道の各専門家に講師を依頼し、これから武道を始めたい人のための入門講座を実施
21	俳句コンクール		外国文献図書館精円ホール（入賞者授賞式）	俳句愛好家雑誌『ハイクメナ』	2011.08.01 ～ 2011.12.10	俳句愛好家雑誌『ハイクメナ』と共催で、インターネット上で俳句コンクールを実施し、授賞式で入賞作品を発表、その後応募作品を出版
22	小物講座（伝統美術・工芸講座：夏休み企画）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.08.02 ～ 2011.08.06	オリガ・フォミチョヴァを講師に迎え、登録制で5回コースの小物講座を実施。サイトで15名を募集。和の小物、キーホルダー、ブローチ、針刺し、ふるしき、巾着袋を作成
23	夏休み日本映画上映会	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.08.16 ～ 2011.08.20	前年、現代日本映画上映会で上映した館内上映可のDVDをロシア語字幕付きで再上映。8月16日『長州ファイブ』（2006年）、8月17日『いつか読書する日』（2005年）、8月18日『アヒルと鴨のコインロッカー』（2006年）、8月19日『ウィニング・パス』（2004年）、8月20日『遠くの空に消えた』（2007年）を上映

海外拠点

24	折り紙講座：第2、3 四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.03 ～ 2011.12.24	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
25	茶道講座：第2～4 四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.06 ～ 2012.03.25	裏千家、表千家の現地講師に依頼し、各月2回ずつ講座を実施。受講者は登録制とし、各流派各20名、全10回（5カ月間）のコースを実施。表千家は第1、3水曜日、裏千家は第1、3日曜日に実施
26	書道講座：第2、3四 半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.07 ～ 2011.12.07	モスクワ在住の書道講師・石嶋かおりに依頼し、書道講座を実施。昨年度5回コースのうち、中止となった第5回を実施するとともに、登録制で、初心者を対象に、1クラス15名で計2クラス、全10回のコースを実施
27	モスクワ現代美術 館国際展 <i>Impossible community</i> （共催 小規模文化事業）	モスクワ	ロシア芸術アカデ ミー国立現代美術 館	ロシア芸術アカデ ミー国立現代美術 館	2011.09.08 ～ 2011.11.06	ベルリン在住芸術家の島袋道浩が、モスクワ現代美術館で開催される国際展に参加。同氏の出展作品は「ラッキーな日」。モスクワ滞在中に、街頭で物を売っていた一人の老人から全てを買い上げ、同品々を展示
28	生け花講座：第2～ 4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.08 ～ 2012.03.28	登録制とし、草月流、池坊流各流派20名ずつ募集。各5カ月間の10回コースとし、コース終了後に、サイトにて生け花展を実施。草月流は第2、4水曜日、池坊流は第2、3木曜日に実施
29	将棋講座：第2、3四 半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.10 ～ 2011.12.10	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。登録制として、初心者を対象に20名希望者を募集。10月8日、9日に、第3回日本大使杯将棋大会を実施
30	日本の歌講座：第 2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター		2011.09.10 ～ 2011.12.17	モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみに講師を依頼し、一般を対象に、月3回の、1年間コースで日本の歌講座を実施。秋から登録制として20名を募集。コース終了後、6月にコンサートを実施
31	東日本大震災写真 展（文化デモン ストレーション）	モスクワ	モスクワ日本文化 センター	在ロシア大使館	2011.09.16	日本理解講座で名越健郎（拓殖大学名誉教授）が「東日本大震災と大津波」というテーマで講義をするのに併せ、大使館より東日本大震災写真パネルを借り受け、展示
32	海外巡回展出展作 家によるギャラ リートーク&ワー クショップ	モスクワ	国立現代芸術セン ター	国立現代芸術セン ター	2011.09.22 ～ 2011.09.26	海外巡回展「ウインターガーデン」の出展作家・青木陵子が、モスクワでの展覧会開会式に併せて、ギャラリートーク及びワークショップを実施
33	ヒカシュー・モス クワ公演（文化デ モンストレーショ ン）	モスクワ	「ドム」文化セン ター	「ドム」文化セン ター	2011.09.23	巻上公一を中心とするバンド「ヒカシュー」が平成23年度海外公演助成事業で訪露するに際し、現代音楽コンサートを実施

海外拠点

34	巡回展「ウィンター・ガーデン」	モスクワ	国立現代美術センター	国立現代美術センター 在ロシア大使館	2011.09.24 ~ 2011.10.23	1990年代後半から2000年代前半にかけて現れてきた日本の若いアーティスト14組によるドローイング、絵画、映像作品など35点から構成される展覧会。美術評論家の松井みどりが企画し、出展アーティストの共通点として、断片を組み合わせる独自の世界観を表現したり、時代遅れのものや凡庸なものに新たな用途や意味を与える「マイクロポップ」（同氏による造語）的表現が顕著に見られる
35	池坊家督レクチャー&デモンストレーション(文化デモンストレーション)	モスクワ	外国文献図書館大ホール	池坊ロシアCIS支部	2011.10.04	小林義子(池坊特別派遣教授)及び山田みどり(池坊ロシアCIS支部顧問)による、生け花のレクチャーとデモンストレーションを実施
36	墨絵講座：第3四半期(伝統美術・工芸講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.10.06 ~ 2011.12.08	日本の水墨画コンクールで入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァを講師に迎え、登録制にてサイトで募集した15名を対象に、5回コースの墨絵講座を実施
37	第3回将棋在ロシア日本国大使杯(将棋講座)	モスクワ	モスクワ日本文化センター	在ロシア大使館 ロシア棋士連盟	2011.10.08 ~ 2011.10.09	2009年から開催している将棋大会の3回目。国籍や将棋のレベルに関係なく参加可能で、2日間にわたり実施。経験者部門と初心者部門で、それぞれ入賞者を表彰
38	伝統美術・工芸講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.10.08 ~ 2011.12.10	刺し子専門家のアンナ・コスチューヒナを講師に迎え、刺し子講座を計5回実施。希望者を募集し、登録制とする
39	日本映画上映会(東洋美術館)：第3四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立東洋美術館 国立中央映画博物館	2011.10.11 ~ 2011.12.20	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。11月15日『顔』(2000年、阪本順治監督)、11月29日『みんなの家』(2001年、三谷幸喜監督)、12月13日『連弾』(2001年、竹中直人監督)、12月20日『風花』(2001年、相米慎二監督)を上映
40	オレンブルク邦楽コンサート(共催小規模文化事業)	オレンブルク	オレンブルク国立大学	オレンブルク国立大学	2011.10.12	オレンブルク国立大学で実施された「日本デー」の一環として、ロシアの邦楽アンサンブル「和音」が邦楽コンサートを実施
41	日本文化出前講座：第3四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2011.10.12 ~ 2011.12.16	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。10月12日：将棋(第613番学校)、10月20日：折り紙(第65番学校)、10月21日：生け花(第1257番学校)、11月15日：着付け(第11番学校)、11月18日：伝統の遊び(第1409番学校)、11月23日：伝統の遊び(第661番学校)、11月25日：折り紙(第641番学校)、12月6日：伝統の遊び(モスクワ国際ギムナジウム)、12月15日：伝統の遊び(第414番学校)、12月16日：伝統の遊び(第1679番学校)を実施
42	坂田明ジャズ公演	モスクワ	ドラマ芸術学院劇場	ドラマ芸術学院劇場	2011.10.25	ジャズサクソフォーン奏者坂田明、アメリカ人ジャズミュージシャン2名及びロシア人ミュージシャン、セルゲイ・レトフによる、ジャズ公演を実施

海外拠点

43	日本式マナー講座 (文化デモンストレーション)	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 10. 26	ファッションアドバイザーの西本裕美を講師に迎え、日本式のマナーについての講演会を実施
44	映画監督講演会	モスクワ	映画館「35mm」 脚本家・監督養成専門学校	映画館「35mm」 脚本家・監督養成専門学校	2011. 11. 08 ～ 2011. 11. 12	第45回日本映画祭の実施に併せ、映画監督中江裕司と脚本家中江素子を招へい。オープニングでの舞台挨拶、同監督の3作品（『真夏の夜の夢』『ホテルハイビスカス』『ナビィの恋』）上映後に質疑応答を実施。更に、脚本家・監督養成専門学校で、『ナビィの恋』上映後、ナウム・クレイマン(国立中央映画博物館館長)と対談を実施
45	作家講演会	モスクワ	中央芸術家会館 モスクワ大学ジャーナリズム学部	モスクワ大学ジャーナリズム学部	2011. 11. 29 ～ 2011. 12. 02	映画『リング』の原作者として著名で、著書が多数翻訳され、ロシアの若者の間で人気の鈴木光司を招へいし、図書展会場及びモスクワ大学ジャーナリズム学部で講義を実施
46	オペラ『お夏』 ニージニノブゴロド公演（共催小規模文化事業）	ニージニノブゴロド	国立現代芸術センター沿ボルガ支部	モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター 創作イニシアチブ発展財団 国立現代芸術センター沿ボルガ支部	2011. 12. 18	著名な人形浄瑠璃・歌舞伎の作家・近松門左衛門（1653年～1724年）の作品『お夏と清十郎』（1707年出版）をもとにした作曲家・塚本一成によるオペラ『お夏』の公演。芸術監督・指揮はアレクサンドル・ソロヴィヨーフ、演出はスヴェトラナ・グリゴルツァ、企画はマルガリータ・カラティギナ、コンサルタントは曾又ひとみ
47	雅楽の調べ 笙のコンサート	モスクワ	中央音楽学校ホール モスクワ音楽院	中央音楽学校 モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター	2011. 12. 19 ～ 2011. 12. 20	作曲家かつ笙の演奏家で、文化交流使として欧州来訪中の真鍋尚之によるコンサート及びワークショップの開催
48	尺八コンサート(共催小規模文化事業)	モスクワ	モスクワ国立音楽院ラフマニノフホール	在ロシア大使館 モスクワ音楽院「世界音楽文化」センター	2011. 12. 23	モスクワ国立音楽院と在ロシア大使館が実施している第13回国際邦楽フェスティバル「日本の心」のクロージングコンサートとして、尺八奏者・中村明一によるコンサートを実施
49	日本映画上映会 (東洋美術館) : 第4四半期	モスクワ	国立東洋美術館	国立中央映画博物館 国立東洋美術館	2012. 01. 10 ～ 2012. 03. 20	国立東洋美術館及び国立中央映画博物館と共催で、東洋美術館のレクチャーホールにて、露語フィルムライブラリーの作品を上映。1月31日『阿修羅のごとく』（2003年、森田芳光監督）、2月14日『わたしのグランパ』（2003年、東陽一監督）、2月21日『化粧』（1984年、池広一夫監督）、3月13日『蒲田行進曲』（1982年、深作欣二監督）、3月20日『クイール』（2004年、崔洋一監督）を上映

海外拠点

50	折り紙講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.14 ～ 2012.03.31	モスクワの子供折り紙センターよりゾーヤ・チャシヒナを講師として招へいし、毎週土曜日にモスクワ日本文化センターにて、折り紙講座を実施。希望者は登録なしで、随時参加可能
51	将棋講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.14 ～ 2012.03.31	ロシア棋士連盟から講師を招へいし、将棋講座を実施。登録制として、初心者を対象に1月に希望者を20名募集
52	書道講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.18 ～ 2012.03.28	モスクワ在住の書道講師・石嶋かおりを招へいし、書道講座を実施。登録制とし、初心者を対象に、1クラス15名、全10回のコースを実施
53	日本の歌講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.21 ～ 2012.03.24	モスクワ在住の日本人オペラ歌手・曾又ひとみを招へいし、一般を対象に、月3回の1年コースで、日本の歌講座を実施。秋から登録制として、20名を募集。コース終了後の、6月にコンサートも実施
54	日本文化出前講座：第4四半期	モスクワ	モスクワ市及び周辺の学校		2012.01.21 ～ 2012.03.30	初中等教育機関を対象に、現地の日本文化関係者や在留邦人、留学生に講師を依頼して、日本文化のデモンストレーション、ワークショップを実施。1月21日：折り紙（リハビリセンター）、2月1日：折り紙（第1361番学校）、2月9日：墨絵（第199番学校）、2月15日：茶道（第1576番学校）、2月24日：折り紙（第859番学校）、2月28日：墨絵（ドミートロフ市図書館）、2月29日：墨絵（第996番学校）、3月1日：折り紙（第1311番学校）、3月2日：生け花（教育センター「リーチノスチ」）、3月14日：茶道（第654番学校）、3月15日：書道（第828番学校）、3月16日：茶道（第1530番学校）、3月21日：着付け（第34番学校）、3月22日：茶道（第1505番学校）、3月29日：和楽器（第315番学校）、3月30日：小物（第1771番学校）を実施
55	新人写真展 <i>Crown on the Earth</i>	モスクワ	古典写真ギャラリー	日本写真協会 古典写真ギャラリー	2012.01.25 ～ 2012.02.05	2007年から2009年の間に「日本写真協会賞新人賞」を受賞した7名（北野謙、石川直樹、前川貴行、小川康博、佐藤信太郎、屋代敏博、吉村和敏）の写真家による作品展
56	カザンにおける生け花デモンストレーション(共催小規模文化事業)	カザン	ショッピングセンター「コリツォ」特設ステージ	カザン連邦大学	2012.02.22	生け花池坊の山田みどりを派遣し、生け花デモンストレーションを実施
57	青少年向け生け花・折り紙ワークショップ及び献花	エレバン(アルメニア) モスクワ	エレバン国立大学 在ロシア大使館前特設会場	エレバン国立大学 アルメニア・日本文化教育センター「ヒカリ」 在ロシア大使館	2012.03.11 ～ 2012.03.25	山田みどり(池坊CIS支部顧問/池坊総華督)が、在ロシア大使館正面玄関前にて、3月11日に震災1周年の献花を実施。更にエレバン(アルメニア)にて、3月23～25日に、生け花・折り紙の市民向けワークショップ及び華展等を実施 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

58	日露文化芸術関係交流会（共催小規模文化事業）	モスクワ	モスクワ市近代美術館	モスクワ市近代美術館	2012.03.13	モスクワ市近代美術館との共催により、日露芸術家、文化人、芸術愛好家の交流会を実施
59	「日本文化の元気発信事業」震災・復興関連映像上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2012.03.19 ～ 2012.03.23	平成23年度『日本文化元気発信事業』として、震災・復興関連DVDのうち、『カルテット！』『エクレーヌ・お菓子放浪記』『がんばっぺフラガール！～フクシマに生きる。彼女たちの今』『ロック～わんこの島～』を1回ずつ上映 【東日本大震災復興支援事業】
60	邦人音楽家レクチャー&デモンストレーション	エカテリンブルグ モスクワ	ラヴロフ記念コンサートホール モスクワ日本文化センター	エカテリンブルグ情報文化センター「日本」	2012.03.20 ～ 2012.03.23	日本のポップミュージックの分野で活躍する音楽家（木下とさわ等）をモスクワとエカテリンブルグに招へいし、現地の青少年を対象にレクチャー&デモンストレーションを行い、最新の日本のポップカルチャーを紹介
61	津村禮次郎×森山開次コラボレーション公演	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	俳優の家 マールイ劇場別館	俳優の家 在サンクトペテルブルグ総領事館 マールイ劇場	2012.03.22 ～ 2012.03.23	能楽師・津村禮次郎とコンテンポラリーダンス・森山開次のコラボレーション公演を実施
62	ダゲスタン児童絵画展「再び桜が咲きますように」日本文化デー（共催小規模文化事業）	モスクワ	第147番児童図書館	第147番児童図書館	2012.03.23	ダゲスタン共和国在住の女子学生が、3月11日の東日本大震災の後、日本を応援するために企画した児童コンクール「再び桜が咲きますように」に送付されてきた子供たちからの作品の展示会場で、日本文化紹介事業を実施。折り紙、生け花、日本の歌、日本舞踊、着付けなどを紹介

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
63	日本文学セミナー：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.04.01 ～ 2011.06.24	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能
64	日本理解講座：第1四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター 外国文献図書館楯円ホール		2011.05.18 ～ 2011.06.01	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1、2回程度、日本に関する講演会を実施。5月18日にはエレナ・ディヤコノワ（ロシア国立人文大学教授）が「短歌は『悲しき玩具』：石川啄木の作品」をテーマに講演、5月21日には芦田直人（陶芸家）が陶器をテーマに講演、6月1日にはユリヤ・ストノギナ（ジャーナリスト）が「地震と日本：『諦観』から『自粛』まで」をテーマに講演

海外拠点

65	日本映画講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.05.19 ~ 2011.06.02	モスクワ日本文化センターにて、ナウム・クレイマン（国立中央映画博物館館長）及び日本専門家を講師に迎え、若手日本研究者、映画大学学生などを対象に、日本映画について講義を行うとともに、日本研究者と座談会を実施。テーマは、5月19日は『雨月物語』（溝口健二監督、1953年）、6月2日は『山の音』（成瀬巳喜男監督、1954年）
66	日本文学セミナー：第2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.09.02 ~ 2011.12.30	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュージナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能
67	日本理解講座：第2、3四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.09.16 ~ 2011.12.22	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1、2回程度、日本に関する講演会を実施。9月16日「東日本大震災と大津波」名越健朗（前時事通信支社長、拓殖大学客員教授）、9月21日「地蔵の形象と機能」サドコワ・アナスタシア（モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学教授）、10月11日「デザインと日本美術」シーシキナ・ガリーナ（国立東洋美術館上級学芸員）、11月8日「北斎漫画」シュタイナー・エヴゲニー（文化学研究所日本文化研究センター主任研究員）、12月20日「現代日本における徳川の時代の足跡」レシェンコ・ネリー（ロシア科学アカデミー東洋学研究所主任研究員）、12月22日「日本近代美術におけるロシア美術の影響」福間加容（千葉大学非常勤講師）の内容で実施
68	若手研究者ジャパン・レポート「新視点」	モスクワ	モスクワ日本文化センター モスクワ大学 アジア・アフリカ諸国大学	日本研究者協会	2011.10.15 ~ 2011.10.16	若手研究者を対象にした研究発表会。若手研究者に発表の場及び交流の場を提供するとともに、研究者間のネットワーク構築も目指す。発表後は論文集を作成、出版
69	ロシア日本研究者協会研究会（研究セミナー共催事業）	モスクワ	モスクワ国立国際関係大学	ロシア日本研究者協会	2011.12.15 ~ 2011.12.16	ロシア日本研究者協会による研究会の実施。テーマは、12月15日第1セッション「ロシア及び日本の社会経済発展の一般的问题」、第2セッション「日本社会の問題」、12月16日第3セッション「外交政策・国際経済問題」、第4セッション「その他—東日本大震災の際のロシアの反応、北東アジアにおける日米ミサイル防衛発展問題など」
70	日本文学セミナー：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2012.01.13 ~ 2012.03.30	『源氏物語』の翻訳で著名な日本文学者であるタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュージナを講師に迎え、古典から現代までのさまざまな文学テキストを購読。日本語の知識は必要となるが、初級者も参加可能

海外拠点

71	日本理解講座 ：第4四半期	モスクワ	モスクワ日本文化 センター 国立高等経済大学 数学部	国立高等経済大学	2012. 01. 24 ～ 2012. 02. 28	さまざまな分野の日本研究者を講師に迎えて、月に1, 2回程度、日本に関する講演会を実施。1月24日「アーティスト丹羽良徳が語るー自身の芸術活動と日本の現代芸術の展開」丹羽良徳（アーティスト）、2月21日「17～19世紀の日本における数学（和算）入門」長谷川浩司（東北大学大学院理学研究科数学専攻）、2月28日「日本の古典文学と現在のロシアの読者」アレクサンドル・ドーリン（秋田国際大学）の内容で実施
72	日本文学翻訳者会 議	モスクワ	外国文献図書館楯 円ホール	雑誌『外国文学 誌』	2012. 03. 01	日本文学の翻訳者を集め、日本文学の翻訳出版の現状、問題点、今後出版すべき書籍等について話し合うとともに、モスクワ日本文化センターと翻訳者間の関係を強化し、ネットワークを構築

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
73	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 2,855名 (2) レファレンス数 1,831件 (3) 貸出点数 3,895点 2. 情報発信への取組み モスクワ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ホームページアクセス件数 164,202件

海外拠点

カイロ日本文化センター

合計額 43,472,929 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	囲碁講座	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2011.04.01 ~ 2012.03.31	カイロ日本文化センター図書室を基会所として開放、在留邦人から講師を招へいし、囲碁・将棋講座を実施
2	生け花講座	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2011.04.11 ~ 2012.02.27	在留邦人の講師を招へいし、有料の生け花教室を開講。1期5回の講座を計4期実施
3	お茶会	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2011.04.19 ~ 2012.03.13	カイロ茶道同好会と共催で、2011年4月、10月、2012年3月の計3回、エジプトの対日関心層を招待してお茶会を実施
4	折り紙講座	カイロ	カルチャーパレス サウィー文化センター		2011.05.01 ~ 2012.02.29	文化省傘下のカルチャーパレスの運営員向けに折り紙指導ワークショップを実施。更に、サウィー文化センターの国際文化紹介デーやアレキサンドリアの折り紙フェスティバルに参加し、折り紙ブースを出展
5	講演会シリーズ：津島佑子「光の領分」公演及び対話	カイロ	タウンハウスギャラリー		2011.05.15	2000年に出版翻訳助成プログラムでアラビア語化された津村佑子作『光の領分』を元に、エジプト人演出家が舞台をエジプトに置き換えて公演。更に、演出家・脚色家、翻訳者を交えて討論会を実施
6	講演会シリーズ：カイロ日本文化センター職員による講演	カイロ	在エジプト大使館多目的ホール カイロ日本文化センター図書館	NGOオンム・ドニヤ	2011.05.26 ~ 2011.07.04	「お米から学ぶ日本文化」と題し、食育をテーマにカイロ日本文化センター職員がJapan Egypt Networkオープンサロンにて、おにぎりデモンストレーションを実施。更に、NPOオンム・ドニヤ主催の講演会において日本文化に関する講演を実施
7	凧ワークショップ	アレクサンドリア	エジプト農業省前広場	NGOマスターピース	2011.09.16	NGOマスターピースが主催するストリートフェスティバルにブース出展し、ブース内にて折り紙ワークショップと凧ワークショップを並行して実施
8	講演会シリーズ：日本映画週間関連講演会	カイロ	カイロ日本文化センター アーティスティック・クリエイティブ・センター		2011.11.17 ~ 2011.12.11	日本映画週間「日本の戦後復興」関連イベントとして講演会を実施 11月17日：イサム・ハムザ（カイロ大学教授）「戦後日本の歴史」 12月10日：ワーエル・オラービー（カイロ大学専任講師）「『キューポラのある街』の魅力」 12月11日：小泉堯による日本映画週間オープニングトークショー

海外拠点

9	講演会シリーズ： 芥川短編集出版記念 関連講演会	カイロ	カイロ日本文化センター		2012. 02. 09 ～ 2012. 03. 01	出版翻訳助成プログラムにてアラビア語化された芥川短編集の出版を記念し、関連イベントを実施 2月9日：ワーエル・オラービー（カイロ大学専任講師）「芥川龍之介とその時代」 2月12日：訳者ワヤ・ワーエル（アインシャムス大学助手）による出版記念講演会 2月16日・3月1日：アフマド・ファトヒー（カイロ大学准教授）「日本の近現代文学」 2月27日：『羅生門』をベースにする芝居『Angeles』上演
10	末永匡・カイロ交響楽団公演	カイロ	カイロオペラハウス	カイロオペラハウス カイロ交響楽団	2012. 02. 20 ～ 2012. 02. 26	国内外で活躍しているピアニストの末永匡とイタリア在住の音楽監督／指揮者の吉田裕史をカイロに招へいし、カイロオペラハウスでカイロ交響楽団と公演。併せて関連イベントも実施
11	カイロジャズフェスティバル	カイロ	サウィー文化センター カイロジャズクラブ	The Jazz Society of Egypt	2012. 03. 15 ～ 2012. 03. 17	4回目を迎えるカイロジャズフェスティバルに、日本から安達久美クラブパンゲア（Kumi Adachi club PANGAEA）を招へいし、ジャズコンサートを実施

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
12	小規模助成（ジャナドリア祭）	ジャナドリア祭準備実行委員会	2011. 04. 13 ～ 2011. 04. 29	サウジアラビア在住日本人音楽家前田清光がジャナドリア祭でシンセサイザー公演を実施するにあたり、謝金の一部を助成
13	小規模助成（世界「絆」写真展）	Ankara KIZUNA Photograph Exhibition Executive Committee	2011. 11. 20 ～ 2011. 11. 25	アンカラの土日基金文化センターにおいて開催された世界「絆」写真展の実施に係る経費の一部を助成

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	講演会シリーズ： 今井雅晴講演会	カイロ	カイロ日本文化センター図書館		2011. 04. 14 ～ 2011. 11. 03	アインシャムス大学での論文指導のため、客員教授として訪埃した今井雅晴（筑波大学名誉教授）による、日本語と言語に関連する日本文化の講演会全3回をカイロ日本文化センターにて実施
15	講演会シリーズ： 藤原帰一・福元健太郎講演会	カイロ	カイロ・アメリカン大学 カイロ日本文化センター	在エジプト大使館	2012. 02. 04 ～ 2012. 02. 07	日本から藤原帰一（東京大学大学院教授）及び福元健太郎（学習院大学教授）を招へいし、カイロ日本文化センターにて日本政治に関する講演会を開催。併せて、最高裁判所、カイロ・アメリカン大学等を訪問し、エジプトの有識者と意見交換を実施

海外拠点

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関名称	期間	事業内容
16	小規模助成(広島被爆者とのウェブ会議)	NGOマスターピース	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	マスターピースが主催した8日間にわたる文化イベントの内、広島被爆者とのウェブ会議の実施に係る経費の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
17	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	<p>1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 2,753名 (2) レファレンス数 53件 (3) 貸出点数 1,099点</p> <p>2. 情報発信への取組み カイロ日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) メールマガジン配信数 5,560件 (2) ホームページアクセス件数 85,936件</p>

海外拠点

ベトナム日本文化交流センター

合計額 65,574,446 円

(1) 文化芸術交流事業

【文化芸術交流（主催）】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	『窓ぎわのトットちゃん』ベトナム語版出版記念記者会見	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	ニャーナム出版社	2011.05.13	ニャーナム出版社が黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』のベトナム語翻訳本を出版するに際し、同出版記念として、同翻訳本の内容紹介及びニャーナム社の今後の日本文学の翻訳出版予定を広報する記者会見を共同で開催
2	いいむろなおき『マイムの時間』パントマイム公演	ハノイ ホー・チ・ミン	青年劇場 IDECAF劇場		2011.06.05 ~ 2011.06.13	マイム俳優いいむろなおきを招へいし、ハノイの青年劇場及びホーチミンの世界青年劇場にてソロ作品集『マイムの時間』を上演するとともに、各都市の学生、俳優に対し、ワークショップを実施
3	「ちひろとトットちゃん」展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター展示ホール	いわさきちひろ美術館 ニャーナム出版社	2011.08.09 ~ 2011.08.31	黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』日本語版刊行30周年と、ベトナム語版出版を記念し、トットちゃんの表紙絵、挿絵に使われた作品を含むいわさきちひろの絵画30点、その他の図書資料等を展示。「トットちゃん」の世界観と、いわさきちひろ作品の魅力を多角的に紹介
4	ホイアン日本祭り2011	ホイアン	ホイアン市内（複数）	ベトナム日本人材協力センター（VJCC） ホイアン市 国際協力機構（JICA）ベトナム事務所 在ベトナム大使館	2011.08.20 ~ 2011.08.21	2003年より毎年夏に実施されている日本祭りを共催。野外ステージでの日越のパフォーマンス、浴衣体験、折紙教室など日本文化を多角的に紹介
5	「アートドール：沈黙が語るもの」展（Young Talent Series 01）	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2011.09.07 ~ 2011.10.07	「Emerging Artist Series」事業の第一弾。アートドールアーティストとしてFacebookで話題のチャン・トゥ・ハン（ベトナム美術大学卒）の初の個展を開催。日本文化にインスピレーションを受けた新作8点と過去のアートドール作品12点、計20点を展示。初の個展となる作家のため、「Young Talent Series」として実施
6	オフ・ニブロール×ティファニー・チュン マルチメディア演劇&ダンス公演（日越共同制作）	ホー・チ・ミン	レー・タイン劇場	アラベスク・ダンス・カンパニー	2011.09.15 ~ 2011.09.16	気鋭の振付家・矢内原美邦（ニブロール主宰）率いるオフ・ニブロール（映像+振付ユニット）とベトナム人アーティスト・ティファニー・チュン（ホーチミン在住）の共同制作による、身体表現と映像表現を組み合わせたマルチメディア演劇とダンス公演を実施

海外拠点

7	「NOWHERE」展 (JENESYSクリエイターフォローアップ事業)	ハノイ		ニャーサン・スタジオ	2011.10.01 ~ 2011.11.20	グエン・アイン・トゥアン (パフォーマンス/第3期JENESYS Programme 21世紀東アジア青少年大交流計画 クリエーター招へい者) × 奥野翼 (サウンド) × 下道基行 (写真) によるインスタレーション&ワークショップを実施
8	キャラクター大 国、ニッポン展	ハノイ	ベトナム美術大学 アートギャラリー	ベトナム美術大学 アートギャラリー	2011.10.06 ~ 2012.10.23	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展。1950~60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター (ウルトラマン、ハローキティ、機動戦士ガンダム等) を分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
		フエ	フエ市ホーチミン 博物館	フエ市ホーチミン 博物館	2011.11.02 ~ 2012.11.13	
		ホー・チ・ミン	ホーチミン市博物 館	ホーチミン市博物 館	2011.11.25 ~ 2012.12.04	
9	Japanese Film Festival 2011 - LOVE -	ホー・チ・ミン ファンティエット ハノイ ダナン	4月19日劇場 BHDスターシネマ 国立映画センター レー・ド・シネマ		2011.10.20 ~ 2011.11.24	『パラダイス・キス』『川の底からこんにちは』『マイマイ新子と千年の魔法』等計8作品を各1~2回ずつ上映
10	讃岐うどんをつく ろう！ワーク ショップ	ハノイ	シルクパス・ホテル	シルクパス・ホテル 香川県デザイン協 会 かがわ産業支援財 団	2011.11.06 ~ 2011.11.07	日本の食文化を代表する「うどん」の作り方を学ぶワーク ショップを実施
11	御諏訪太鼓公演 (第1回国際お茶 フェスティバル参 加)	ハノイ タイグエン	ベトナム軍隊文化 芸術大学 ヴィエット・バク 文化芸術大学 8月20日広場		2011.11.11 ~ 2011.11.14	ベトナム政府及びタイグエン省主催「第1回国際お茶フェス ティバル」に際し、御諏訪太鼓を招へいし、野外ステージに おいて公演を行うとともに、ベトナム軍隊文化芸術大学等 で大学生に対し、和太鼓ワークショップを実施
12	ゴー！ゴー！ジャ パン・ロックコン サート	ハノイ	ヴァンホー展示セ ンター (野外ス ペース)	CAMA	2011.12.03	震災への支援に対する感謝の気持ちを込めて、音楽イベント 企画団体「CAMA」とともに、日本からロックグループの Okamoto's、Electric Eel Shock、Moliceを招へいし、ベト ナムのNgu Cung、Rosewoodと共にライブコンサートを実施。 また、コンサートに合わせて、震災から復興過程にある日本 の姿をステージバックスクリーン等で紹介 【東日本大震災復興支援事業】

海外拠点

13	UNIT ASIA公演	ハノイ ホー・チ・ミン	青年劇場 ベントイン劇場	在ホーチミン総領事館	2012. 02. 03 ~ 2012. 02. 05	アジアのミュージシャンで結成されたジャズグループ「UNIT ASIA」と、ゲストのベトナム人歌手によるコンサートをハノイ、ホーチミンで実施。コンサート会場では、各劇場スタッフを対象に、音響システムに関するワークショップを開催
14	「パラモデルのプラモデルはパラモデル」展	ハノイ	ベトナム日本交流センター		2012. 02. 16 ~ 2012. 03. 11	アート・ユニット「パラモデル」（林泰彦&中野裕介）の個展を開催。日本では馴染みのあるおもちゃ「プラレール」を大量に用いた、ポップなグラフィティ作品を会場で制作
15	「がんばっぺ東北」映画上映会	ハノイ	国立映画センター		2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 18	東日本大震災から一周年となる機会に、『がんばっぺフラガール』『カルテット!』『ロックわんこの島』等、震災及び日本の自然災害に直接・間接に関係のある映画4作品を上映 【東日本大震災復興支援事業】
16	「女性とマンガ：日本を超え、つながりゆく文化」（展覧会、講演会、ワークショップ、国際会議）	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター ベトナム女性博物館	アジアンビート・福岡 女性MANGA研究プロジェクト	2012. 03. 21 ~ 2012. 04. 15	女性少女漫画家の草分け的存在の水野英子、数々の賞を受賞し、「少女マンガの神様」とも評される萩尾望都の複製原画を中心に、萩岩睦美、シンガポールの漫画家FS cの原画・グッズを紹介する展覧会を開催し、萩岩睦美、FS cによる講演会・ワークショップも実施。また、本事業に合わせて、気鋭のマンガ研究者が一堂に会し、国際会議を開催

【文化芸術交流（助成）】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
17	videologue 展	ゼロステーション	2011. 05. 15 ~ 2011. 05. 31	インドネシアのオルタナティブスペース「ルアングルパ」の協力のもと、東京ビデオアートセンター所蔵の日本のビデオアート7作品を上映するとともに、各作品についてのディスカッションを実施。更に、同作品に関するカタログも制作。カタログ印刷経費、展示機材レンタル経費等を助成
18	ベトナム国立交響楽団 ニューヨーク公演	ベトナム国立交響楽団	2011. 10. 23 ~ 2011. 10. 24	ベトナム国立交響楽団のニューヨーク、ボストン公演に際し、首席指揮者の宿泊費、航空賃の一部を助成
19	IN:ACT2	ニャーサン・スタジオ	2011. 12. 14 ~ 2011. 12. 18	第2回国際パフォーマンスアート祭（IN:ACT）の開催にあたり、日本人パフォーマー2名の国際航空賃、資料作成費を助成
20	「Human Opera: Meiro Koizumi」展	サン・アート	2012. 02. 07 ~ 2012. 03. 16	小泉明朗の展覧会実施にあたり、作家滞在費、展示経費の一部等を助成

海外拠点

(2) 日本研究・知的交流事業

【日本研究・知的交流（主催）】

	事業名	都市	会場	関連機関	期間	事業内容
21	『人魚の唄』ベトナム語出版記念・小野正嗣作家講演会	ハノイ ホーチミン	チュン・グエン・カフェ ホアセン大学	チェー出版社	2012. 02. 22 2012. 02. 23	小野正嗣の作品集『人魚の唄』のベトナム語翻訳出版にあわせ、著者を招へいし、自身の創作の背景についての講演を実施した他、ベトナム人文芸評論家との対談も実施
22	蜂飼耳 講演会	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム文學院 フォンナム書店 ホーチミン人文社会科学大学		2012. 03. 20 2012. 03. 22 2012. 03. 24	蜂飼耳(詩人/ライター/エッセイスト)による「現代日本の文学—詩を中心に」と題した講演会を開催。併せて、現地の作家、日本研究者、評論家を中心とする有識者との意見交換会も実施

【日本研究・知的交流（助成）】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
23	翻訳出版助成『人魚の唄』（小野正嗣）	チェー出版社	2011. 12. 01 ～ 2012. 03. 31	小野正嗣の小説2点（『人魚の唄』『にぎやかな湾に背負われた船』）を所収した作品集『人魚の唄』のベトナム語版翻訳出版に対し、翻訳料、印刷製本経費の一部を助成

(3) その他の事業（広報・協力事業等）

【広報・図書館運営・調査】

	事業名	期間	事業内容
24	広報・図書館運営	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	1. 図書館利用実績 一般の方々、日本語教師、日本研究者を対象に、日本に関する図書、日本語教材等を多く備える図書館を運営 (1) 延べ来館者数 6,555名 (2) レファレンス数 16件 (3) 貸出点数 2,362点 2. 情報発信への取組み ベトナム日本文化交流センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 (1) ホームページアクセス件数 321,556件

【協力・後援事業・会場提供】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
25	茶道レクチャーデモンストレーション	茶道倶楽部「竹葉」	2011. 04. 01 ～ 2012. 03. 31	茶道倶楽部「竹葉」による茶道教室に際し、畳ルームを年間を通して会場として提供

海外拠点

26	第1回ハノイ日本語うたのまつり	ハノイ児童宮	2011.04.03	日本語を学習するベトナム人中高生による日本語の歌のコンテストを実施するにあたり、歌指導、審査員協力にて支援
27	にっぽん元気祭りinベトナム2011	Japan Vietnam Connectivity Co., Ltd.	2011.04.16 ~ 2011.04.17	日本の屋台や縁日、企業ブースを通じた日本の文化・最新技術紹介のほか、ステージにおける舞台公演、ストリートパフォーマンス等を通じて日本文化を総合的に紹介するフェスティバルを実施するにあたり、後援名義を付与
28	絵本寄贈事業	山口南ロータリークラブ	2011.05.30	山口南ロータリークラブによる絵本寄贈に際し、翻訳協力、中等教育機関等への仲介協力を実施
29	「子どもたちがみた戦争と平和」展	沖縄・ベトナム友好協会	2011.06.20 ~ 2011.06.21	沖縄県平和祈念資料館が沖縄全県から募集する「児童・生徒の平和メッセージ（絵画・詩・作文）コンクール」の入賞作品から選定された作品を展示。ベトナム日本文化交流センターは開催会場を提供
30	東日本大震災チャリティーイベント「小さい想いで、でっかい”ワ”」	2011年東北地方太平洋沖地震ベトナム募金活動実行委員会	2011.07.03	ハノイ在住邦人による被災地への支援活動のこれまでの歩みを振り返り、関係者（及びベトナム人）に報告するとともに、オークション、ライブコンサート（日越アーティスト）を通じ、引き続き、被災地への支援が必要であることを確認。ベトナム日本文化交流センターは開催会場を提供
31	日本語ディベート教室	日本語サークル にほんいろ	2011.10.09 ~ 2012.02.25	日本人教師、ベトナム人学生の有志による日本語ディベート教室の開催に際し、教室を会場として提供（全3回：10.09/11.27/02.25）
32	越南写真倶楽部「ベトナムの力」展	越南写真倶楽部	2011.11.27 ~ 2011.12.03	ハノイ在住者を中心に2006年に発足した「越南写真倶楽部」の写真家たちが「ベトナムの力」をテーマとした写真展覧会を実施するにあたり、会場を提供
33	Colors of Tokyo	ベトナム・トウディ誌	2011.12.11	ベトナム・トウディ誌主催「Colors of Tokyo」イベントにおいて、ベトナム日本文化交流センター所長が東京文化紹介講演を実施
34	茶道体験教室	ハノイ児童宮	2011.12.18	ハノイ児童宮主催「茶道体験教室」に際し、畳ルームを会場として提供
35	ハノイ歴史研究会 講演会シリーズ	ハノイ歴史研究会	2012.01.13 ~ 2012.03.16	ハノイ歴史研究会主催講演会シリーズの開催にあたり、教室を会場として提供（全3回：01.13/02.17/03.16）
36	アーティスト・トーク（荒木悠）	ハノイ・ドック・ラボ	2012.02.12	メディアアーティストの荒木悠の来越に合わせ、ハノイ・ドック・ラボにて実施されたアーティストトークに対し、広報協力を実施
37	AUN公演	在ベトナム大使館 AUN（文化庁文化交流使）	2012.02.14	文化交流使「AUN」のハノイ公演に際し、ベトナム人伝統楽器奏者の共演者の選定等コーディネートの協力を実施